

「生涯活躍のまち」構想についての
アンケート調査結果報告書

平成28年8月

江 別 市

目 次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査対象	1
3. 調査方法	1
4. 調査期間	2
5. 回収状況	2
II 江別市民を対象としたアンケート調査集計結果	3
1. 回答者の基本属性	3
(1) 性別	3
(2) 年齢	3
(3) 居住地区	3
(4) 世帯人数	6
(5) 世帯構成	7
(6) 就労状況	8
(7) 平成 27 年の世帯年収	9
(8) 出身地	10
(9) 健康状態	11
(10) 要介護認定	12
2. 住まいについて	13
(1) 現在の住宅	13
(2) 現在の住宅の満足度	14
(3) 現在の居住地の満足度	15
(4) 今後の移住の意向	16
(5) 移住の予定	22
(6) 移住の時期	23
(7) 移住をしたい理由	24
(8) 移住後の住宅の購入	25
(9) 移住後の住宅の形態	25
(10) 移住後の高齢者向けサービス付き住宅の希望	26
(11) 移住を考える条件	27
3. 社会活動や趣味活動について	28
(1) 社会活動や趣味活動	28
(2) 学習活動	29
4. 「生涯活躍のまち」構想について	30
(1) 「生涯活躍のまち」構想の認知度	30

(2) 江別版「生涯活躍のまち」への移住意向.....	31
(3) 江別版「生涯活躍のまち」への移住理由.....	32
(4) 江別版「生涯活躍のまち」構想に求めるサービス.....	33
(5) 江別版「生涯活躍のまち」構想に求める条件.....	35
(6) 「生涯活躍のまち」構想についての自由意見.....	37

Ⅲ 札幌市及び東京圏在住者を対象としたアンケート調査集計結果.....43

1. 回答者の基本属性.....	43
(1) 性別.....	43
(2) 年齢.....	43
(3) 居住地域.....	44
(4) 世帯人数.....	45
(5) 世帯構成.....	45
(6) 就労状況.....	46
(7) 平成27年の世帯年収.....	46
(8) 出身地.....	47
(9) 健康状態.....	48
(10) 要介護認定.....	48
2. 移住について.....	49
(1) 今後の移住意向.....	49
(2) 移住の予定.....	52
(3) 移住の時期.....	52
(4) 移住をしたい理由.....	53
(5) 移住後の住宅の購入.....	55
(6) 移住後の住宅の形態.....	55
(7) 移住後の高齢者向けサービス付き住宅の希望.....	56
(8) 移住の形態.....	56
(9) 移住のために必要な支援.....	57
3. 住まいについて.....	59
(1) 現在の住宅.....	59
(2) 現在の住宅の満足度.....	59
(3) 現在の居住地の満足度.....	60
4. 江別市について.....	60
(1) 江別市の認知度.....	60
(2) 江別市での居住の有無.....	61
(3) 江別市への通勤・通学の有無.....	61
(4) 江別市に居住している知人・友人の有無.....	62
(5) 江別市のイメージ.....	62

(6) 江別市への移住意向	63
5. 社会活動や趣味活動について.....	67
(1) 社会活動や趣味活動	67
(2) 学習活動.....	68
6. 「生涯活躍のまち」構想について	69
(1) 「生涯活躍のまち」構想の認知度	69
(2) 「生涯活躍のまち」への移住意向	69
(3) 「生涯活躍のまち」への移住理由	70
(4) 「生涯活躍のまち」構想に求めるサービス.....	71
(5) 「生涯活躍のまち」構想に求める条件	72

1. 調査の目的

「生涯活躍のまち」構想の対象となる世代である 50～70 代の住まいや移住に関する意識を把握し、江別版「生涯活躍のまち」構想の検討のための基礎資料とするため、アンケート調査を実施した。

2. 調査対象

(1) 江別市民を対象としたアンケート調査

住民基本台帳に登録されている 50～79 歳の江別市民の中から、性別、年齢、居住地域で偏りがないように配慮し、1,700 人を無作為に抽出した。

(2) 札幌市及び東京都在住者を対象としたアンケート調査

①札幌市在住者調査

インターネット調査会社への登録者のうち、札幌市に在住している 50～79 歳の移住希望のある約 500 人を対象とした。

②東京圏在住者調査

インターネット調査会社への登録者のうち、東京圏（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）に在住している 50～79 歳の移住希望のある約 500 人を対象とした。

3. 調査方法

(1) 江別市民を対象としたアンケート調査

郵送による配布・回収によりアンケート調査を実施した。

(2) 札幌市及び東京都在住者を対象としたアンケート調査

インターネットによるアンケート調査を実施した。

4. 調査期間

(1) 江別市民を対象としたアンケート調査

平成 28 年 6 月 7 日～平成 28 年 6 月 28 日

(2) 札幌市及び東京都在住者を対象としたアンケート調査

①札幌市在住者調査

平成 28 年 6 月 14 日～平成 28 年 6 月 17 日

②東京圏在住者調査

平成 28 年 6 月 14 日～平成 28 年 6 月 16 日

5. 回収状況

各調査の回収状況は下記のとおりであった。

図表 I-1 回収状況

	発送数	回収数
江別市民を対象としたアンケート調査	1,700 件	822 件 (回収率 48.4%)
札幌市在住者を対象としたアンケート調査	-	515 件
東京圏在住者を対象としたアンケート調査	-	515 件

II

江別市民を対象としたアンケート調査集計結果

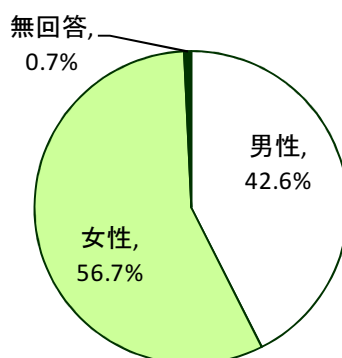
江別市に在住している 50 歳～79 歳の 1,700 人を対象として行ったアンケート調査の集計結果は、以下のとおりであった（回答者数は 822 件）。

1. 回答者の基本属性

(1) 性別

性別については、男性が 350 人（42.6%）、女性が 466 人（56.7%）であった。

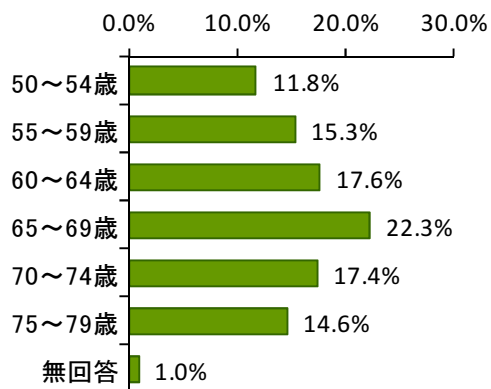
図表 II-1-1 性別 (n=822)



(2) 年齢

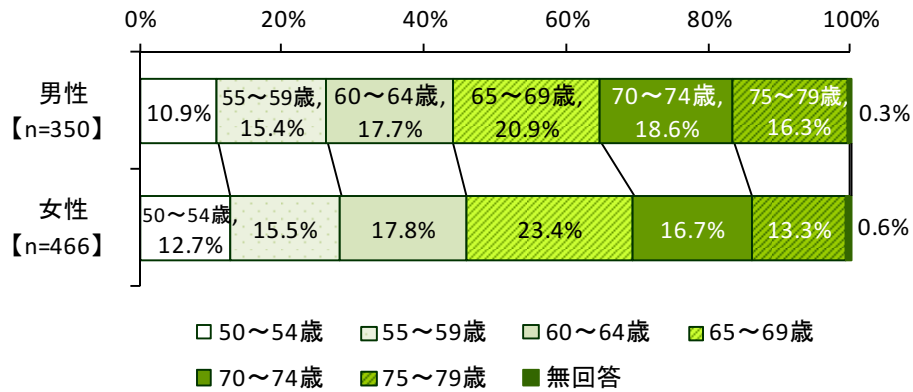
年齢については、「65～69 歳」の割合が 22.3%と最も高く、次いで「60～64 歳」が 17.6%、「70～74 歳」が 17.4%であった。回答者の平均年齢は 65.2 歳であった。

図表 II-1-2 年齢 (n=822)



年齢について男女別にみると、男性では女性よりも「70～74歳」「75～79歳」の割合が高く、それぞれ18.6%、16.4%であった。一方、女性では「50～54歳」「55～54歳」「65～69歳」の割合が男性よりも高く、それぞれ12.7%、15.5%、23.4%であった。平均年齢は、男性が65.5歳、女性が64.8歳であった。

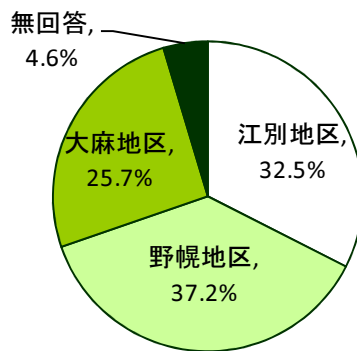
図表Ⅱ-1-3 年齢（男女別）



(3) 居住地区

居住地区※については、江別地区が32.5%、野幌地区が37.2%、大麻地区が25.7%であった。

図表Ⅱ-1-4 居住地区（n=822）

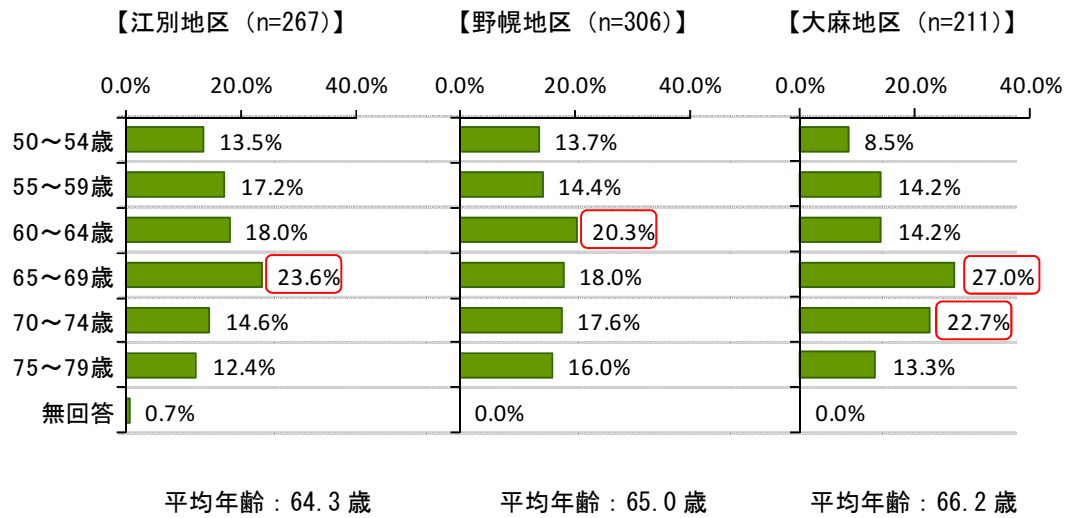


※居住地区一覧

地区	町名
江別地区	1条1丁目～8条8丁目、あけぼの町、朝日町、いずみ野、一番町、江別太、王子、大川通、角山、上江別、上江別西町、上江別東町、上江別南町、工栄町、篠津、高砂町、対雁、東光町、豊幌、豊幌花園町、豊幌はみんぐ町、豊幌美咲町、中島、萩ヶ岡、牧場町、緑町東(西)〇丁目、美原、見晴台、向ヶ丘、萌えぎ野中央、萌えぎ野西、萌えぎ野東、元江別、元江別本町、元町、八幡、弥生町、ゆめみ野、東町、ゆめみ野南町、若草町
野幌地区	あさひが丘、幸町、新栄台、中央町、錦町、西野幌、野幌寿町、野幌末広町、野幌住吉町、野幌町、野幌屯田町、野幌東町、野幌松並町、野幌美幸町、野幌代々木町、野幌若葉町、東野幌、東野幌町、東野幌本町、緑ヶ丘、元野幌
大麻地区	大麻、大麻泉町、大麻扇町、大麻北町、大麻栄町、大麻桜木町、大麻沢町、大麻新町、大麻園町、大麻高町、大麻中町、大麻西町、大麻晴美町、大麻東町、大麻ひかり町、大麻南樹町、大麻宮町、大麻元町、文京台、文京台東町、文京台緑町、文京台南町

居住地区別の年齢構成をみると、「江別地区」では「65～69歳」が23.6%ともっと高く、「野幌地区」では「60～64歳」が20.3%と最も高くなっていた。「大麻地区」では、「65～69歳」が27.0%、「70～74歳」が22.7%となっており、他の地区よりも65歳以上の割合が高くなっていた。また、平均年齢は「江別地区」が64.3歳、「野幌地区」が65.0歳、「大麻地区」が66.2歳で、「大麻地区」が最も高かった。

図表Ⅱ-1-5 年齢（居住地区別）

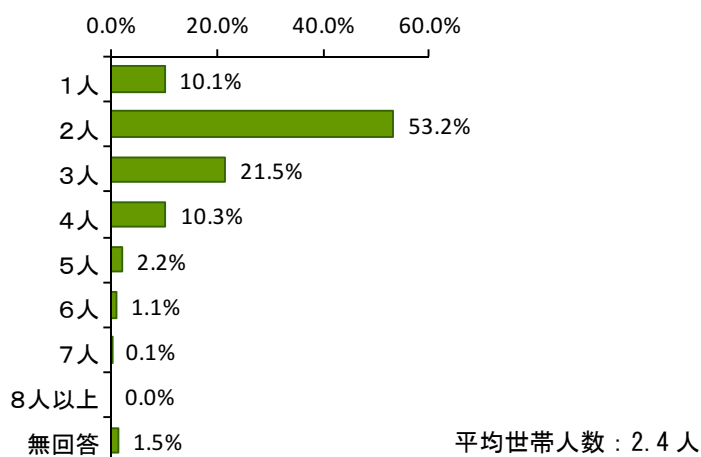


(4) 世帯人数

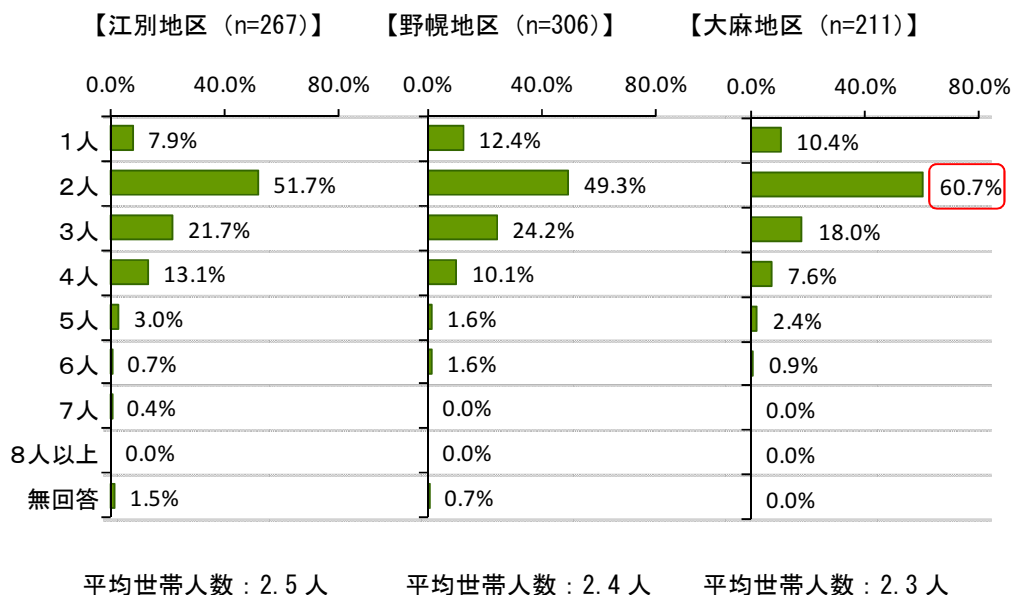
世帯人数については、「2人」の割合が53.2%と最も高く、次いで「3人」が21.5%、「4人」が10.3%、「1人」が10.1%であった。平均世帯人数は2.4人であった。

居住地区別にみると、「大麻地区」では「2人」の割合が他の地区よりも高く、60.7%であり、平均世帯人数も2.3人と、他の地区よりも少なかった。

図表Ⅱ-1-6 世帯人数 (n=822)



図表Ⅱ-1-7 世帯人数 (居住地区別)

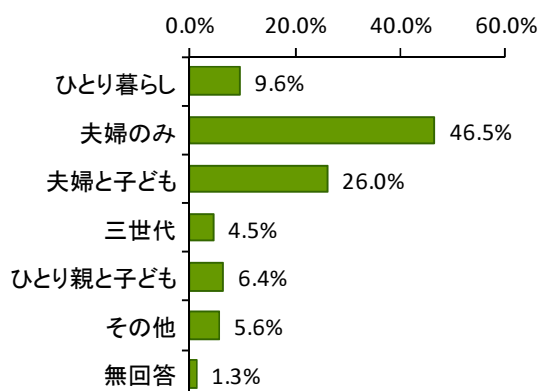


(5) 世帯構成

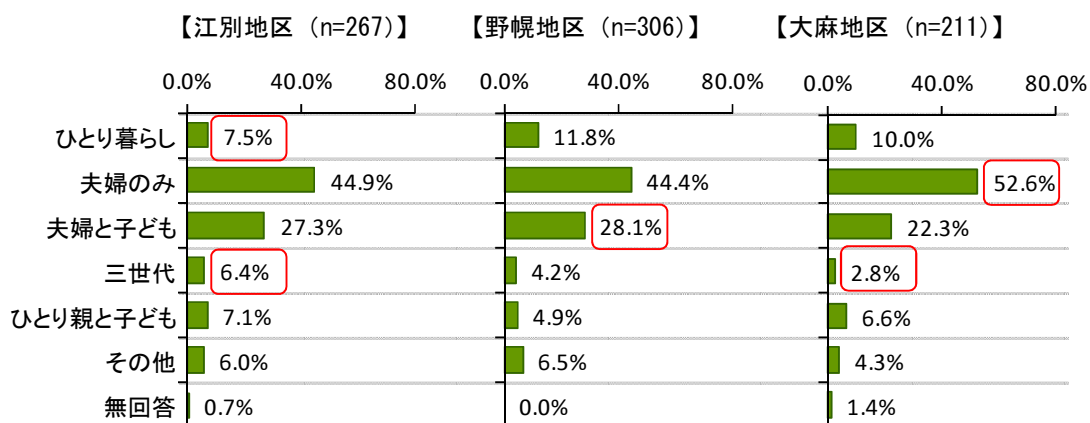
世帯構成については、「夫婦のみ」の割合が 46.5%と最も高く、次いで「夫婦と子ども」が 26.0%、「ひとり暮らし」が 9.6%であった。

居住地区別にみると、「大麻地区」では他の地区に比べて「夫婦のみ」の割合が 52.6%と高く、5割を超えているほか、「三世代」の割合が 2.8%と他の地区と比べて最も低かった。「江別地区」では、「ひとり暮らし」の割合が他の地区よりも低く 7.5%、一方、「三世代」の割合が 6.4%と、他の地区と比べて高くなっていた。「野幌地区」では、「夫婦と子ども」の割合が他の地区と比べて最も高く 28.1%であった。

図表Ⅱ-1-8 世帯構成 (n=822)



図表Ⅱ-1-9 世帯人数 (居住地区別)

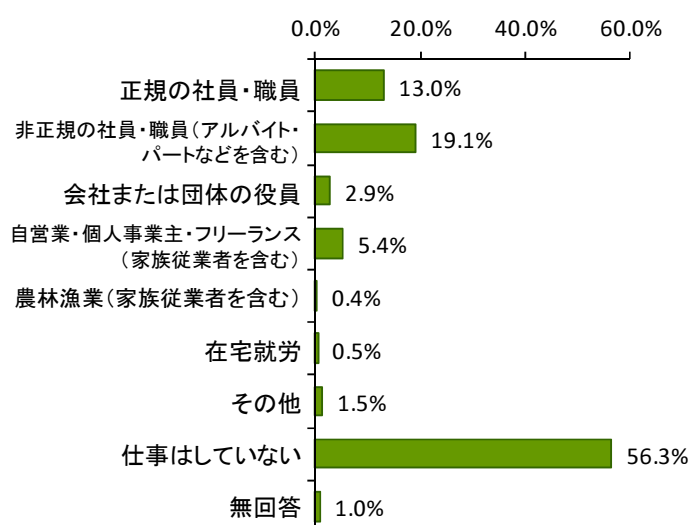


(6) 就労状況

就労状況については、「仕事はしていない」の割合が56.3%と半数を超えており、「非正規の社員・職員（アルバイト・パートなどを含む）」が19.1%、「正規の社員・職員」が13.0%であった。

年齢別にみると、50代では「正規の社員・職員」「非正規の社員・職員（アルバイト・パートなどを含む）」の割合が高く、3割を超えていた。60代以上では、「仕事はしていない」の割合が高くなり、「75～79歳」では91.7%であった。

図表Ⅱ-1-10 就労状況 (n=822)



図表Ⅱ-1-11 就労状況 (年齢別)

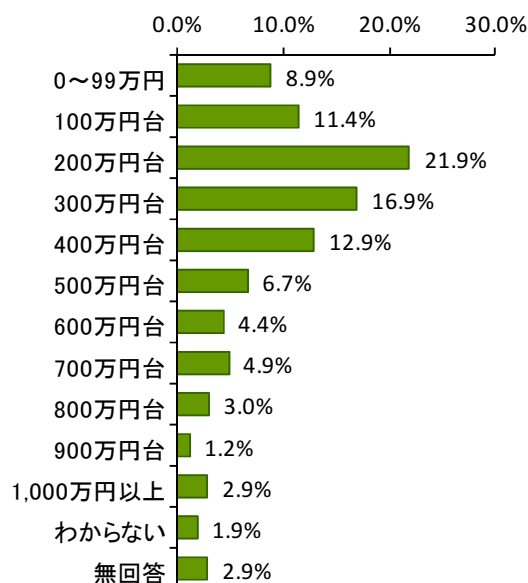
	年齢	就労状況								合計	
		正規の社員・職員	非正規の社員・職員(アルバイト・パートなどを含む)	会社または団体の役員	自営業・個人事業主・フリーランス(家族従業者を含む)	農林漁業(家族従業者を含む)	在宅就労	その他	仕事はしていない		無回答
	50～54歳	35 36.1%	31 32.0%	3 3.1%	9 9.3%	1 1.0%	0 0.0%	2 2.1%	14 14.4%	2 2.1%	97 100.0%
	55～59歳	46 36.5%	41 32.5%	3 2.4%	9 7.1%	1 0.8%	1 0.8%	2 1.6%	23 18.3%	0 0.0%	126 100.0%
	60～64歳	17 11.7%	42 29.0%	6 4.1%	10 6.9%	0 0.0%	1 0.7%	2 1.4%	67 46.2%	0 0.0%	145 100.0%
	65～69歳	7 3.8%	28 15.3%	6 3.3%	9 4.9%	1 0.5%	0 0.0%	2 1.1%	129 70.5%	1 0.5%	183 100.0%
	70～74歳	2 1.4%	12 8.4%	4 2.8%	4 2.8%	0 0.0%	1 0.7%	3 2.1%	116 81.1%	1 0.7%	143 100.0%
	75～79歳	0 0.0%	2 1.7%	1 0.8%	3 2.5%	0 0.0%	1 0.8%	1 0.8%	110 91.7%	2 1.7%	120 100.0%
	無回答	0 0.0%	1 12.5%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 50.0%	2 25.0%	8 100.0%
	合計	107 13.0%	157 19.1%	24 2.9%	44 5.4%	3 0.4%	4 0.5%	12 1.5%	463 56.3%	8 1.0%	822 100.0%

(7) 平成27年の世帯年収

平成27年の世帯年収（年金等を含む）については、「200万円台」の割合が21.9%と最も高く、次いで「300万円台」が16.9%、「400万円台」が12.9%であった。

年齢別にみると、「50～54歳」では「400万円台」が20.6%、「55～59歳」では「500万円台」が14.3%であった。60歳以上では「200万円台」の割合が高くなり、「70～74歳」では32.9%であった。

図表Ⅱ-1-12 平成27年の世帯年収（n=822）



図表Ⅱ-1-13 平成27年の世帯年収（年齢別）

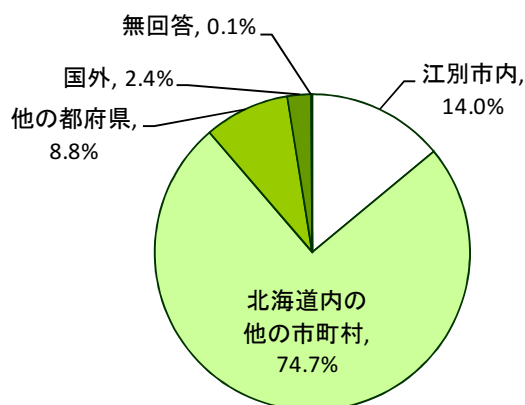
		平成27年の世帯年収													合計
		0～99万円	100万円台	200万円台	300万円台	400万円台	500万円台	600万円台	700万円台	800万円台	900万円台	1,000万円台	わからない	無回答	
年齢	50～54歳	6 6.2%	6 6.2%	6 6.2%	5 5.2%	20 20.6%	11 11.3%	9 9.3%	9 9.3%	5 5.2%	3 3.1%	9 9.3%	5 5.2%	3 3.1%	97
	55～59歳	7 5.6%	14 11.1%	8 6.3%	11 8.7%	16 12.7%	18 14.3%	10 7.9%	15 11.9%	14 11.1%	1 0.8%	7 5.6%	3 2.4%	2 1.6%	126
	60～64歳	16 11.0%	13 9.0%	30 20.7%	22 15.2%	21 14.5%	7 4.8%	7 4.8%	9 6.2%	4 2.8%	5 3.4%	6 4.1%	2 1.4%	3 2.1%	145
	65～69歳	14 7.7%	19 10.4%	55 30.1%	44 24.0%	20 10.9%	10 5.5%	8 4.4%	4 2.2%	0 0.0%	1 0.5%	2 1.1%	2 1.1%	4 2.2%	183
	70～74歳	14 9.8%	22 15.4%	47 32.9%	30 21.0%	15 10.5%	6 4.2%	1 0.7%	2 1.4%	1 0.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.7%	4 2.8%	143
	75～79歳	14 11.7%	19 15.8%	33 27.5%	26 21.7%	14 11.7%	2 1.7%	1 0.8%	1 0.8%	1 0.8%	0 0.0%	0 0.0%	3 2.5%	6 5.0%	120
	無回答	2 25.0%	1 12.5%	1 12.5%	1 12.5%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 25.0%	8
	合計	73 8.9%	94 11.4%	180 21.9%	139 16.9%	106 12.9%	55 6.7%	36 4.4%	40 4.9%	25 3.0%	10 1.2%	24 2.9%	16 1.9%	24 2.9%	822

(8) 出身地

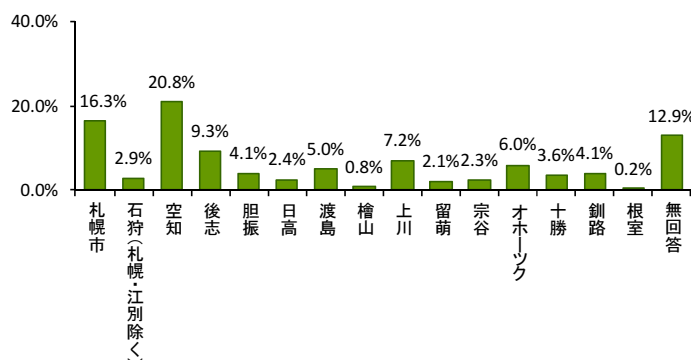
出身地については、「北海道内の他の市町村」の割合が 74.7%と最も高く、次いで「江別市内」が 14.0%、「他の都府県」が 8.8%であった。

「北海道内の他の市町村」と回答した 614 人の出身地は、「空知」の割合が最も高く 20.8%、「札幌」が 16.3%であった。また、「他の都府県」と回答した 72 人についてみると、「東北」が 29.2%と最も高く、次いで「東京圏」が 23.6%であった。

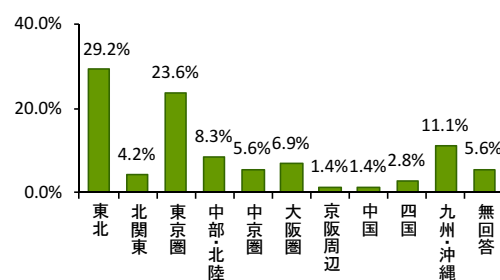
図表Ⅱ-1-14 出身地 (n=822)



図表Ⅱ-1-15 北海道内の他の市町村の出身地 (n=614)



図表Ⅱ-1-16 他の都府県の出身地 (n=72)

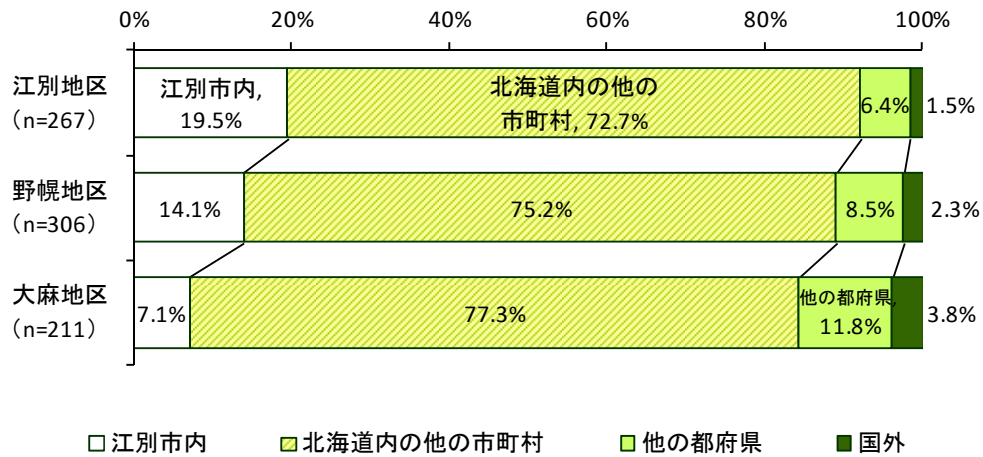


※都道府県の地域ブロック

地域ブロック	都道府県名	地域ブロック	都道府県名
北海道	北海道	大阪圏	京都府、大阪府、兵庫県
東北	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県	京阪周辺	滋賀県、奈良県、和歌山県
北関東	茨城県、栃木県、群馬県	中国	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
東京圏	埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県	四国	徳島県、香川県、愛媛県、高知県、
中部・北陸	新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、静岡県	九州・沖縄	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
中京圏	岐阜県、愛知県、三重県		

居住地区別にみると、「江別地区」では、「江別市内」の出身者の割合が他の地区と比べて高く、19.5%であった。一方、「大麻地区」では、「北海道内の他の市町村」「他の都府県」の出身者の割合が他の地区と比べて高く、それぞれ77.3%、11.8%であった。

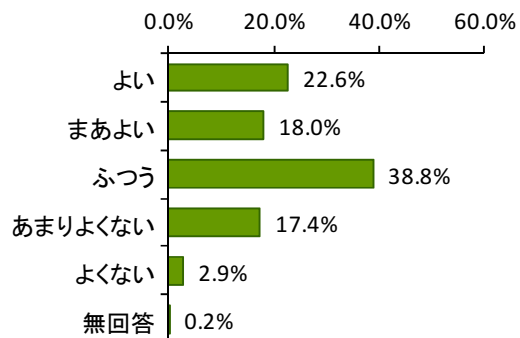
図表Ⅱ-1-17 出身地（居住地区別）



(9) 健康状態

健康状態については、「ふつう」の割合が38.8%と最も高く、次いで「よい」が22.6%であった。

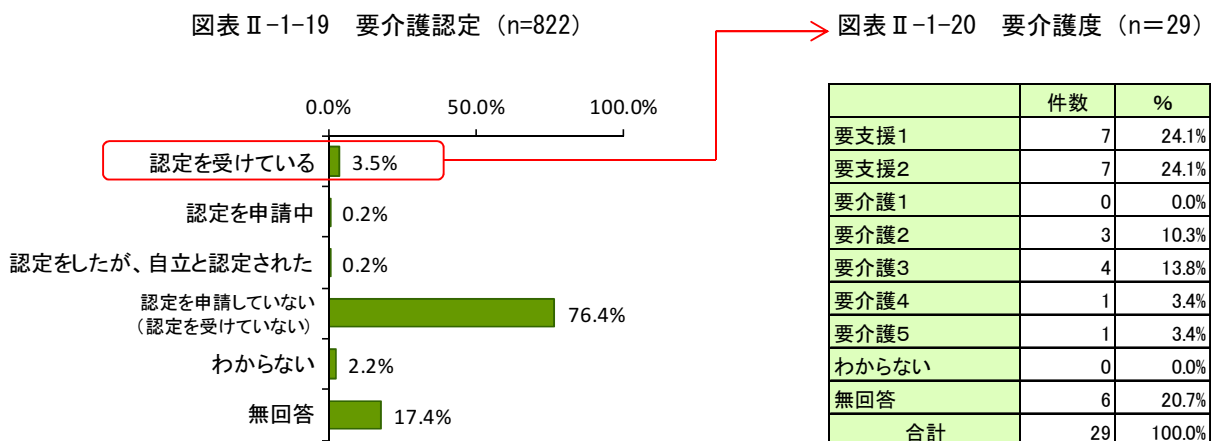
図表Ⅱ-1-18 健康状態 (n=822)



(10) 要介護認定

要介護認定の状況については、「認定を申請していない（認定を受けていない）」の割合が76.4%であった。

「認定を受けている」と回答した29人（3.5%）に、要介護度を聞いたところ、「要支援1」「要支援2」がともに7人、「要介護3」が4人、「要介護2」が3人、「要介護4」「要介護5」がともに1人であった。



要介護認定の状況を年齢別にみると、70代では「認定を受けている」の割合が他の年代よりも高くなり、「70～74歳」では7.7%、「75～79歳」では9.2%であった。

図表Ⅱ-1-21 要介護認定（年齢別）

	年齢	要介護認定の状況						合計
		認定を受けている	認定を申請中	認定をしたが、自立と認定された	認定を申請していない(認定を受けていない)	わからない	無回答	
	50～54歳	2 2.1%	0 0.0%	0 0.0%	80 82.5%	1 1.0%	14 14.4%	97 100.0%
	55～59歳	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	97 77.0%	2 1.6%	27 21.4%	126 100.0%
	60～64歳	2 1.4%	0 0.0%	0 0.0%	115 79.3%	3 2.1%	25 17.2%	145 100.0%
	65～69歳	2 1.1%	0 0.0%	0 0.0%	140 76.5%	4 2.2%	37 20.2%	183 100.0%
	70～74歳	11 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	102 71.3%	5 3.5%	25 17.5%	143 100.0%
	75～79歳	11 9.2%	2 1.7%	2 1.7%	88 73.3%	3 2.5%	14 11.7%	120 100.0%
	無回答	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	6 75.0%	0 0.0%	1 12.5%	8 100.0%
	合計	29 3.5%	2 0.2%	2 0.2%	628 76.4%	18 2.2%	143 17.4%	822 100.0%

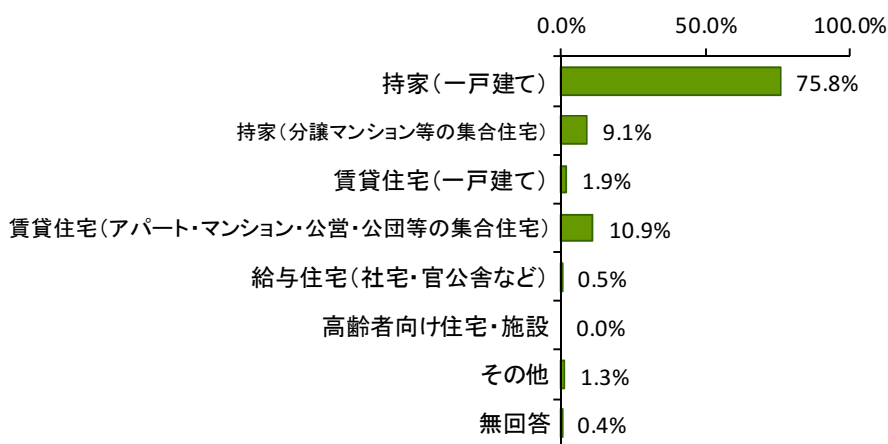
2. 住まいについて

(1) 現在の住宅

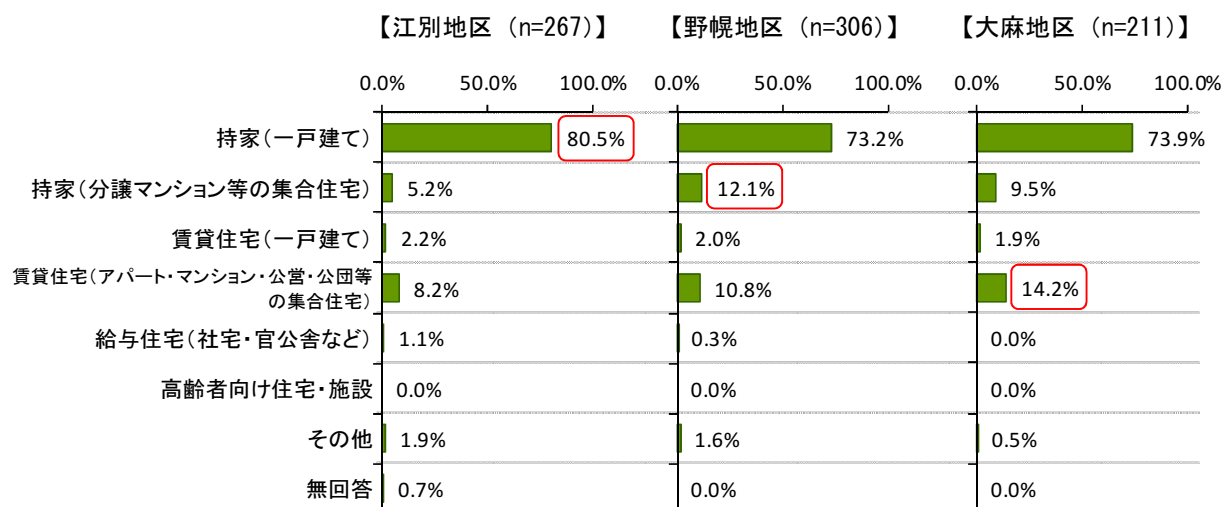
現在の住宅については、「持家（一戸建て）」の割合が 75.8%、「賃貸住宅（アパート・マンション・公営・公団等の集合住宅）」が 10.9%、「持家（分譲マンション等の集合住宅）」が 9.1%であった。

居住地区別にみると、「江別地区」では他の地区と比べて「持家（一戸建て）」の割合が 80.5%と最も高く 8 割を超えていた。「野幌地区」では「持家（分譲マンション等の集合住宅）」の割合が 12.1%と他の地区と比べて高くなっていた。また、「大麻地区」では「賃貸住宅（アパート・マンション・公営住宅・公団等の集合住宅）」の割合が他の地区と比べて高く、14.2%であった。

図表 II-2-1 現在の住宅（n=822）



図表 II-2-2 現在の住宅（居住地区別）

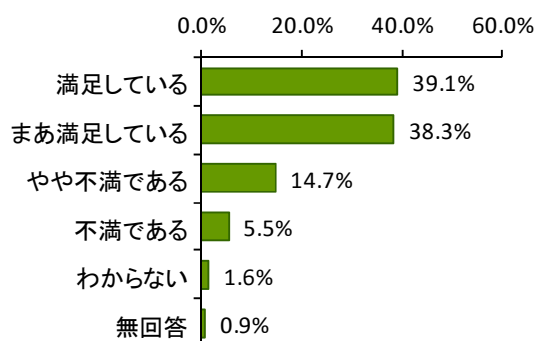


(2) 現在の住宅の満足度

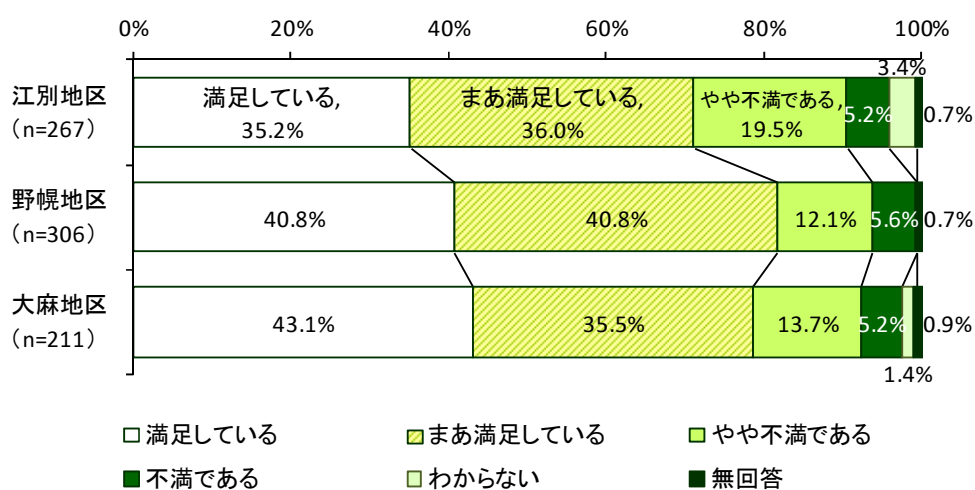
現在の住宅の満足度については、「満足している」の割合が39.1%、「まあ満足している」の割合が38.3%、「やや不満である」の割合が14.7%であった。

居住地区別にみると、「江別地区」では、他の地区と比べて「満足している」の割合が低く35.2%、一方、「やや不満である」の割合は他の地区と比べて高く、19.5%であった。

図表Ⅱ-2-3 現在の住宅の満足度 (n=822)



図表Ⅱ-2-4 現在の住宅の満足度 (居住地区別)

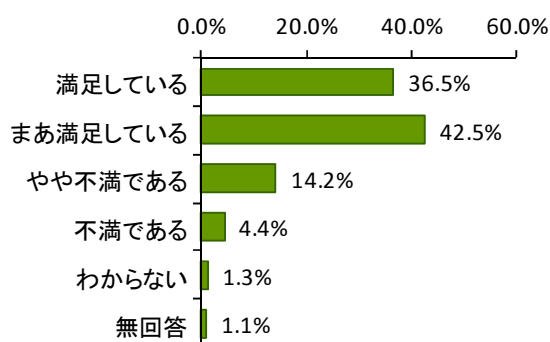


(3) 現在の居住地の満足度

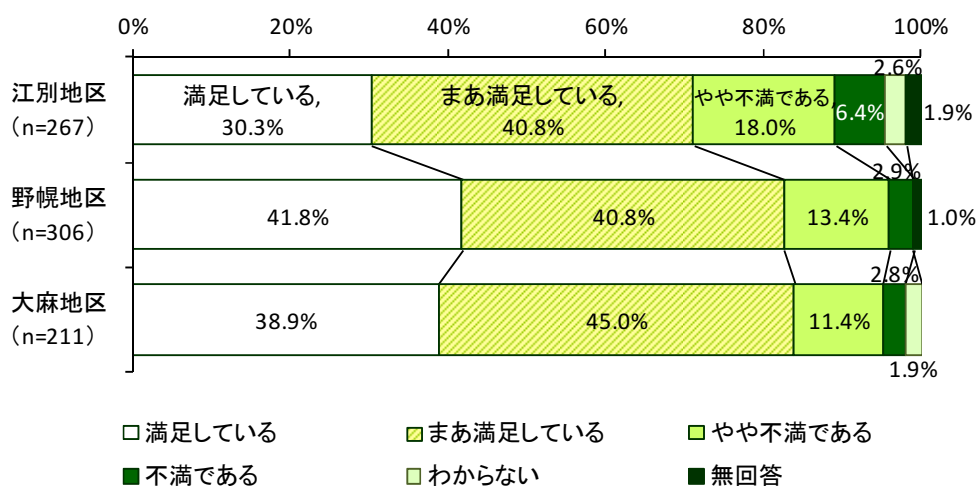
現在の居住地の満足度については、「まあ満足している」の割合が 42.5%と最も高く、次いで「満足している」が 36.5%、「やや不満である」が 14.2%であった。

居住地区別にみると、「江別地区」では、他の地区と比べて「満足している」の割合が低く、30.3%であった。「満足している」「まあ満足している」の合計が、「野幌地区」「大麻地区」では8割を超えているのに対して、「江別地区」では約7割となっていた。

図表Ⅱ-2-5 現在の居住地の満足度 (n=822)



図表Ⅱ-2-6 現在の居住地の満足度 (居住地区別)

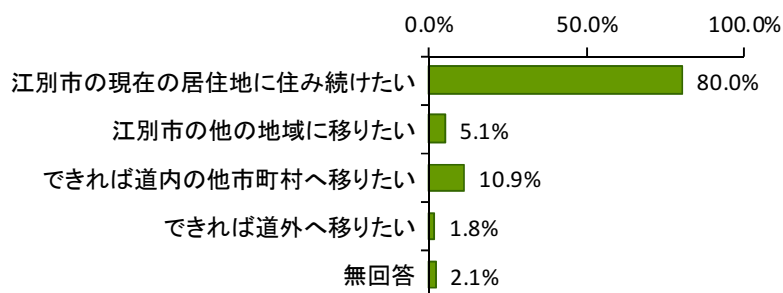


(4) 今後の移住の意向

① 今後の移住の意向

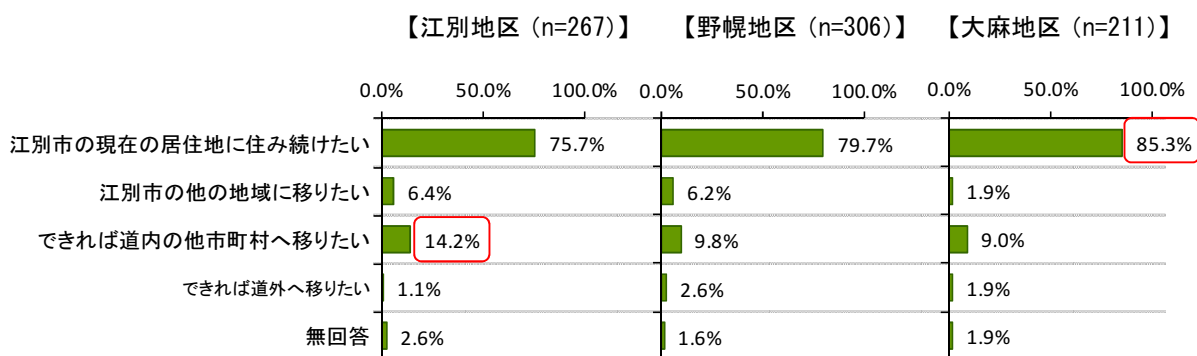
今後の移住の意向については、80.0%が「江別市の現在の居住地に住み続けたい」と回答しており、「できれば道内の他市町村へ移りたい」が10.9%、「江別市の他の地域に移りたい」が5.1%であった。

図表Ⅱ-2-7 今後の移住の意向 (n=822)



今後の移住の意向について居住地区別にみると、「大麻地区」では「江別市の現在の居住地に住み続けたい」の割合が他の地区と比べて高く、85.3%であった。「江別市区」では、「できれば道内の他市町村へ移りたい」の割合が他の地区と比べて高く、14.2%であった。

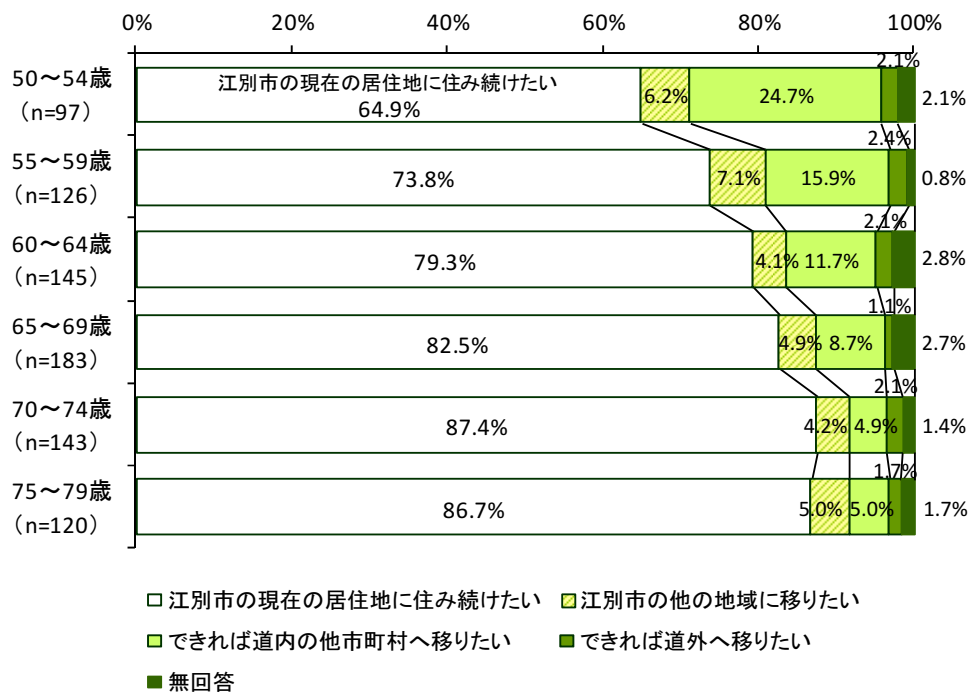
図表Ⅱ-2-8 今後の移住の意向 (居住地区別)



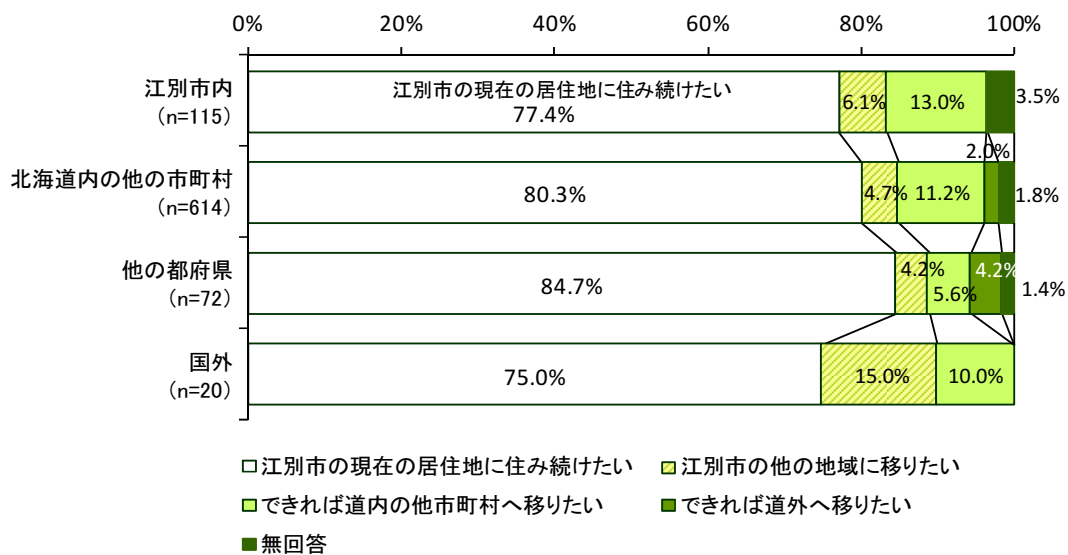
今後の移住の意向について年齢別にみると、50代に比べ60代、70代の方が「江別市の現在の居住地に住み続けたい」の割合が高く、「70～74歳」では87.4%、「75～79歳」では86.7%であった。一方、年代が低い方が「できれば道内の他の市町村へ移りたい」の割合が高く、「50～54歳」では24.7%であった。

また、出身地別にみると、「江別市内」出身では、「できれば道内の他の市町村へ移りたい」の割合が他の出身地よりもやや高く13.0%であった。「他の都府県」出身では、「江別市の現在の居住地に住み続けたい」の割合が他の出身地よりも高く、84.7%であった。

図表Ⅱ-2-9 今後の移住の意向（年齢別）

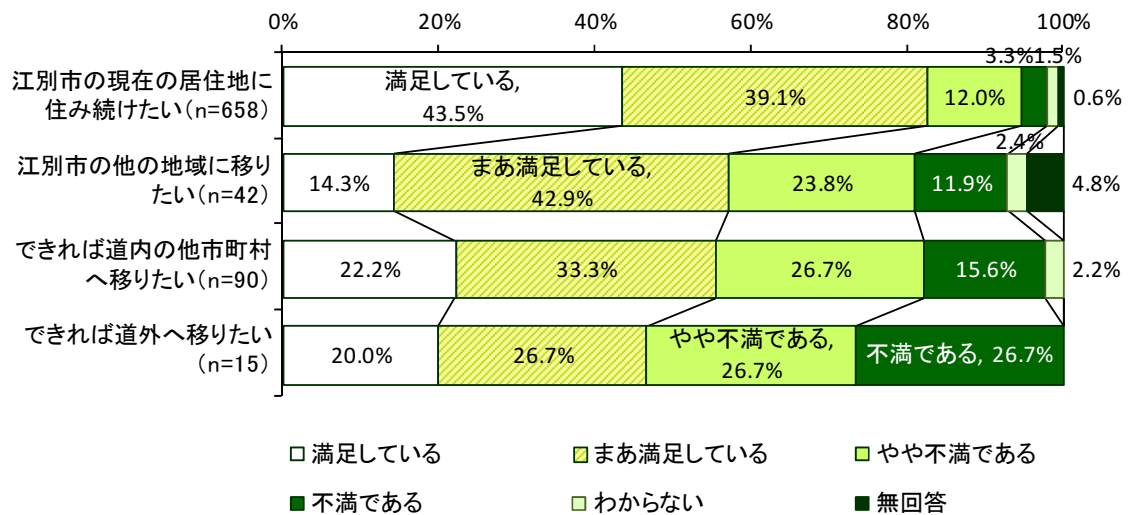


図表Ⅱ-2-10 今後の移住の意向（出身地別）

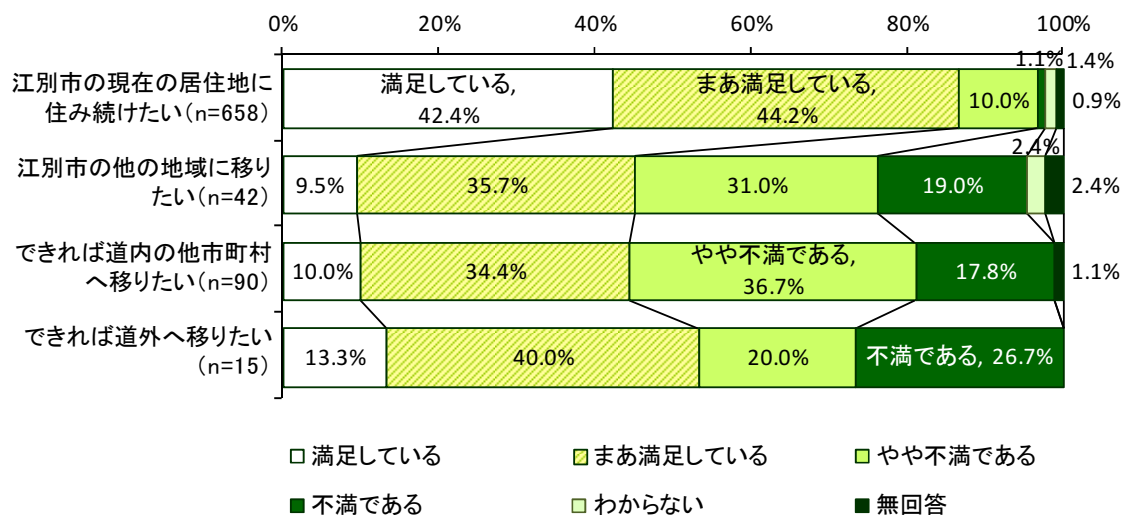


今後の移住の意向別に、「現在の住宅の満足度」「現在の居住地の満足度」についてみると、「江別市の現在の居住地に住み続けたい」と回答した 658 人は、現在の住宅、居住地ともに「満足」「まあ満足している」の割合が高いが、移住の意向がある人は、「江別市の現在の居住地に住み続けたい」と回答した人と比べて「やや不満である」「不満である」の割合が高くなっていった。

図表Ⅱ-2-11 現在の住宅の満足度（今後の移住の意向別）



図表Ⅱ-2-12 現在の居住地の満足度（今後の移住の意向別）



②移住希望地域

「江別市の他の地域に移りたい」と回答した 42 人の希望地域は、「無回答」の割合が 71.4% と高いが、地域名の回答があった中では、「野幌地区」が 9 人、「大麻地区」が 2 人、「江別地区」が 1 人であった。また、「できれば道内の他市町村へ移りたい」と回答した 90 人の希望地域は、「札幌市」が 53 人（58.9%）と半数を超えていた。さらに、「できれば道外へ移りたい」と回答した 15 人の希望都府県は、「東京圏」が 3 人、「無回答」が 10 人であった。

図表 II-2-13 移住希望地域

【江別市内の他の地域 (n=42)】

	件数	%
江別地区	1	2.4%
野幌地区	9	21.4%
大麻地区	2	4.8%
無回答	30	71.4%
全体	42	100.0%

【道内の他市町村 (n=90)】

	件数	%
札幌市	53	58.9%
石狩(札幌・江別除く)	3	3.3%
空知	0	0.0%
後志	1	1.1%
胆振	1	1.1%
日高	0	0.0%
渡島	1	1.1%
檜山	0	0.0%
上川	1	1.1%
留萌	0	0.0%
宗谷	0	0.0%
オホーツク	0	0.0%
十勝	0	0.0%
釧路	2	2.2%
根室	0	0.0%
無回答	28	31.1%
全体	90	100.0%

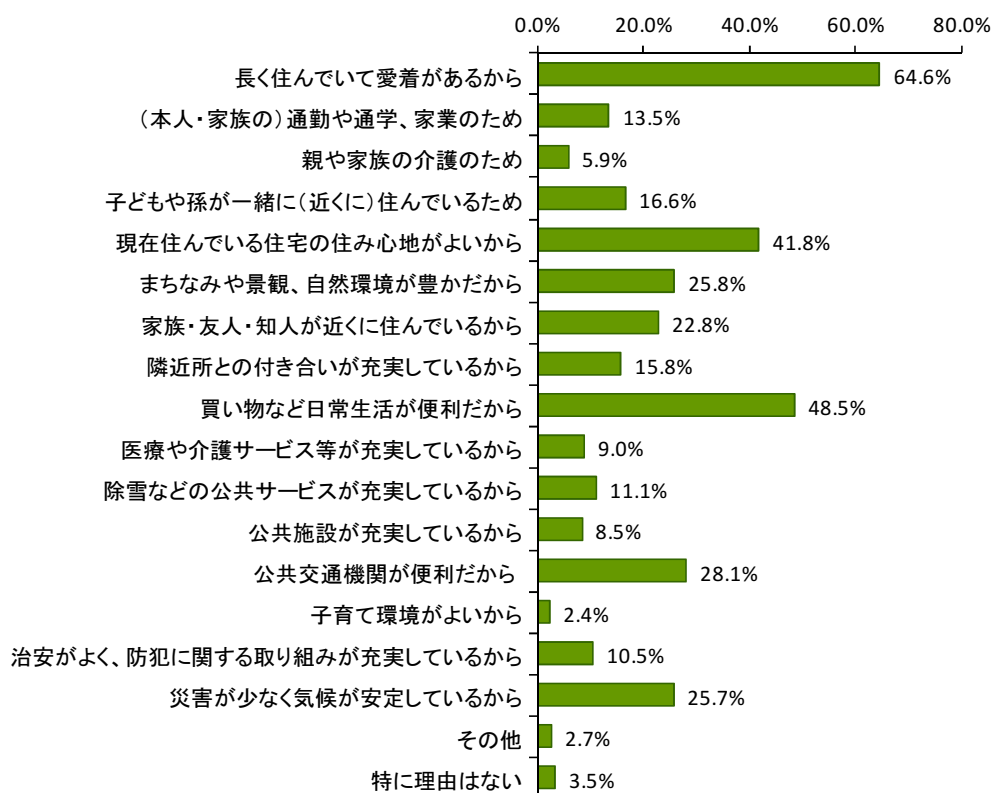
【道外 (n=15)】

	件数	%
東北	0	0.0%
北関東	0	0.0%
東京圏	3	20.0%
中部・北陸	0	0.0%
中京圏	1	6.7%
大阪圏	1	6.7%
京阪周辺	0	0.0%
中国	0	0.0%
四国	0	0.0%
九州・沖縄	0	0.0%
無回答	10	66.7%
全体	15	100.0%

③現在の居住地に住み続けたい理由

また、今後も「江別市の現在の居住地に住み続けたい」と回答した 658 人に、住み続けたい理由を聞いたところ、「長く住んでいて愛着があるから」の割合が 64.6%と最も高く、次いで「買い物など日常生活が便利だから」が 48.5%、「現在住んでいる住宅の住み心地がよいから」が 41.8%であった。

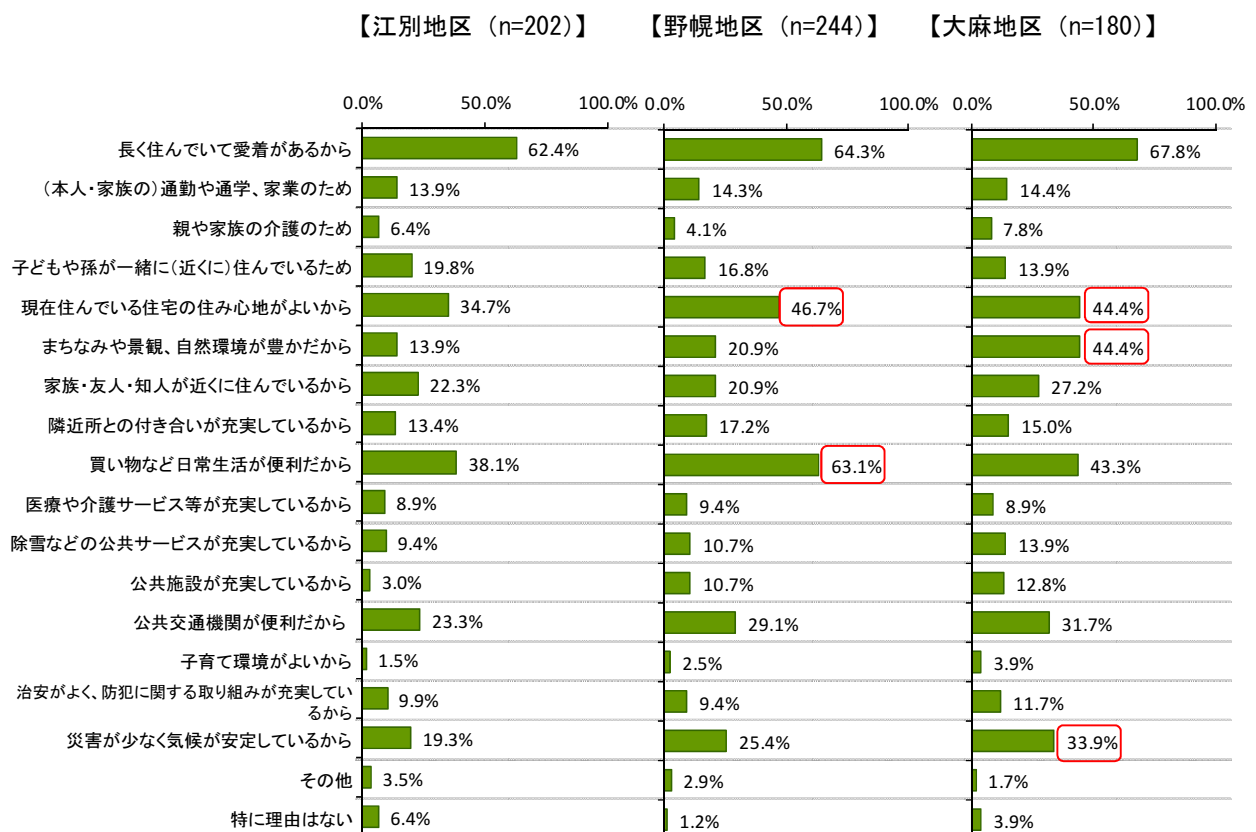
図表Ⅱ-2-14 現在の居住地に住み続けたい理由（複数回答、n=658）



現在の居住地に住み続けたい理由について居住地区別にみると、「野幌地区」では、「買い物など日常生活が便利だから」の割合が63.1%となっており、他の地区と比べても高くなっていた。「大麻地区」では、「まちなみや景観、自然環境が豊かだから」の割合が44.4%、「災害が少なく気候が安定しているから」が33.9%となっており、他の地区と比べて高くなっていた。

また、「現在住んでいる住宅の住み心地がよいから」は「野幌地区」が46.7%、「大麻地区」が44.4%となっており、「江別地区」の34.7%よりも高い割合となっていた。

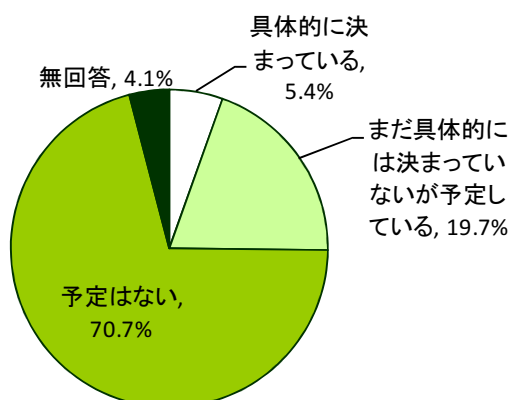
図表Ⅱ-2-15 現在の居住地に住み続けたい理由（居住地区別、複数回答）



(5) 移住の予定

今後の移住の意向で「江別市の他の地域に移りたい」「できれば道内の他市町村に移りたい」「できれば道外へ移りたい」と回答した 147 人に、移住することがすでに決まっているかを聞いたところ、「予定はない」の割合が 70.7%と最も高く、次いで「まだ具体的には決まっていないが予定している」が 19.7%、「具体的に決まっている」が 5.4%であった。

図表Ⅱ-2-16 移住の予定 (n=147)



移住の予定が「具体的に決まっている」または「まだ具体的には決まっていないが予定している」と回答した 37 人の年齢をみると、移住の「予定はない」と回答した 104 人と比べて 70 代の割合が高く、「70～74 歳」が 16.2%、「75～79 歳」が 10.8%となっていた。一方、「50～54 歳」では「予定はない」と回答した人の方が割合は高く、25.0%であった。

図表Ⅱ-2-17 移住の予定別の年齢構成

	年齢						合計
	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	
具体的に決まっている/まだ具体的に決まっていないが予定している	5 13.5%	8 21.6%	7 18.9%	7 18.9%	6 16.2%	4 10.8%	37 100.0%
具体的に決まっている	1 12.5%	1 12.5%	1 12.5%	2 25.0%	1 12.5%	2 25.0%	8 100.0%
まだ具体的には決まっていないが予定している	4 13.8%	7 24.1%	6 20.7%	5 17.2%	5 17.2%	2 6.9%	29 100.0%
予定はない	26 25.0%	23 22.1%	19 18.3%	19 18.3%	8 7.7%	9 8.7%	104 100.0%
無回答	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	2 33.3%	1 16.7%	6 100.0%
合計	32 21.8%	32 21.8%	26 17.7%	27 18.4%	16 10.9%	14 9.5%	147 100.0%

移住の予定が「具体的に決まっている」または「まだ具体的には決まっていないが予定している」と回答した 37 人の年収をみると、「600～800 万円台」と「900 万円以上」を合わせた割合は 29.7%と約 3 割であったが、移住の「予定はない」と回答した人は 21.1%と約 2 割であった。一方、「0～200 万円台」では、移住の「予定はない」と回答した人の方が割合は高く、38.5%であった。

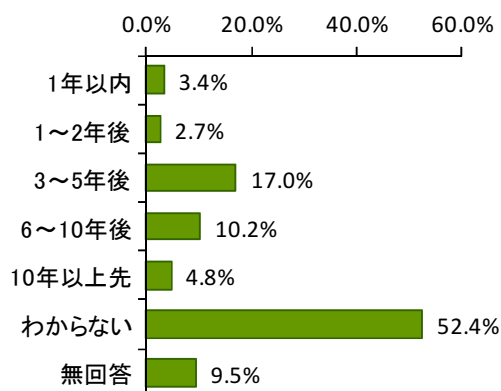
図表Ⅱ-2-18 移住の予定別の平成 27 年の年収

	平成27年の年収						合計
	0～200万円台	300～500万円台	600～800万円台	900万円以上	わからない	無回答	
具体的に決まっている/まだ具体的には決まっていないが予定している	12 32.4%	14 37.8%	9 24.3%	2 5.4%	0 0.0%	0 0.0%	37 100.0%
具体的に決まっている	4 50.0%	3 37.5%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 100.0%
まだ具体的には決まっていないが予定している	8 27.6%	11 37.9%	8 27.6%	2 6.9%	0 0.0%	0 0.0%	29 100.0%
予定はない	40 38.5%	36 34.6%	12 11.5%	10 9.6%	3 2.9%	3 2.9%	104 100.0%
無回答	4 66.7%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 100.0%
合計	56 38.1%	51 34.7%	22 15.0%	12 8.2%	3 2.0%	3 2.0%	147 100.0%

(6) 移住の時期

今後の移住の意向で「江別市の他の地域に移りたい」「できれば道内の他市町村に移りたい」「できれば道外へ移りたい」と回答した 147 人に、移住の時期はいつ頃を予定または希望しているかについて聞いたところ、「わからない」の割合が 52.4%と 5 割を超えており、「3～5 年後」が 17.0%、「6～10 年後」が 10.2%であった。

図表Ⅱ-2-19 移住の時期 (n=147)

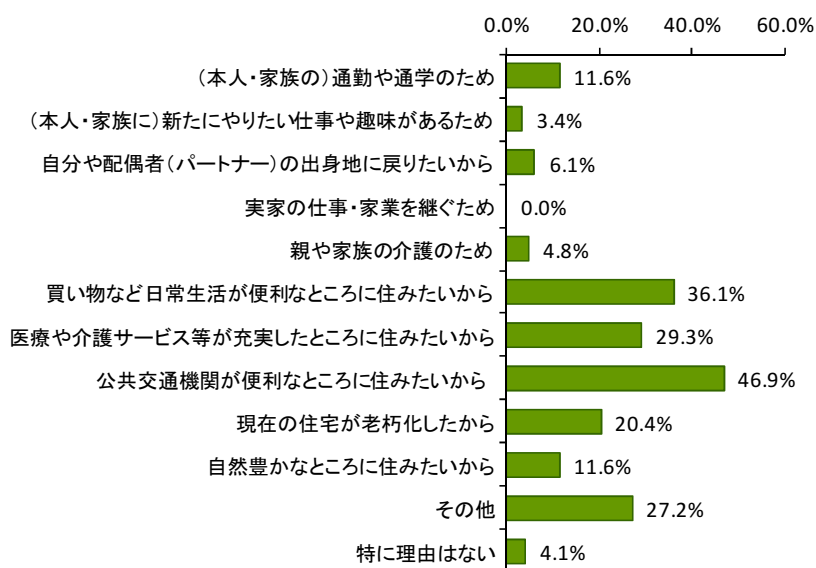


(7) 移住をしたい理由

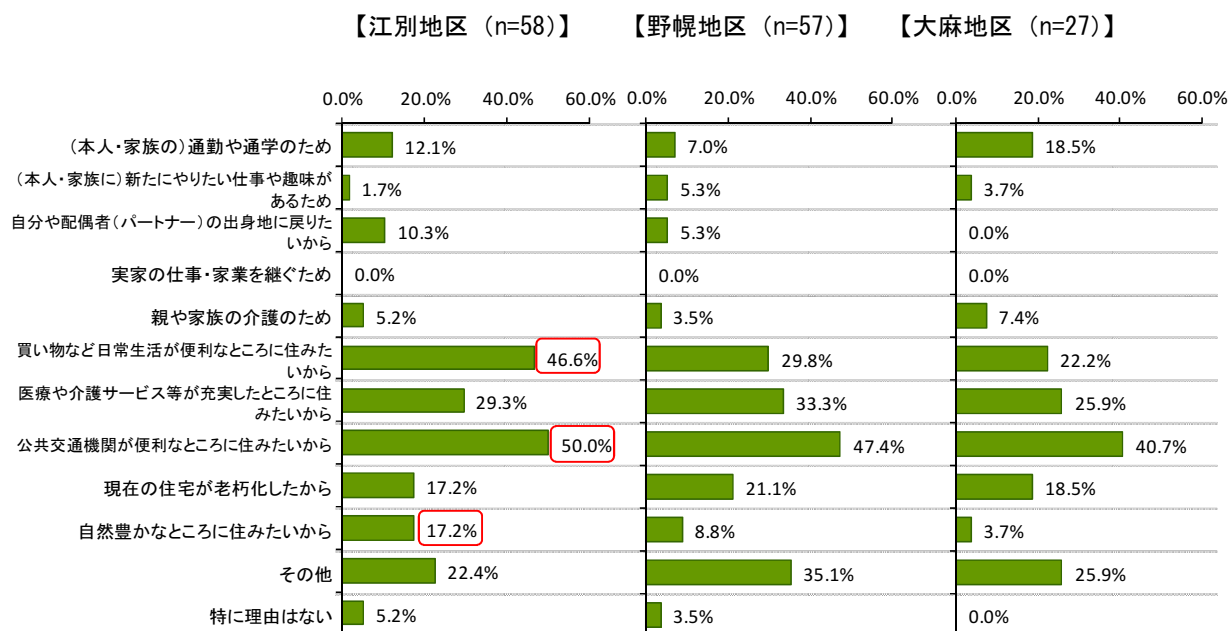
今後の移住の意向で「江別市の他の地域に移りたい」「できれば道内の他市町村に移りたい」「できれば道外へ移りたい」と回答した 147 人に、移住をしたい理由について聞いたところ、「公共交通機関が便利なところに住みたいから」の割合が 46.9%と最も高く、次いで「買い物など日常生活便利なところに住みたいから」が 36.1%、「医療や介護サービス等が充実したところに住みたいから」が 29.3%であった。

また、居住地区別にみると、「江別地区」では、「買い物などの日常生活が便利などことに住みたい」「公共交通機関が便利なところに住みたい」「自然豊かなところに住みたい」の割合が他の地区と比べて高く、それぞれ 46.6%、50.0%、17.2%であった。

図表Ⅱ-2-20 移住をしたい理由（複数回答、n=147）



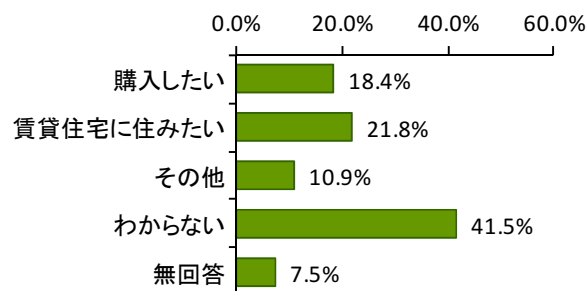
図表Ⅱ-2-21 移住をしたい理由（複数回答、n=147）



(8) 移住後の住宅の購入

今後の移住の意向で「江別市の他の地域に移りたい」「できれば道内の他市町村に移りたい」「できれば道外へ移りたい」と回答した 147 人に、移住後の住宅の購入について聞いたところ、「わからない」の割合が 41.5%と最も高く、次いで「賃貸住宅に住みたい」が 21.8%、「購入したい」が 18.4%であった。

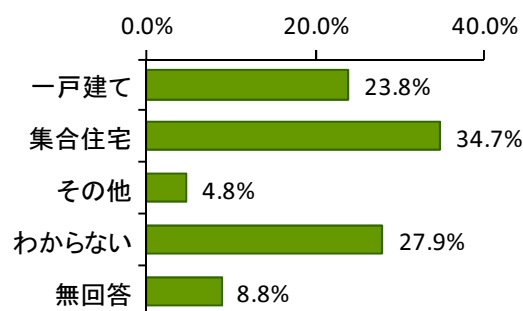
図表 II-2-22 移住後の住宅の購入 (n=147)



(9) 移住後の住宅の形態

今後の移住の意向で「江別市の他の地域に移りたい」「できれば道内の他市町村に移りたい」「できれば道外へ移りたい」と回答した 147 人に、移住後の住宅の形態を聞いたところ、「集合住宅」の割合が 34.7%と最も高く、次いで「わからない」が 27.9%、「一戸建て」が 23.8%であった。

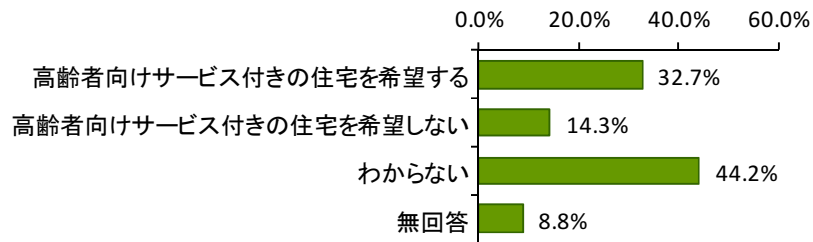
図表 II-2-23 移住後の住宅の形態 (n=147)



(10) 移住後の高齢者向けサービス付き住宅の希望

今後の移住の意向で「江別市の他の地域に移りたい」「できれば道内の他市町村に移りたい」「できれば道外へ移りたい」と回答した 147 人に、移住後に高齢者向けのサービス付きの住宅を希望するかを聞いたところ、「わからない」の割合が 44.2%と最も高く、次いで「高齢者向けサービス付きの住宅を希望する」が 32.7%、「高齢者向けのサービス付きの住宅を希望しない」が 14.3%であった。

図表Ⅱ-2-24 移住後の高齢者向けサービス付き住宅の希望 (n=147)



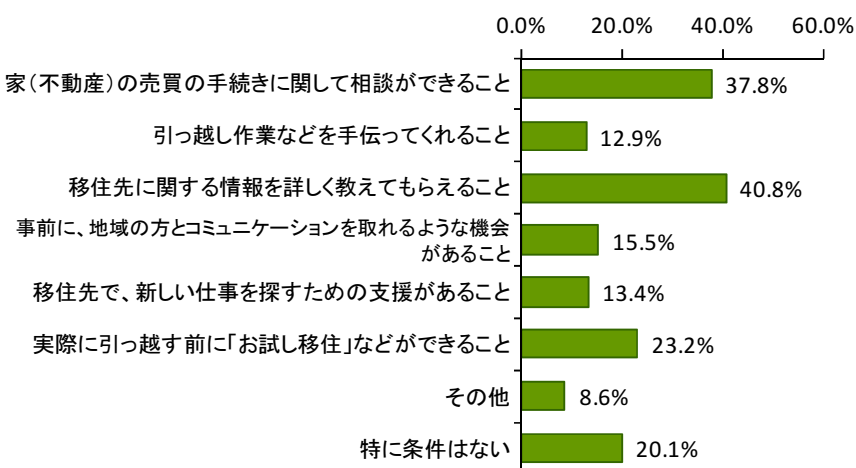
(11) 移住を考える条件

どのような条件があれば移住をしたいかを聞いたところ、「移住先に関する情報を詳しく教えてもらえること」の割合が40.8%と最も高く、次いで「家（不動産）の売買の手続きなどに関して相談ができること」が37.8%、「実際に引っ越す前に「お試し移住」などができると」が23.2%であった。

年齢別にみると、「家（不動産）の売買の手続きに関して相談ができること」の割合は、年齢が低い方が高くなっており、50代、60代は約4割を占めていたが、70代では約3割となっていた。また、「移住先に関する情報を詳しく教えてもらえること」については、50代、60代では4割を超え、特に「60～64歳」では52.4%であったが、「75～79歳」では2割程度にとどまっていた。

「移住先で新しい仕事を探すための支援があること」も年齢が低い方がその割合は高く、「50～54歳」が43.3%と他の年代と比べて最も高く、65歳以上では、1割未満であった。

図表Ⅱ-2-25 移住を考える条件（複数回答、n=822）



図表Ⅱ-2-26 移住を考える条件（年齢別、複数回答）

		移住を考えるための条件								全体
		家(不動産)の売買の手続きに関して相談ができること	引っ越し作業などを手伝ってくれること	移住先に関する情報を詳しく教えてもらえること	事前に、地域の方とコミュニケーションを取れるような機会があること	移住先で、新しい仕事を探すための支援があること	実際に引っ越す前に「お試し移住」などができると	その他	特に条件はない	
年齢	50～54歳	44 45.4%	14 14.4%	43 44.3%	16 16.5%	42 43.3%	25 25.8%	8 8.2%	18 18.6%	97
	55～59歳	54 42.9%	10 7.9%	57 45.2%	15 11.9%	30 23.8%	26 20.6%	5 4.0%	28 22.2%	126
	60～64歳	61 42.1%	16 11.0%	76 52.4%	26 17.9%	16 11.0%	40 27.6%	8 5.5%	27 18.6%	145
	65～69歳	72 39.3%	27 14.8%	85 46.4%	40 21.9%	11 6.0%	58 31.7%	20 10.9%	26 14.2%	183
	70～74歳	45 31.5%	22 15.4%	46 32.2%	23 16.1%	6 4.2%	26 18.2%	18 12.6%	34 23.8%	143
	75～79歳	34 28.3%	17 14.2%	28 23.3%	7 5.8%	4 3.3%	16 13.3%	12 10.0%	30 25.0%	120
	無回答	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	2 25.0%	8
	合計	311 37.8%	106 12.9%	335 40.8%	127 15.5%	110 13.4%	191 23.2%	71 8.6%	165 20.1%	822

3. 社会活動や趣味活動について

(1) 社会活動や趣味活動

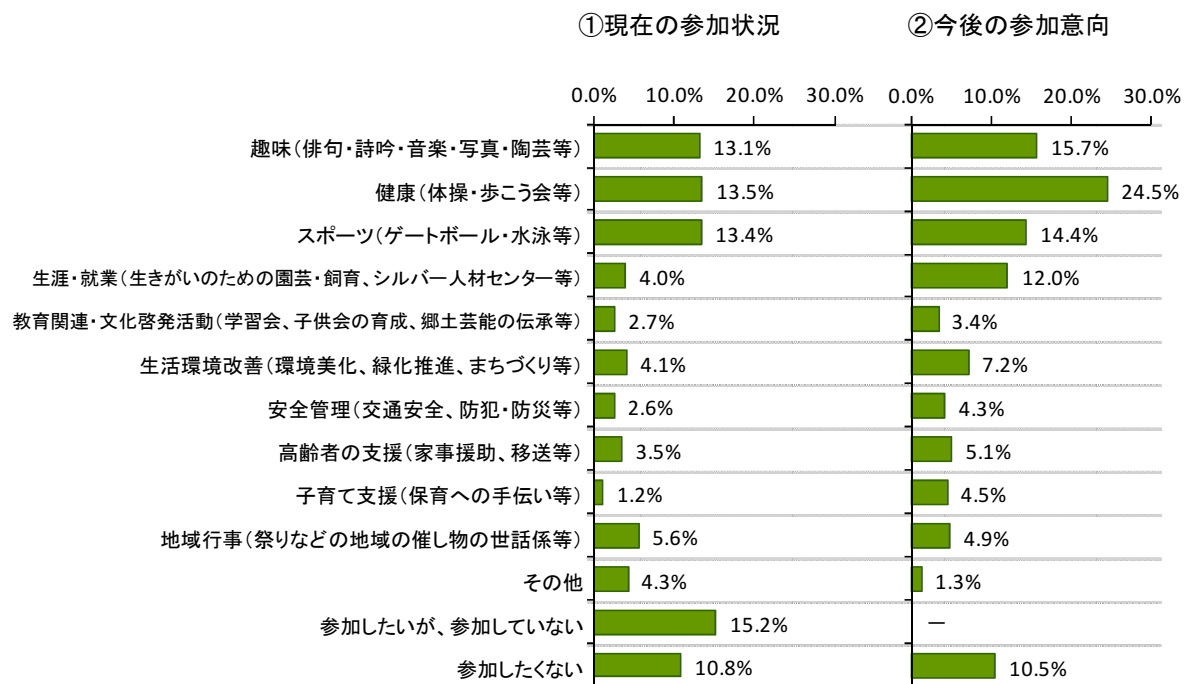
①現在の参加状況

個人または友人、グループや団体で自主的に行われているような活動への現在の参加状況について聞いたところ、「参加したいが、参加していない」の割合が15.2%と最も高く、次いで「健康」が13.5%、「スポーツ」が13.4%、「趣味」が13.1%であった。

②今後の参加意向

個人または友人、グループや団体で自主的に行われているような活動への今後の参加意向について聞いたところ、「健康」の割合が24.5%と最も高く、次いで「趣味」が15.7%、「スポーツ」が14.4%、「生涯・就業」が12.0%であった。

図表Ⅱ-3-1 社会活動や趣味活動 (n=822)



(2) 学習活動

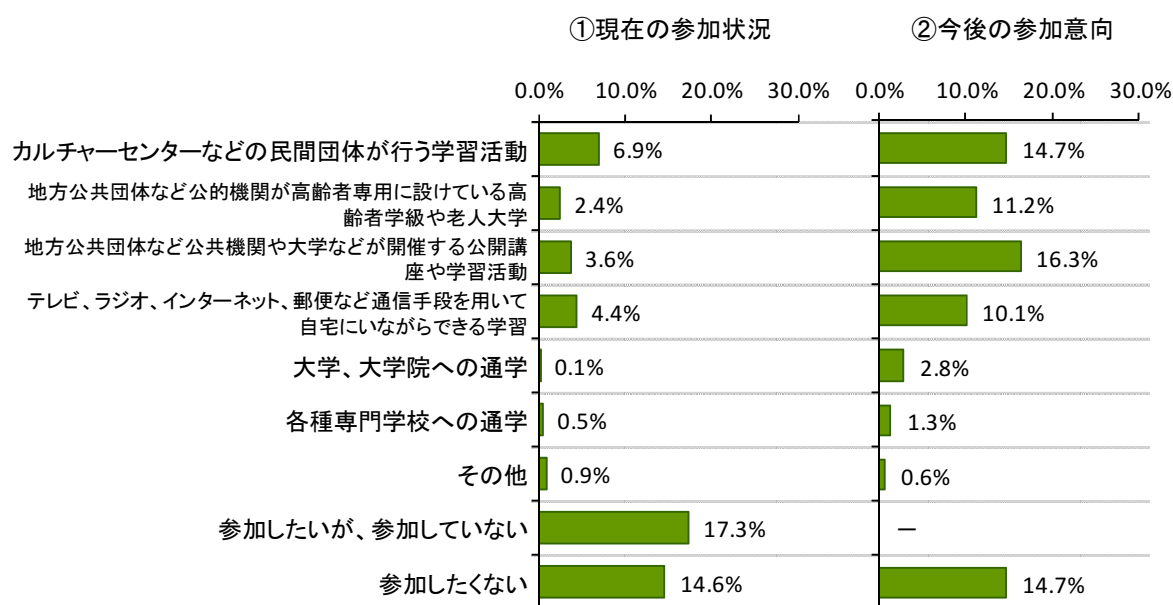
①現在の参加状況

学習活動への現在の参加状況について聞いたところ、「参加したいが、参加していない」の割合が17.3%と最も高く、次いで「参加したくない」が14.6%、「カルチャーセンターなどの民間団体が行う学習活動」が6.9%であった。

②今後の参加意向

学習活動への今後の参加意向について聞いたところ、「地方公共団体など公共機関や大学などが開催する公開講座や学習活動」の割合が16.3%と最も高く、次いで「カルチャーセンターなどの民間団体が行う学習活動」「参加したくない」がともに14.7%、「地方公共団体など公的機関が高齢者専用で設けている高齢者学級や老人大学」が11.2%であった。

図表Ⅱ-3-2 学習活動 (n=822)



4. 「生涯活躍のまち」構想について

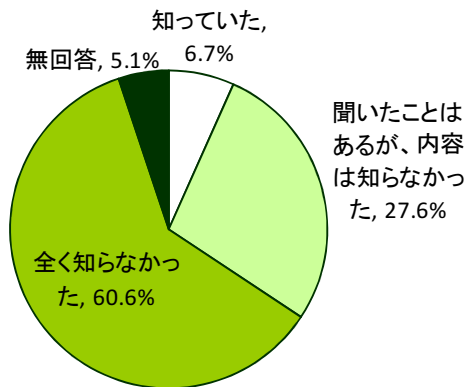
(1) 「生涯活躍のまち」構想の認知度

「生涯活躍のまち」構想について知っているかを聞いたところ、「全く知らなかった」の割合が60.6%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らなかった」が27.6%、「知っていた」は6.7%であった。

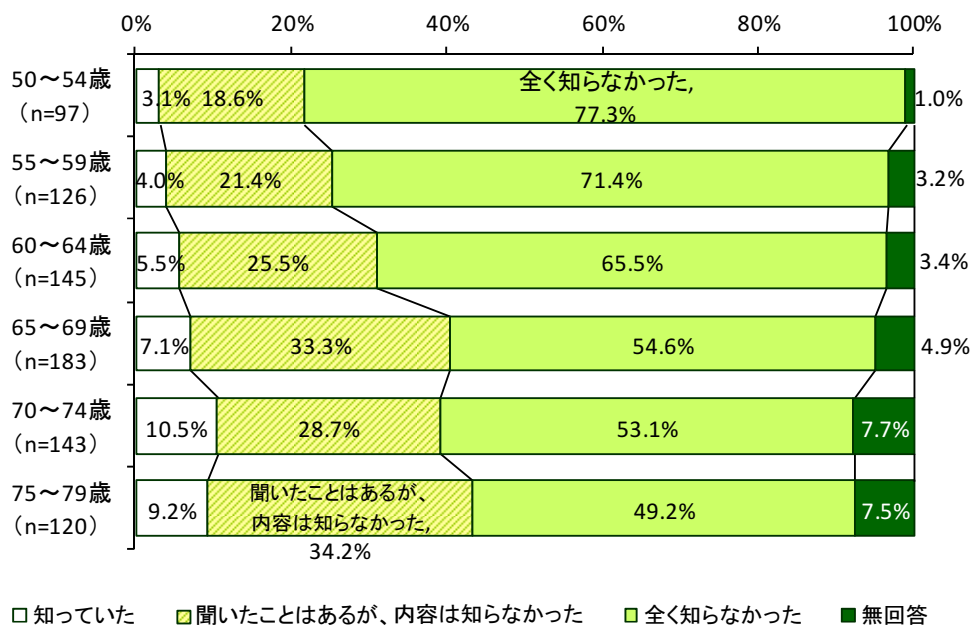
年齢別にみると、50代では「知っていた」と「聞いたことはあるが、内容は知らなかった」を合わせた割合は他の年代と比べても低く、「50～54歳」では21.7%、「54～59歳」では25.4%であった。また、「全く知らなかった」の割合が7割を超え、「50～54歳」では77.3%、「54～59歳」では71.4%となっていた。

65歳以上の年代では、「知っていた」と「聞いたことはあるが、内容は知らなかった」を合わせた割合は約4割となっており、「75～79歳」では43.4%であった。また、「全く知らなかった」の割合も5割程度となっていた。

図表Ⅱ-4-1 「生涯活躍のまち」構想の認知度 (n=822)



図表Ⅱ-4-2 「生涯活躍のまち」構想の認知度 (年齢別)

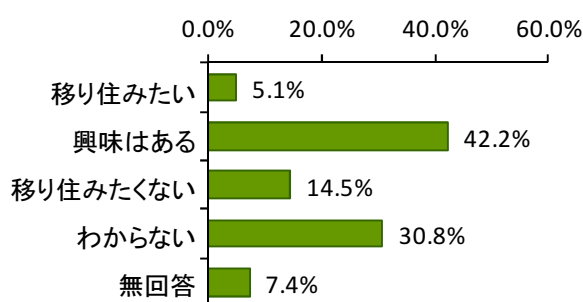


(2) 江別版「生涯活躍のまち」への移住意向

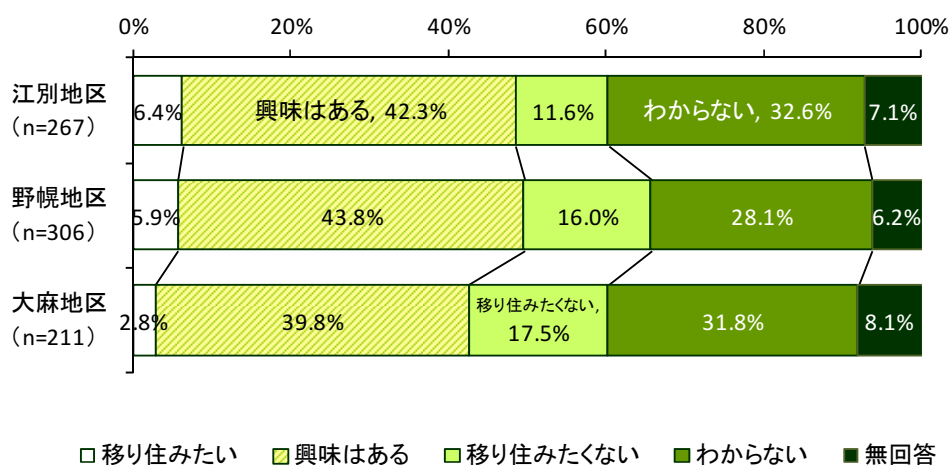
江別市内で「生涯活躍のまち」構想を実現した場合に「生涯活躍のまち」に移り住みたいかを聞いたところ、「興味はある」の割合が42.2%と最も高く、次いで「わからない」が30.8%、「移り住みたくない」が14.5%、「移り住みたい」は5.1%であった。

居住地区別にみると、「江別地区」「野幌地区」では「移り住みたい」と「興味はある」を合わせた割合がそれぞれ48.7%、49.7%となっており、約5割の人が興味を持っていたが、「大麻地区」では「移り住みたい」と「興味はある」を合わせた割合が42.6%にとどまっており、「移り住みたくない」の割合も他の地区と比べると高く、17.5%であった。

図表Ⅱ-4-3 江別版「生涯活躍のまち」への移住意向 (n=822)



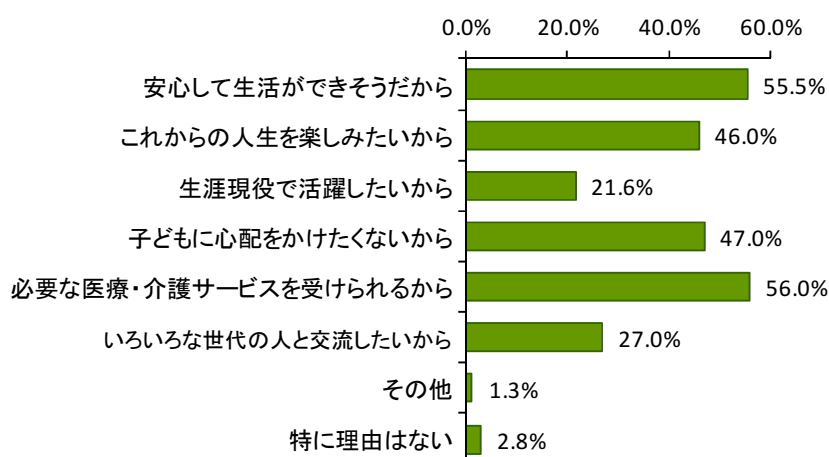
図表Ⅱ-4-4 江別版「生涯活躍のまち」への移住意向 (居住地区別)



(3) 江別版「生涯活躍のまち」への移住理由

江別版「生涯活躍のまち」への移住意向で、「移り住みたい」「興味はある」と回答した 389 人に、その理由を聞いたところ、「必要な医療・介護サービスを受けられるから」の割合が 56.0% と最も高く、次いで「安心して生活ができそうだから」が 55.5%、「子どもに心配をかけたくないから」が 47.0%、「これからの人生を楽しみたいから」が 46.0% であった。

図表Ⅱ-4-5 江別版「生涯活躍のまち」への移住理由（複数回答、n=389）



年齢別にみると、50代では「生涯現役で活躍したいから」の割合が他の年代よりも高く、「50～54歳」が 33.3%、「55～59歳」が 30.5% であった。60代では「これからの人生を楽しみたいから」の割合が他の年代よりも高く、「60～64歳」が 53.3%、「65～69歳」が 51.6% であった。70代では「子どもに心配をかけたくないから」の割合が他の年代よりも高く、「70～74歳」で 54.0%、「75～79歳」で 56.9% であった。また、「70～74歳」では「安心して生活ができそうだから」「必要な医療・介護サービスを受けられるから」の割合が他の年代よりも高く、ともに 68.3% であった。

図表Ⅱ-4-6 江別版「生涯活躍のまち」への移住理由（年齢別、複数回答）

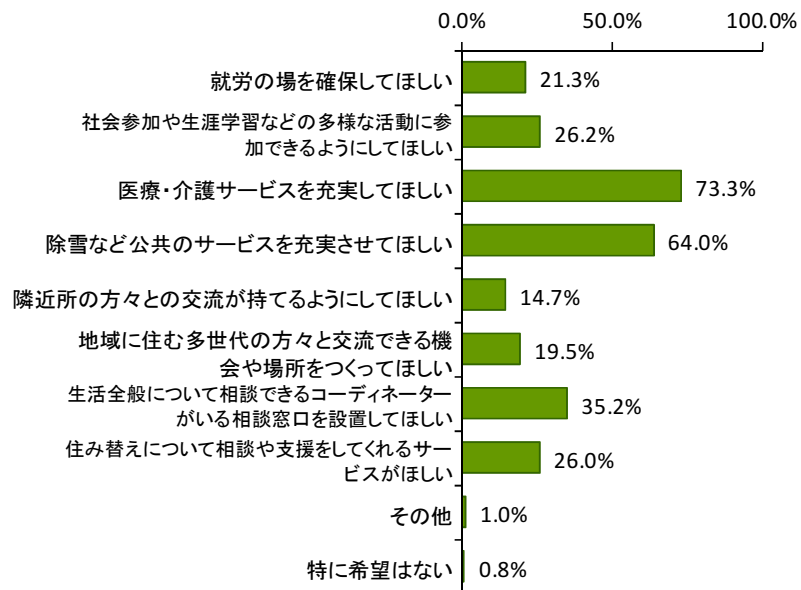
(複数回答)

		生涯活躍のまちに移り住みたい理由								全体
		安心して生活ができそうだから	これからの人生を楽しみたいから	生涯現役で活躍したいから	子どもに心配をかけたくないから	必要な医療・介護サービスを受けられるから	いろいろな世代の人と交流したいから	その他	特に理由はない	
年齢	50～54歳	20 44.4%	19 42.2%	15 33.3%	20 44.4%	20 44.4%	8 17.8%	1 2.2%	3 6.7%	45
	55～59歳	28 47.5%	27 45.8%	18 30.5%	25 42.4%	31 52.5%	15 25.4%	0 0.0%	2 3.4%	59
	60～64歳	42 56.0%	40 53.3%	14 18.7%	33 44.0%	46 61.3%	16 21.3%	2 2.7%	0 0.0%	75
	65～69歳	54 58.1%	48 51.6%	19 20.4%	40 43.0%	49 52.7%	28 30.1%	1 1.1%	4 4.3%	93
	70～74歳	43 68.3%	28 44.4%	10 15.9%	34 54.0%	43 68.3%	20 31.7%	0 0.0%	1 1.6%	63
	75～79歳	27 52.9%	16 31.4%	7 13.7%	29 56.9%	27 52.9%	17 33.3%	1 2.0%	1 2.0%	51
	無回答	2 66.7%	1 33.3%	1 33.3%	2 66.7%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	3
合計		216 55.5%	179 46.0%	84 21.6%	183 47.0%	218 56.0%	105 27.0%	5 1.3%	11 2.8%	389

(4) 江別版「生涯活躍のまち」構想に求めるサービス

江別版「生涯活躍のまち」への移住意向で、「移り住みたい」「興味はある」と回答した 389 人に、どのようなサービスを求めるかを聞いたところ、「医療・介護サービスを充実してほしい」の割合が 73.3%と最も高く、次いで「除雪など公共のサービスを充実させてほしい」が 64.0%、「生活全般について相談できるコーディネーターがいる相談窓口を設置してほしい」が 35.2%であった。

図表Ⅱ-4-7 江別版「生涯活躍のまち」構想に求めるサービス（複数回答、n=389）



年齢別にみると、50代では「就労の場を確保してほしい」の割合が他の年代よりも高く、「50～54歳」は42.2%、「55～59歳」は47.5%であった。また、「50～54歳」では「除雪などの公共サービスを充実させてほしい」の割合が他の年代よりも高く、75.6%と7割を超えていた。

「70～74歳」では「地域に住む多世代の方々と交流できる機会や場所をつくってほしい」「生活全般について相談できるコーディネーターがいる相談窓口を設置してほしい」の割合が他の年代よりも高く、それぞれ30.2%、42.9%であった。

図表Ⅱ-4-8 江別版「生涯活躍のまち」構想に求めるサービス（年齢別、複数回答）

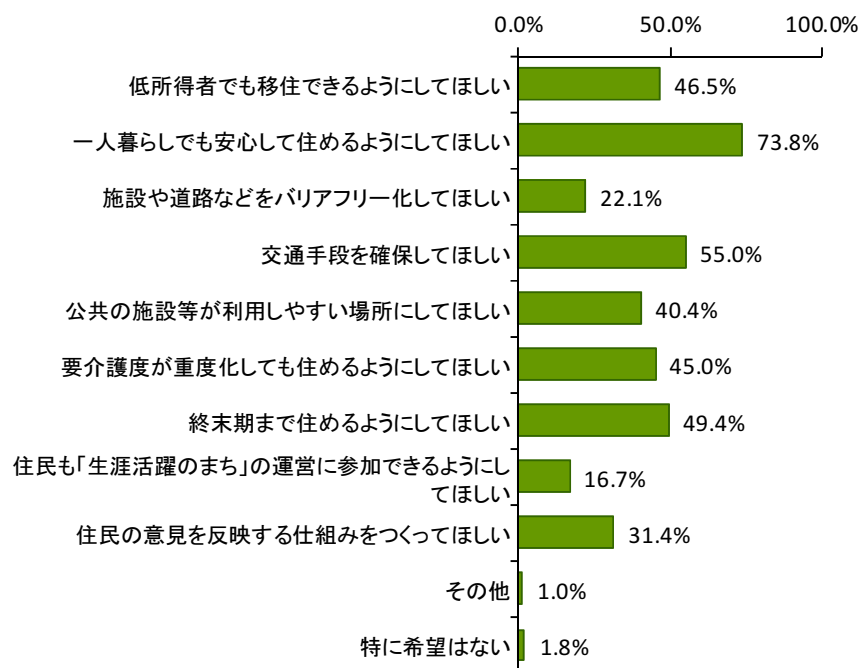
(複数回答)

		江別版「生涯活躍のまち」構想に求めるサービス										全体
		就労の場を確保してほしい	社会参加や生涯学習などの多様な活動に参加できるようにしてほしい	医療・介護サービスを充実してほしい	除雪など公共のサービスを充実させてほしい	隣近所の方々との交流が持てるようにしてほしい	地域に住む多世代の方々と交流できる機会や場所をつくってほしい	生活全般について相談できるコーディネーターがいる相談窓口を設置してほしい	住み替えについて相談や支援をしてもらえるサービスがほしい	その他	特に希望はない	
年齢	50～54歳	19 42.2%	15 33.3%	29 64.4%	34 75.6%	2 4.4%	6 13.3%	15 33.3%	14 31.1%	3 6.7%	0 0.0%	45
	55～59歳	28 47.5%	16 27.1%	44 74.6%	36 61.0%	10 16.9%	12 20.3%	17 28.8%	17 28.8%	0 0.0%	0 0.0%	59
	60～64歳	17 22.7%	25 33.3%	56 74.7%	52 69.3%	9 12.0%	10 13.3%	28 37.3%	21 28.0%	0 0.0%	1 1.3%	75
	65～69歳	13 14.0%	23 24.7%	67 72.0%	58 62.4%	19 20.4%	10 10.8%	35 37.6%	24 25.8%	0 0.0%	0 0.0%	93
	70～74歳	3 4.8%	15 23.8%	47 74.6%	39 61.9%	9 14.3%	19 30.2%	27 42.9%	16 25.4%	1 1.6%	1 1.6%	63
	75～79歳	2 3.9%	7 13.7%	39 76.5%	29 56.9%	8 15.7%	10 19.6%	14 27.5%	9 17.6%	0 0.0%	1 2.0%	51
	無回答	1 33.3%	1 33.3%	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3
	合計	83 21.3%	102 26.2%	285 73.3%	249 64.0%	57 14.7%	76 19.5%	137 35.2%	101 26.0%	4 1.0%	3 0.8%	389

(5) 江別版「生涯活躍のまち」構想に求める条件

江別版「生涯活躍のまち」への移住意向で、「移り住みたい」「興味はある」と回答した 389 人に、どのような条件を求めるかを聞いたところ、「一人暮らしでも安心して住めるようにしてほしい」の割合が 73.8%と最も高く、次いで「交通手段を確保してほしい」が 55.0%、「終末期まで住めるようにしてほしい」が 49.4%、「低所得者でも移住できるようにしてほしい」が 46.5%であった。

図表Ⅱ-4-9 江別版「生涯活躍のまち」構想に求める条件（複数回答、n=389）



年代別にみると、「50～54 歳」では、「低所得者でも移住できるようにしてほしい」「住民の件を反映する仕組みをつくってほしい」の割合が他の年代よりも高く、それぞれ 66.7%、42.2%であった。また、「70～74 歳」では、「一人暮らしでも安心して住めるようにしてほしい」の割合が他の年代よりも高く、81.0%と 8 割を超えていた。さらに 60 代では、「要介護度が重度化しても住めるようにしてほしい」「終末期まで住めるようにしてほしい」の割合が他の年代よりも比較的高く、いずれも 5 割を超えていた。

図表 II-4-10 江別版「生涯活躍のまち」構想に求める条件（複数回答）

		江別版「生涯活躍のまち」構想に求める条件											(複数回答)
年齢		低所得者でも移住できるようにしてほしい	一人暮らしでも安心して住めるようにしてほしい	施設や道路などをバリアフリー化してほしい	交通手段を確保してほしい	公共の施設等が利用しやすい場所にしてほしい	要介護度が重度化しても住めるようにしてほしい	終末期まで住めるようにしてほしい	住民も「生涯活躍のまち」の運営に参加できるようにしてほしい	住民の意見を反映する仕組みをつくってほしい	その他	特に希望はない	全体
		50～54歳	30 66.7%	31 68.9%	12 26.7%	29 64.4%	20 44.4%	13 28.9%	17 37.8%	10 22.2%	19 42.2%	1 2.2%	0 0.0%
55～59歳	29 49.2%	42 71.2%	9 15.3%	31 52.5%	19 32.2%	21 35.6%	27 45.8%	8 13.6%	15 25.4%	2 3.4%	3 5.1%	59	
60～64歳	31 41.3%	57 76.0%	16 21.3%	41 54.7%	32 42.7%	38 50.7%	40 53.3%	10 13.3%	26 34.7%	0 0.0%	0 0.0%	75	
65～69歳	43 46.2%	66 71.0%	23 24.7%	52 55.9%	40 43.0%	52 55.9%	52 55.9%	22 23.7%	34 36.6%	0 0.0%	2 2.2%	93	
70～74歳	33 52.4%	51 81.0%	17 27.0%	38 60.3%	32 50.8%	29 46.0%	29 46.0%	10 15.9%	15 23.8%	0 0.0%	2 3.2%	63	
75～79歳	14 27.5%	37 72.5%	8 15.7%	22 43.1%	13 25.5%	20 39.2%	26 51.0%	4 7.8%	12 23.5%	1 2.0%	0 0.0%	51	
無回答	1 33.3%	3 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	2 66.7%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	3	
合計	181 46.5%	287 73.8%	86 22.1%	214 55.0%	157 40.4%	175 45.0%	192 49.4%	65 16.7%	122 31.4%	4 1.0%	7 1.8%	389	

(6) 「生涯活躍のまち」構想についての自由意見

「生涯活躍のまち」構想についての意見については、320名から回答があった。主な意見は下記のとおりであった。

①「生涯活躍のまち」構想に賛成意見

- ・いずれひとり暮らしになる。低い年金で今はなんとか暮らしているが、実際に一人になったときに低所得でも生きていける施設があれば近い将来に希望を持って今を元気に過ごせると思う。素敵で構想を実現してほしい。(女性・66歳・野幌地区)
- ・江別版「生涯活躍のまち」構想、ぜひ推進していただきたい。これからの高齢化社会、健康で自立した生活をしていきたいと思うので、構想の実現、期待している。(女性・67歳・江別地区)
- ・高齢化社会に沿った理想的な構想だと思う。元気なうちから老後に備えて実現したいことなどたくさんある。早い実現を期待する。(女性・62歳・江別地区)
- ・年をとっていくにつれ家にこもりがちになり、地域の交流もない、ましてや子どもも離れて暮らすことが多い(障がい者も含めて)。高齢者もいつか孤立してしまいがち(施設に入居すること多い)。それを解消するためにもよいと思う。(女性・63歳・江別地区)

②「生涯活躍のまち」構想に反対意見

- ・具体的な施策が抽象的で具現化は困難と考える。高齢者が希望をもって生きられる環境は「生涯活躍のまち」づくり構想では実現不可能と考える。(男性・63歳・江別地区)
- ・住み慣れたところから「生涯活躍のまち」の移住、豊富なうたい文句に中高年は簡単に心は動かない。特に高齢者が都会から地方への構想はまるで姥捨て山。机上の若者の発想、老いの心情微塵にも感じられない。不満や要求ばかりではなく、我慢や感謝も必要。全ては自分次第である。江別は終の住みであるため一層の躍進を期待します。未来の子どもたちが輝くまち江別であってほしい。(女性・75歳・野幌地区)
- ・なぜ、一生涯活躍しないのだめなのか。ゆっくり、静かにのんびりと一生を終わりたいものです。資金はどこから出るのか。若者が生活できるまちにした方がよいと思う。(男性・57歳・野幌地区)

③「生涯活躍のまち」構想に疑問、理解ができない

- ・「生涯活躍のまち」を開始したとして、30年後は成り立っているのか。多世代が特に若い世代が魅力を感じるようなまちでなければ、持続が困難なのでは。(女性・63歳・大麻地区)
- ・「生涯活躍のまち」構想の推進は、状況を高齢者クラブの集まりの場で説明していただきたい。文書のみでの説明があっても、その詳細を理解することが難しい場合がある。(男性・67歳・大麻地区)
- ・1枚の資料では全くわからない。イメージすら湧かない。具体的な構想、地域などがわかれば少しは興味が生まれると思う。今後のプレゼンテーションに期待する。(女性・59歳・江別地区)

- ・総論としてはよいことと思うが、具体的な経費の面などが不明確なため判断ができない。いくつかモデルケースで表現してはどうか。(男性・56歳・大麻地区)

④「生涯活躍のまち」構想のその他意見

- ・やりたい目的等があって過ごしたい、人との関わりを持っていたいという希望を明確に持っている場合は、移ってみたいと考えるかもしれないが、駅から遠い、土地が狭いなど不満があり、移りたいという希望はあるが実現が経済的にもむずかしい場合は、選択肢としては同じ場所に住んでできる範囲で他と関わっていくというのが妥当なのであろう。推進にあたってキーポイントになるのは年寄りにわかりやすい情報の提供(具体例やもっと整理した提示)になるだろう。(男性・62歳・大麻地区)
- ・江別版「生涯活躍のまち」構想を策定にあたり、移住定住は別にして、今ある「江別のまちづくり」これは、市内にある自治会を通じ、多くの意見を聞くことと啓蒙を多くし、まずは理解をしてもらうことから始めることが重要ではないか。名だけの構想では意味はない。ぜひ住みたいとなる地域づくりを市が中心となり考えてはどうか。(男性・72歳・大麻地区)
- ・構想の具体的な実施時期や工程を示してもらいたい。私が生きている間に、実現するのか、今どこまで進んでいるのか、今後広報誌などで確認できるようにしてもらいたい。(男性・60歳・野幌地区)
- ・長命になった社会の中で活躍したいと思っている人たちのためのものなのか。日常生活の中でもそれぞれの意識次第でできることも多々ある。生きいきした生き方は個々の中にあり、自治体などの協力も必要ではあるが、その前に各個々意識改革も大事である。この取り組みが良い結果を生んでくれますことを祈念する。(女性・74歳・大麻地区)

⑤住みよいまちづくり

- ・江別市に住むとこのような特典があるということが何もない。例えば小学6年生まで医療費無料や高齢者には交通費援助があるとか。札幌市に近い点を活かし、大企業誘致とか力を入れるべき。札幌市ともっと便利につながりを持たすとか地下鉄も延伸できたら素晴らしい。せともの市などは根づいて素晴らしいし、もっと江別の特徴をアピールしていただきたい。野幌駅の再開発も時間がかかりすぎると思う。(女性・72歳・野幌地区)
- ・江別市は「まちづくり等」については、独自色が弱く、他都市(市町村)に似たようなことが多い。「住みやすいまち」「住んでみたいまち」は近郊の恵庭市より劣っている。市民参加型の意見集約を多くし、学識経験者等を多く集めての魅力ある「住んでみたいまち」を目指していただきたい。(女性・68歳・江別地区)

⑥社会参加と生きがいづくり

- ・文化的な活動が充実し、継続して行えることで、魅力的な個性を持った江別というまちをアピールできる。歳をとっても、学びたい気持は皆さん持っていて、その場が必要。情報図書館には、いつも多くの方々がいて、高齢の方がとても多い。(女性・61歳・野幌地区)
- ・高齢者が一人暮らしになったときにはサ高住などを利用して、生活に余裕(自分も含め)と安心を持って暮らしていけたらいいと思う。仕事、趣味、地域交流などのつながりのある生

活を望む。(女性・61歳・野幌地区)

⑦市の施策や行政の対応等

- ・あまり迷惑をかけないように自立した生活が続けていけるよう努力しようと思っているが、何か困った時に「ここに行くと相談できる」という窓口が老後の安心につながる一步のように思う。(女性・67歳・江別地区)
- ・各地域によって住んでいる年齢や活動に違いがあり、市としても偏りがちな予算付けとなっているのは当たり前。しかし、市内全体が豊かでなければならない。そのためには歴史的発展を加味してのまちづくり構想が必要と考える。国も道も市もその場の事業計画で決して将来のためになっているものは少なく、逆に荷物になってしまい、財政を圧迫されているのではないか。(男性・65歳・江別地区)
- ・移住してきた人が困らないためには、窓口は1つにしてそこから関係機関の紹介等をしていく。困ったらそこに行くというところを明確にすると、たらいまわしにはならない。(女性・66歳・江別地区)

⑧情報提供について

- ・各種活動情報の周知に力を入れて欲しい。そして種々の人々、団体等と交流したい。(男性・66歳・大麻地区)
- ・市民への協力を得るためには、情報を常に発信して、市がどのようなことをやっているのかが見えなくては他人事になってしまう。(女性・66歳・江別地区)

⑨医療について

- ・高齢の医療に対して、市内には家庭医として親身に対応してくれる医者がほとんどいないように感じる。在宅で生活をいつまでもと言っても、病気になったときの不安が大きいまちのように感じている。病院も充実していない。(男性・61歳・江別地区)
- ・一番気がかりなことは、年齢とともに病院にかかる回数が増えていること。足腰の障害も出てきているこの頃、病院(個人)はたくさんあるが、1か所の施設でいろいろな科を利用したいが、公共病院は信頼できる先生たちが少なく、市側でも先生方の数だけではなく、能力の問題や(市民の声)実働の問題等、時々院内に来て見て回ってほしいと切に思う。(女性・69歳・江別地区)

⑩介護について

- ・間違いなく介護が私の生活にも関わってくる日が必ずくると思う。今ボランティアをさせていただいているが、もっと介護される側の人達の考えを聞きながら、介護する側との関わりをもっと大切にもらえる江別市になってほしい。(女性・63歳・不明)
- ・自分が仕事を続けながら、親の介護が自宅でできることを私も親も希望している。地域の皆さんや市町村に助けをいただきながら生活できるようなまちにしてほしい。(女性・50歳・江別地区)

⑪交通機関について

- ・敬老パスのような交通費の補助がほしい。車を離してもこの補助があれば助かる。(女性・67歳・野幌地区)
- ・今は車を使用しているが、手放した場合はタクシーの利用になり、不便になると思うので、循環バス等の公共交通機関の整備が望まれる。ネットとメールでしか交流が出来なくなるのでは。(男性・76歳・野幌地区)

⑫雪対策について

- ・冬は公共交通機関が不便。通勤、通学は必要なバスが通れない除雪の下手な主要道路ばかり(特に3番通り、大麻)。それでいて、公共交通機関を使えというのはいわからない。住宅地に住民が除雪したあとにも何度も業者が入ってくる。バス停のところは山積みで、山を登って降りてバスに乗るのは危険である。冬は特に江別市が嫌になる。(男性・54歳・野幌地区)

⑬高齢者向け住宅など住まいについて

- ・高齢者の入れる安い施設が江別にもほしい。(女性・76歳・江別地区)
- ・最低サービスつきでいいので、高齢者向け住宅に安く入居できるところが多くなり、安心して生活できるために、ある年齢になったら、各地域で「生涯活躍のまち」の事前学習等広く学べたらと思う。(女性・68歳・江別地区)

⑭働く場や機会について

- ・生涯、働ける環境である江別市を希望する。低所得ではレクリエーションやサークル等のお遊びよりも生活の出来る場所、環境が欲しい。シルバーさんの人材等、一般企業、道の施設等で職の場を探して欲しい。(女性・54歳・野幌地区)

⑮今後の生活の不安について

- ・健康であれば、仕事に携わっていたいと思っている。年齢を重ねていくと今後の生活がどうなるかは不安。ケアが必要な場合、長く病院には入院できず、家族も介護が難しく、かつ施設にも入居できないと言った話を聞くと、お金がないと何もできないのかと不安になる。(女性・55歳・江別地区)
- ・現在生活している場所で参加できるのであればよいと思う。元気なうちはよいが、自分自身が介護の必要な状態となったとき、子供世帯から離れた場所で生活するのは難しいと思う。(女性・55歳・江別地区)
- ・年金がどんどん少なくなっていくので、施設に入所できる人が少なくなると思う。自宅で老老介護で過ごすのも、今まで以上にひとり暮らしが増えていく中で、どうすれば安心して自宅で生活できるか。そのような人たちに情報を伝え、アドバイスできる環境になっていければよいと思われる。(女性・50歳・野幌地区)

⑯その他

- ・江別市民憲章にすべて書かれているので、新たに意見はないが、基本的には産業がさかんに

なることだと考える。一朝一夕にして地域社会が出来るものではないことは誰でも知っている。また、そこが繁栄できたのは何らかの産業基盤を備えていたことは歴史が証明している。江別市民も働ける産業を振興することができればすばらしいと思う。(男性・70歳・野幌地区)

・江別に居住して40年以上になる。多方面で住み心地は良いと思っているので、できる限り住み続けたいと願っている。(女性・75歳・野幌地区)

Ⅲ

札幌市及び東京圏在住者を対象としたアンケート調査集計結果

札幌市と東京圏（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）に在住している50歳～79歳のうち、移住希望のある方を対象としてインターネットによるアンケート調査を行った（回答者数は札幌市在住者、東京圏在住者ともに515件）。

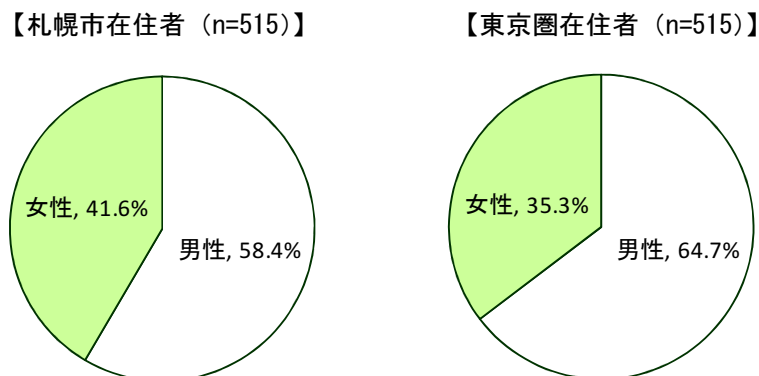
アンケート調査集計結果は以下のとおりである。

1. 回答者の基本属性

(1) 性別

性別については、札幌市在住者では男性が301人（58.4%）、女性が214人（41.6%）、東京圏在住者では男性が333人（64.7%）、女性が182人（35.3%）であった。

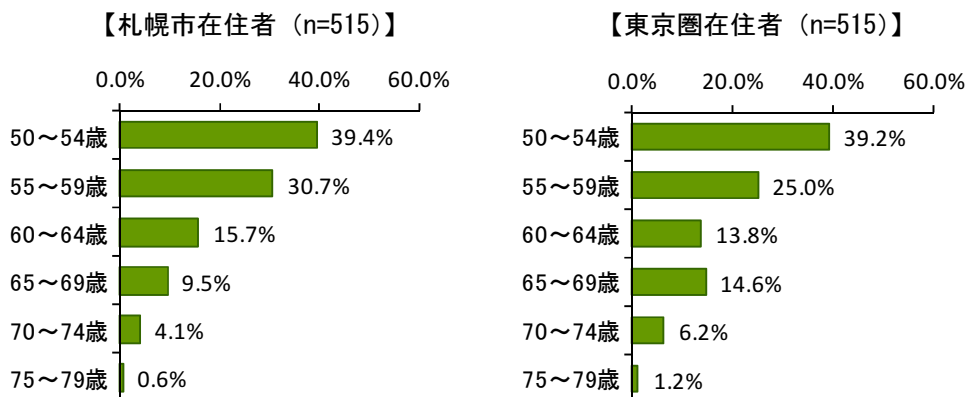
図表Ⅲ-1-1 性別



(2) 年齢

年齢については、札幌市在住者、東京圏在住者ともに「50～54歳」の割合が最も高く、それぞれ39.4%、39.2%であった。

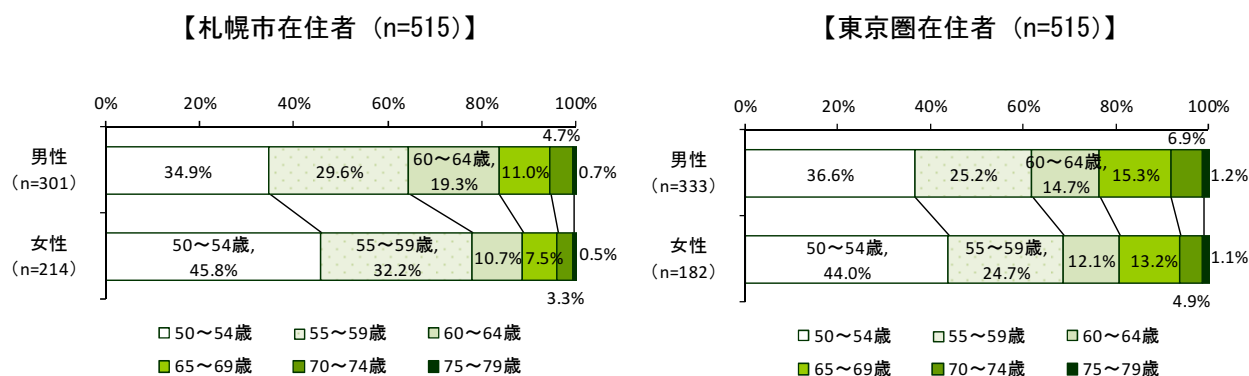
図表Ⅲ-1-2 年齢



男女別にみると、札幌市在住者では、女性は男性よりも 50 代の割合が高く、全体の 78.0% を占めている。男性は、女性と比べて 60 歳以上の割合が高く、全体の 35.7% を占めている。

一方、東京圏在住者では、女性は 50 代が全体の 68.7% を占めているが、札幌市在住者と比べるとやや低くなっている。また、男性は札幌市在住者と同様、60 歳以上の割合が女性よりも高く、38.1% となっている。

図表Ⅲ-1-3 年齢（男女別）

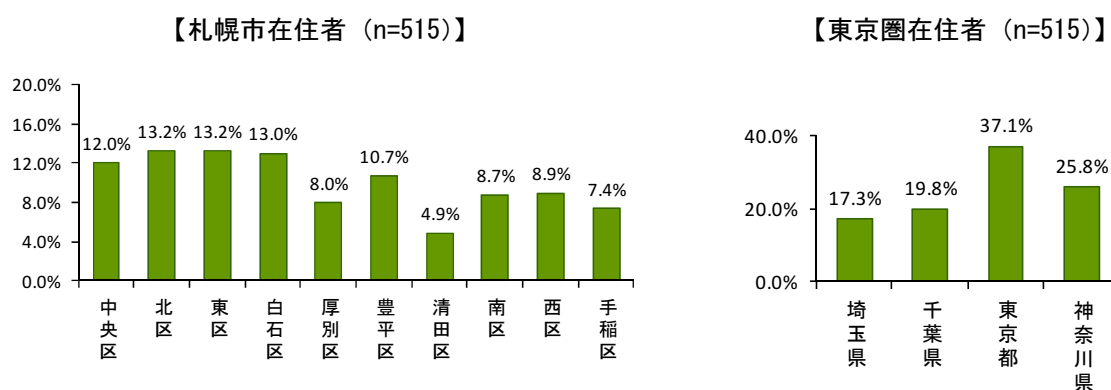


(3) 居住地域

現在の居住地域についてみると、札幌市在住者では、「北区」「東区」「白石区」の割合が高く、いずれも 13% を超えていた。

また、東京圏在住者では、「東京都」の割合が 37.1% と最も高く、次いで「神奈川県」が 25.8%、「千葉県」が 19.8%、「埼玉県」が 17.3% であった。

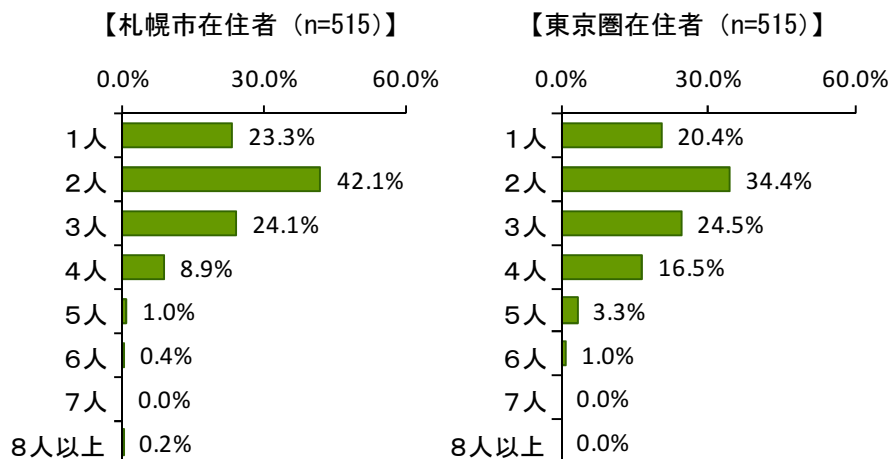
図表Ⅲ-1-4 居住地域



(4) 世帯人数

世帯人数については、札幌市在住者、東京圏在住者ともに「2人」の割合が最も高く、それぞれ42.1%、34.4%であった。平均世帯人数は、札幌市在住者では2.2人、東京圏在住者では2.5人であった。

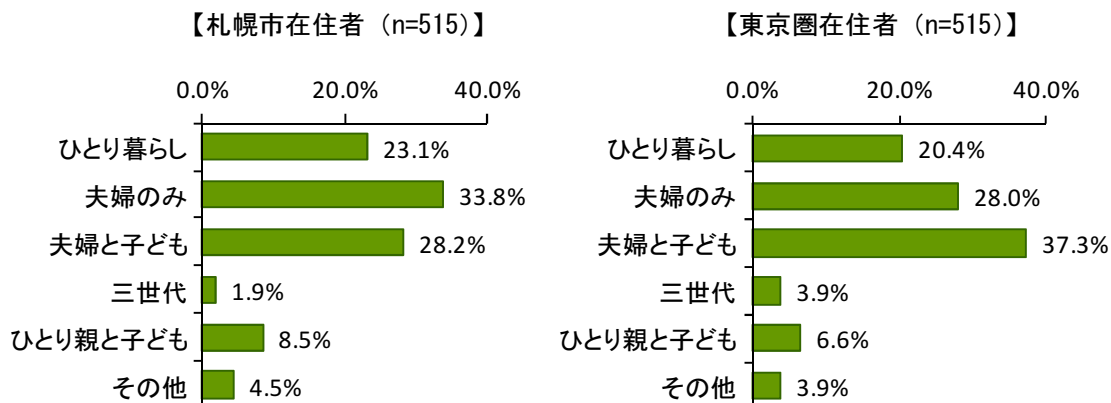
図表Ⅲ-1-5 世帯人数



(5) 世帯構成

世帯構成については、札幌市在住者では、「夫婦のみ」の割合が最も高く33.8%、次いで「夫婦と子ども」が28.2%、「ひとり暮らし」が23.1%であった。一方、東京圏在住者では、「夫婦と子ども」が37.3%と最も高く、次いで「夫婦のみ」が28.0%、「ひとり暮らし」が20.4%であった。

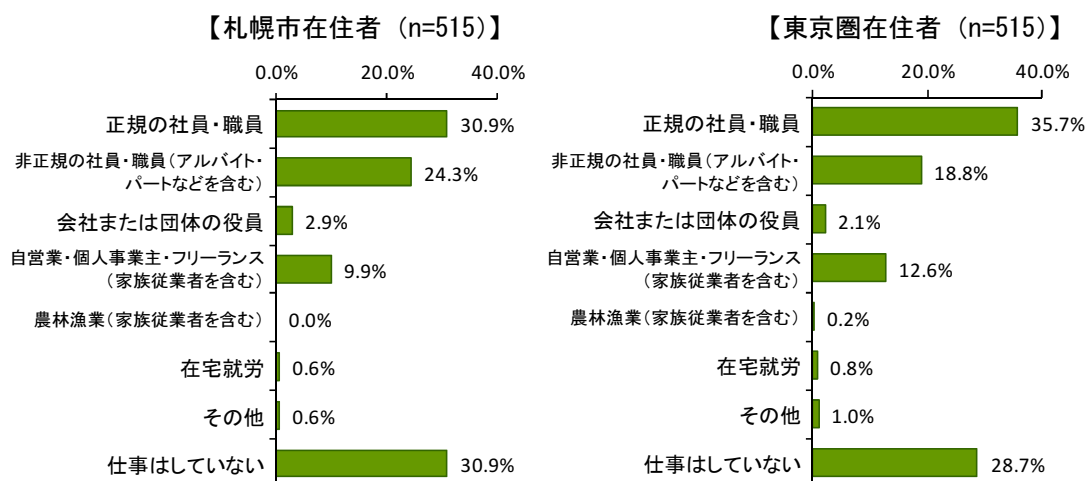
図表Ⅲ-1-6 世帯構成



(6) 就労状況

就労状況については、札幌市在住者では、「正規の社員・職員」、「仕事はしていない」の割合がともに30.9%、「非正規の社員・職員（アルバイト・パートなどを含む）」が24.3%であった。東京圏在住者では、「正規の社員・職員」の割合が35.7%と最も高く、次いで「仕事はしていない」が28.7%、「非正規の社員・職員（アルバイト・パートなどを含む）」が18.8%であった。

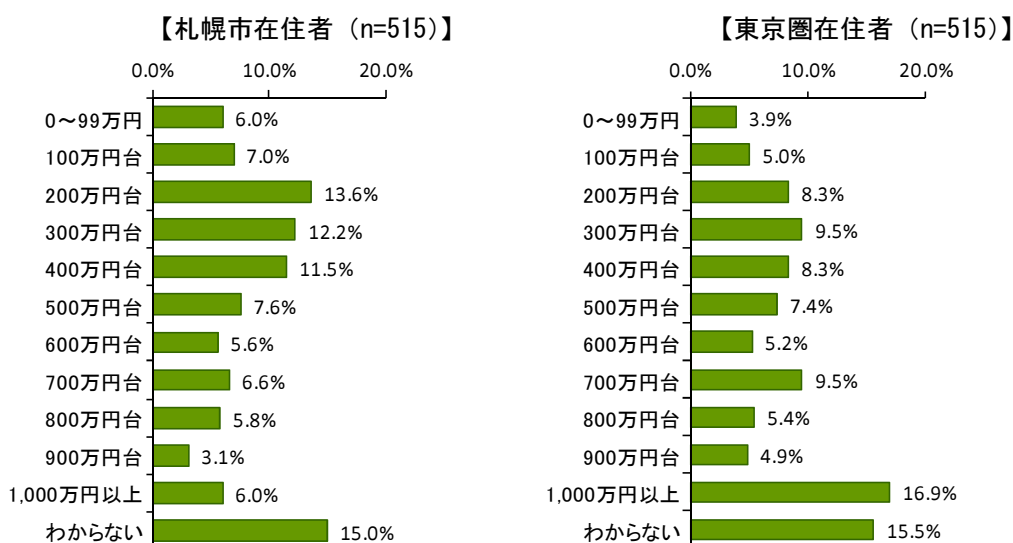
図表Ⅲ-1-7 就労状況



(7) 平成27年の世帯年収

平成27年の世帯年収（年金等を含む）については、札幌市在住者では「わからない」の割合が15.0%と最も高く、次いで「200万円台」が13.6%、「300万円台」が12.2%であった。東京圏在住者では「1,000万円以上」が16.9%と最も高く、次いで「わからない」が15.5%、「300万円台」「700万円台」がともに9.5%であった。

図表Ⅲ-1-8 平成27年の世帯年収



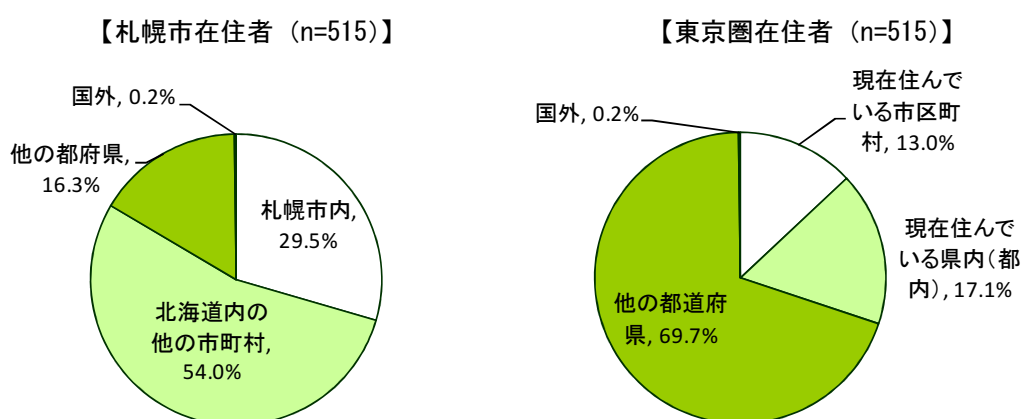
(8) 出身地

出身地については、札幌市在住者では「北海道内の他の市町村」の割合が54.0%と最も高く、次いで「札幌市内」が29.5%であった。東京圏在住者では、「他の都道府県」が69.7%と最も高く、次いで「現在住んでいる県内(都内)」が17.1%であった。

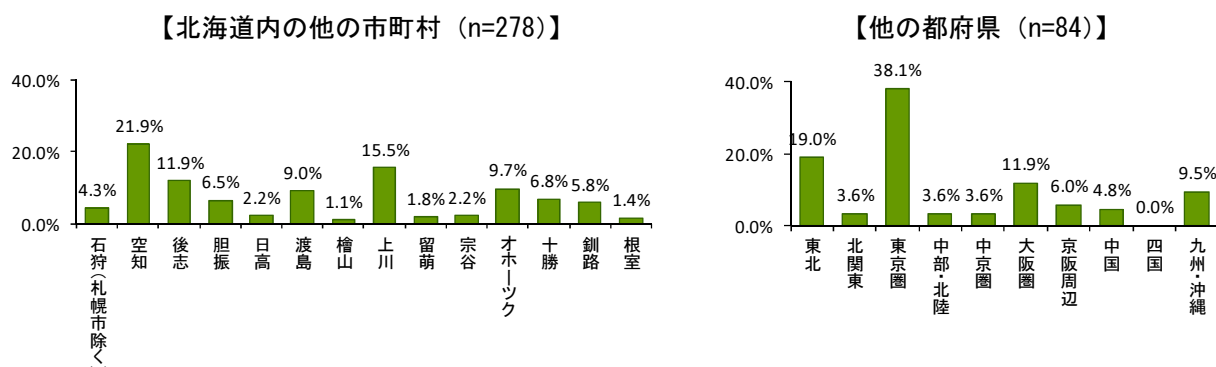
札幌市在住者のうち、「北海道内の他の市町村」と回答した278人の出身地は、「空知」の割合が最も高く21.9%、「上川」が15.5%であった。また、「他の都道府県」と回答した84人についてみると、「東京圏」が38.1%と最も高く、次いで「東北」が19.0%であった。

東京圏在住者のうち、「他の道府県」と回答した359人の出身地は、「東京圏」が34.8%と3割以上を占めていた。

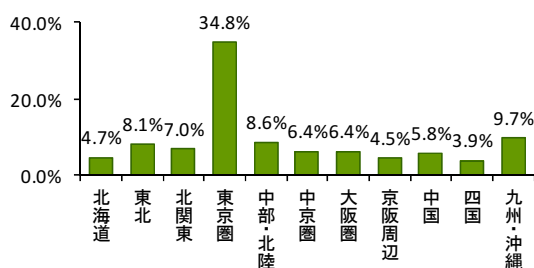
図表Ⅲ-1-9 出身地



図表Ⅲ-1-10 札幌市在住者の出身地



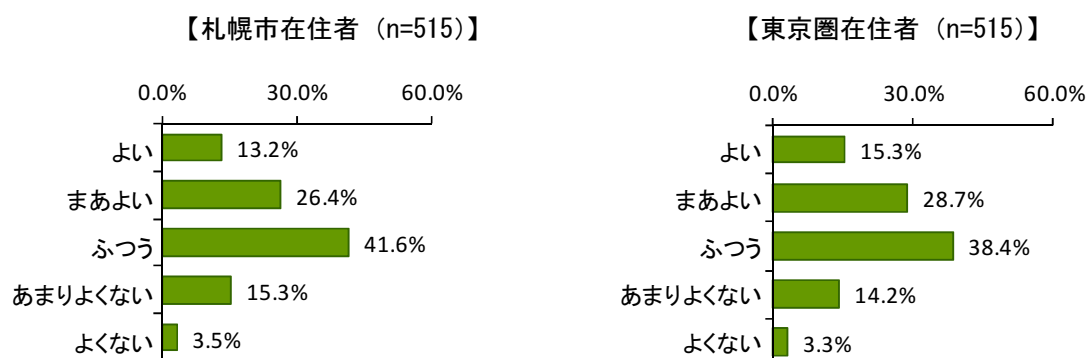
図表Ⅲ-1-11 東京圏在住者の他の道府県の出身地 (n=359)



(9) 健康状態

健康状態については、札幌市在住者、東京圏在住者ともに「ふつう」の割合が最も高く、それぞれ41.6%、38.4%、次いで「まあよい」がそれぞれ26.4%、28.7%であった。

図表Ⅲ-1-12 健康状態

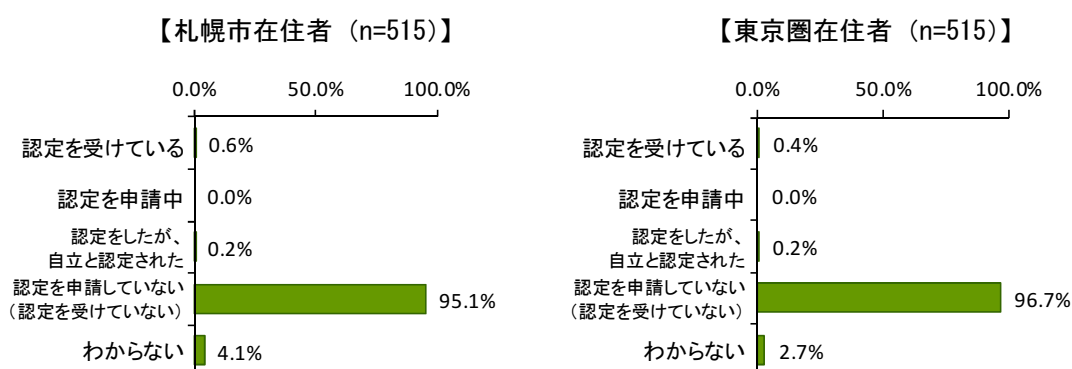


(10) 要介護認定

要介護認定の状況については、札幌市在住者、東京圏在住者ともに「認定を申請していない（認定を受けていない）」の割合が9割を超えており、それぞれ95.1%、96.7%であった。

「認定を受けている」と回答した人は、札幌市在住者は3人（0.6%）で、要介護度は「要支援1」が2人、「要介護1」が1人であった。東京圏在住者では2人（0.4%）が認定を受けており、要介護度は「要介護1」が2人であった。

図表Ⅲ-1-13 要介護認定



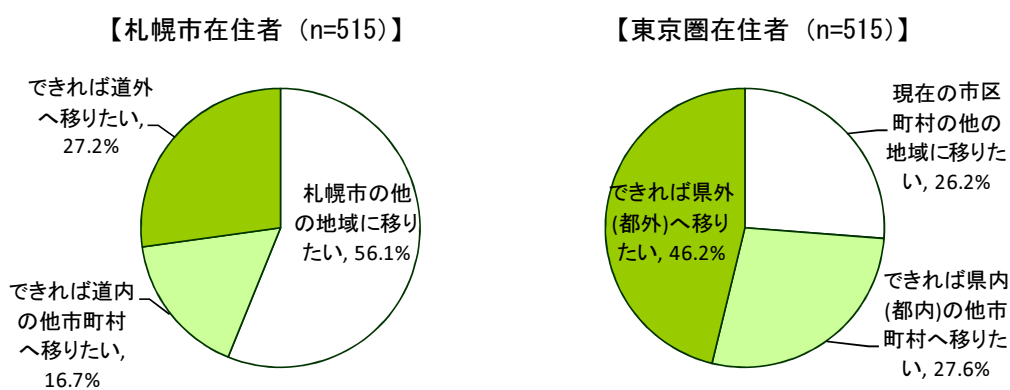
2. 移住について

(1) 今後の移住意向

今後移住をした場合の移住先について聞いたところ、札幌市在住者では、「札幌市の他の地域に移りたい」が56.1%、「できれば道外へ移りたい」が27.2%、「できれば道内の他市町村へ移りたい」が16.7%であった。

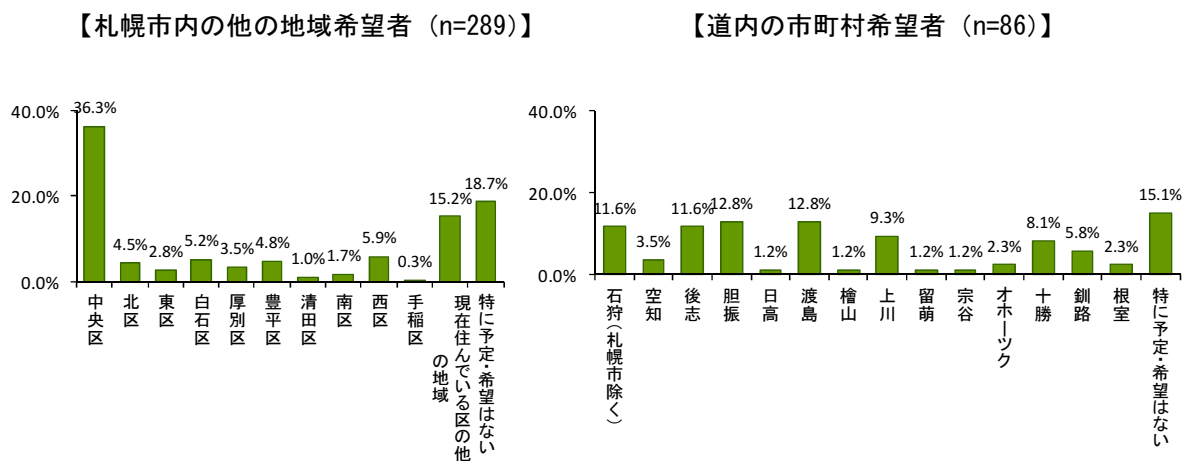
一方、東京圏在住の回答者では、「できれば県外（都外）へ移りたい」が46.2%、「できれば県内（都内）の他市町村へ移りたい」が27.6%、「現在の市区町村の他の地域に移りたい」が26.2%、であった。

図表Ⅲ-2-1 今後の移住意向



札幌市在住者のうち、「札幌市内の他の地域に移りたい」と回答した289人の希望地域は、「中央区」の割合が最も高く36.3%であった。また、「できれば道内の他市町村へ移りたい」と回答した86人の希望地域は、「特に予定・希望はない」15.1%、「胆振」「渡島」が12.8%、「石狩（札幌市を除く）」「後志」が11.6%であった。

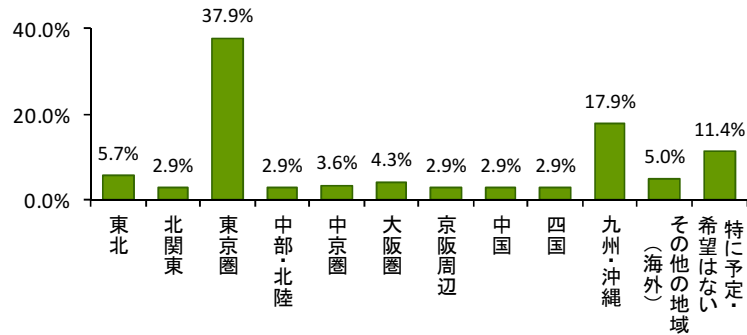
図表Ⅲ-2-2 札幌市在住者の今後の移住希望地域



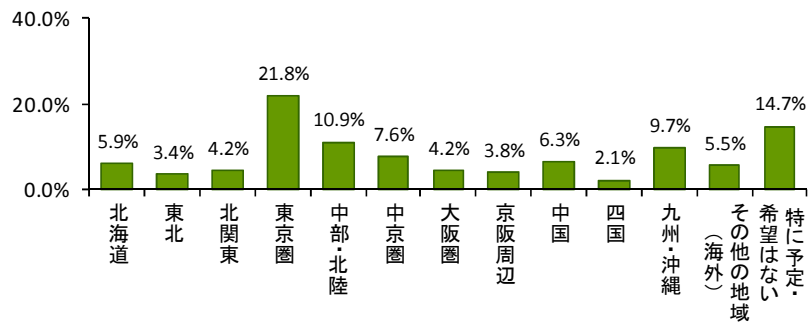
さらに、「できれば道外へ移りたい」と回答した 140 人の希望都府県は、「東京圏」が 37.9%、「九州・沖縄」が 17.9%であった。

一方、東京圏在住者のうち、「できれば県外（都外）へ移りたい」と回答した 238 人の希望都府県は、「東京圏」が 21.8%、「特に予定・希望はない」が 14.7%、「中部・北陸」が 10.9%、「九州・沖縄」が 9.7%であった。

図表Ⅲ-2-3 札幌市在住者の今後の移住希望地域【道外希望者（n=140）】



図表Ⅲ-2-4 東京圏在住者の今後の移住希望地域【県外（都外）希望者（n=238）】



今後の移住意向を出身地別にみると、札幌市在住者では、「札幌市内」「北海道内の他の市町村」出身者は「札幌市内の他の地域に移りたい」の割合が最も高く、いずれも6割程度となっているが、「他の都府県」出身者では「できれば道外へ移りたい」の割合が5割となっていた。

一方、東京圏在住者では、「現在住んでいる市区町村」「現在住んでいる県内（都内）」出身者でも「できれば県外（都外）へ移りたい」との回答が約4割を占めており、「他の都道府県」出身者では約5割が「できれば県外（都外）へ移りたい」と回答していた。

図表Ⅲ-2-5 今後の移住意向

【札幌市在住者（n=515）】

		移住意向			合計
		札幌市の他の地域に移りたい	できれば道内の他市町村へ移りたい	できれば道外へ移りたい	
出身地	札幌市内	89 58.6%	20 13.2%	43 28.3%	152 100.0%
	北海道内の他の市町村	169 60.8%	55 19.8%	54 19.4%	278 100.0%
	他の都府県	31 36.9%	11 13.1%	42 50.0%	84 100.0%
	国外	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%
合計		289 56.1%	86 16.7%	140 27.2%	515 100.0%

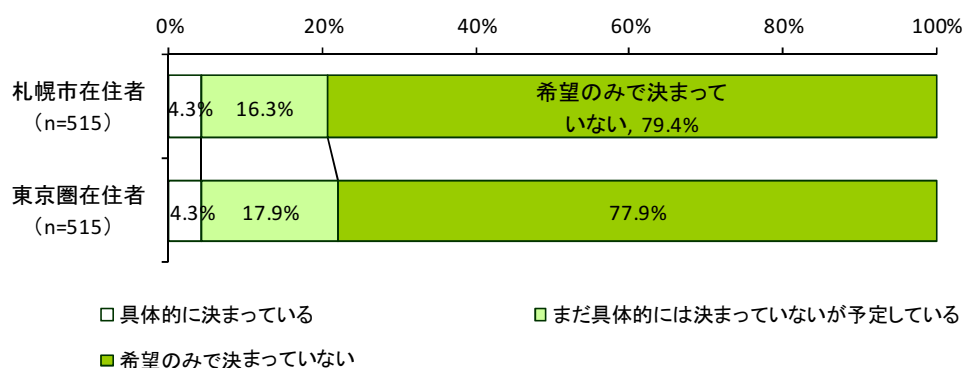
【東京圏在住者（n=515）】

		移住意向			合計
		現在の市区町村の他の地域に移りたい	できれば県内・都内の他市町村へ移りたい	できれば県外（都外）へ移りたい	
出身地	現在住んでいる市区町村	30 44.8%	11 16.4%	26 38.8%	67 100.0%
	現在住んでいる県内（都内）	30 34.1%	24 27.3%	34 38.6%	88 100.0%
	他の都道府県	74 20.6%	107 29.8%	178 49.6%	359 100.0%
	国外	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
合計		135 26.2%	142 27.6%	238 46.2%	515 100.0%

(2) 移住の予定

移住することがすでに決まっているかを聞いたところ、札幌市在住者、東京圏在住者ともに「希望のみで決まっていない」の割合が約8割を占め、「具体的に決まっている」の割合は札幌市在住者、東京圏在住者のいずれも4.3%であった。

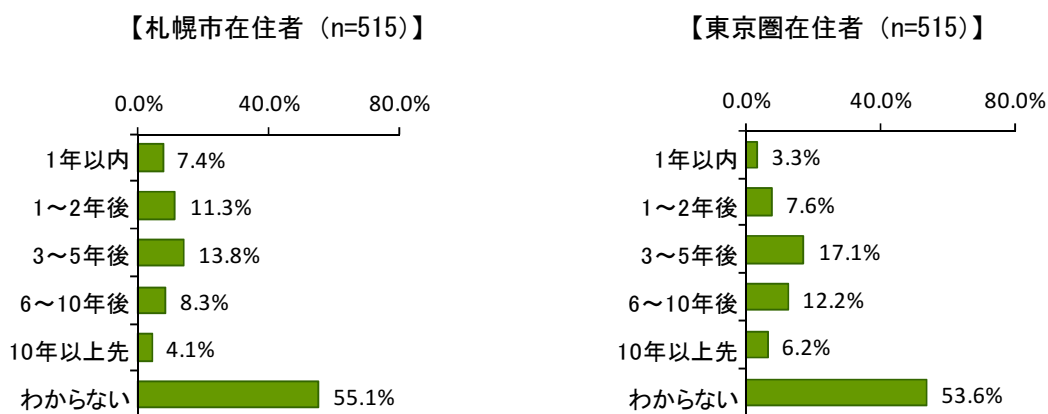
図表Ⅲ-2-6 移住の予定



(3) 移住の時期

移住の時期はいつ頃を予定または希望しているかについて聞いたところ、札幌市在住者、東京圏在住者ともに「わからない」の割合が5割を超えていた。札幌市在住者では「3～5年後」が13.8%、「1～2年後」が11.3%と1割を超えており、東京圏在住者では、「3～5年後」が17.1%、「6～10年後」が12.2%と1割を超えていた。

図表Ⅲ-2-7 移住の時期

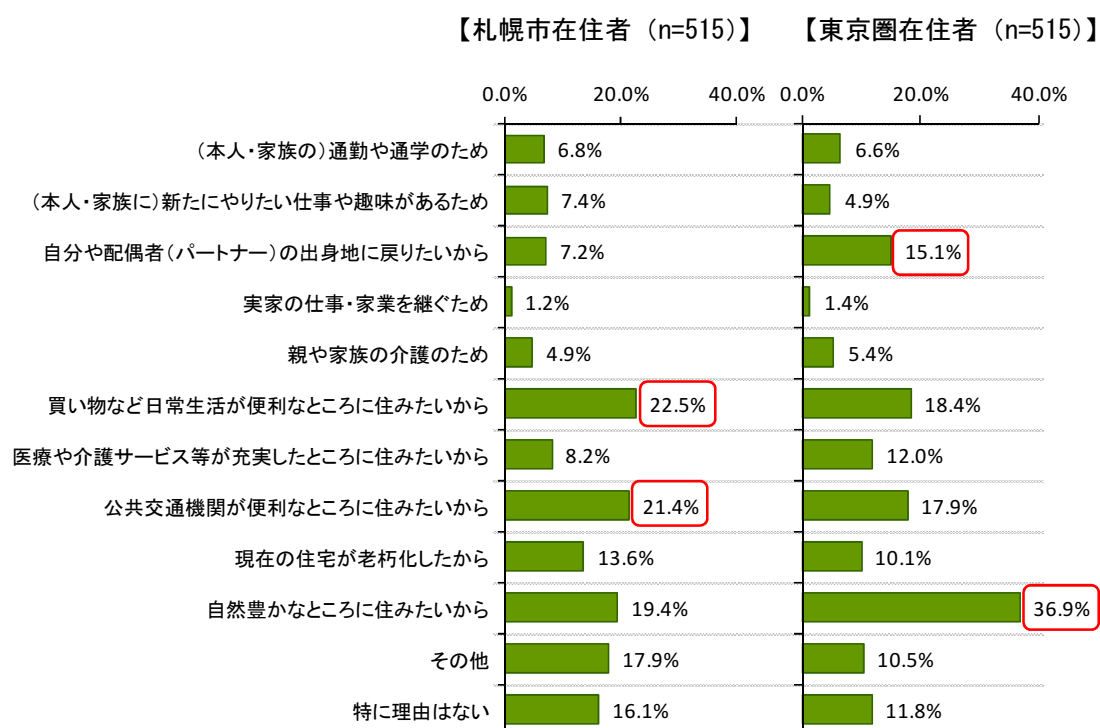


(4) 移住をしたい理由

移住をしたい理由について聞いたところ、札幌市在住者では、「買い物など日常生活が便利なところに住みたいから」の割合が22.5%と最も高く、次いで「公共交通機関が便利なところに住みたいから」が21.4%となっており、「便利さ」を求める割合が高くなっていた。

一方、東京圏在住者では、「自然豊かなところに住みたいから」の割合が36.9%と最も高く、「自然環境」を求める割合が高くなっているほか、「自分や配偶者（パートナー）の出身地に戻りたいから」が15.1%となっており、札幌市在住者と比べて高い割合となっていた。

図表Ⅲ-2-8 移住をしたい理由（複数回答）



移住をしたい理由について今後の移住意向別にみると、札幌市在住者では、「札幌市の他の地域に移りたい」人は、買い物や交通機関などが便利なところに住みたいからという理由の割合が高く、「できれば道内の他市町村に移りたい」人は、「自然豊かなところに住みたいから」という理由の割合が高く、5割を超えていた。

一方、東京圏在住者では、「できれば県外（都外）へ移りたい」人は、「自然豊かなところに住みたいから」との回答が5割を超えていたほか、「自分や配偶者（パートナー）の出身地に戻りたいから」との回答が22.3%となっており、他の移住意向と比べて高い割合であった。

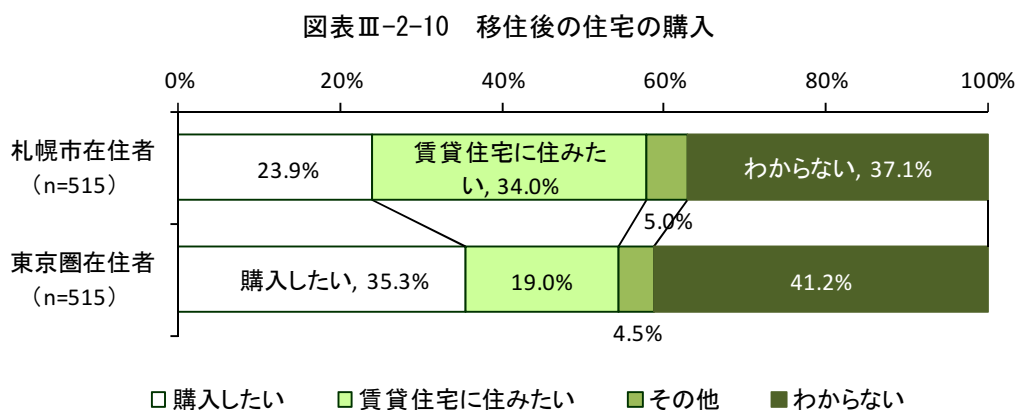
図表Ⅲ-2-9 移住をしたい理由（移住意向別、複数回答）

(複数回答)

		(本人・家族の通勤や通学のため)	(本人・家族に新たにやりたい仕事や趣味があるため)	自分や配偶者(パートナー)の出身地に戻りたいから	実家の仕事・家業を継ぐため	親や家族の介護のため	買い物など日常生活が便利にしたいから	医療や介護サービス等が充実したところに住みたいから	公共交通機関が便利にしたいから	現在の住宅が老朽化したから	自然豊かなところに住みたいから	その他	特に理由はない	全体	
移住意向	札幌市在住者	札幌市の他の地域に移りたい	29 10.0%	14 4.8%	6 2.1%	3 1.0%	10 3.5%	97 33.6%	33 11.4%	99 34.3%	59 20.4%	31 10.7%	31 10.7%	48 16.6%	289
		できれば道内の他市町村に移りたい	2 2.3%	10 11.6%	14 16.3%	3 3.5%	13 15.1%	6 7.0%	5 5.8%	3 3.5%	7 8.1%	46 53.5%	9 10.5%	8 9.3%	86
		できれば道外へ移りたい	4 2.9%	14 10.0%	17 12.1%	0 0.0%	2 1.4%	13 9.3%	4 2.9%	8 5.7%	4 2.9%	23 16.4%	52 37.1%	27 19.3%	140
		合計	35 6.8%	38 7.4%	37 7.2%	6 1.2%	25 4.9%	116 22.5%	42 8.2%	110 21.4%	70 13.6%	100 19.4%	92 17.9%	83 16.1%	515
移住意向	東京圏在住者	現在の市区町村の他の地域に移りたい	14 10.4%	5 3.7%	8 5.9%	3 2.2%	6 4.4%	32 23.7%	14 10.4%	26 19.3%	21 15.6%	35 25.9%	16 11.9%	20 14.8%	135
		できれば県内(都内)の他市町村に移りたい	11 7.7%	5 3.5%	17 12.0%	0 0.0%	8 5.6%	45 31.7%	25 17.6%	45 31.7%	20 14.1%	34 23.9%	16 11.3%	16 11.3%	142
		できれば県外(都外)へ移りたい	9 3.8%	15 6.3%	53 22.3%	4 1.7%	14 5.9%	18 7.6%	23 9.7%	21 8.8%	11 4.6%	121 50.8%	22 9.2%	25 10.5%	238
		合計	34 6.6%	25 4.9%	78 15.1%	7 1.4%	28 5.4%	95 18.4%	62 12.0%	92 17.9%	52 10.1%	190 36.9%	54 10.5%	61 11.8%	515

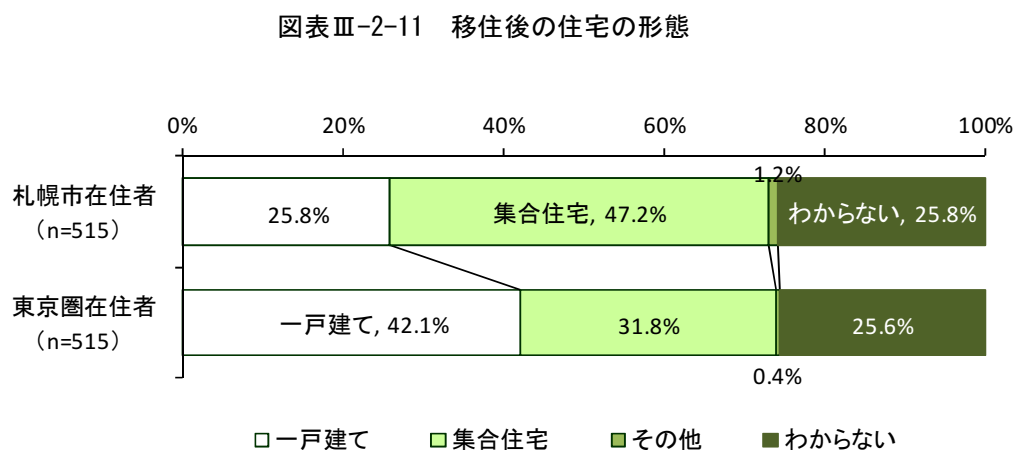
(5) 移住後の住宅の購入

移住後の住宅の購入について聞いたところ、札幌市在住者では、「賃貸住宅に住みたい」の割合が34.0%となっており、「購入したい」の23.9%よりも10.1ポイント高くなっていたが、東京圏在住者では、「購入したい」の割合が35.3%で、「賃貸住宅に住みたい」の19.0%よりも16.3ポイント高くなっていた。



(6) 移住後の住宅の形態

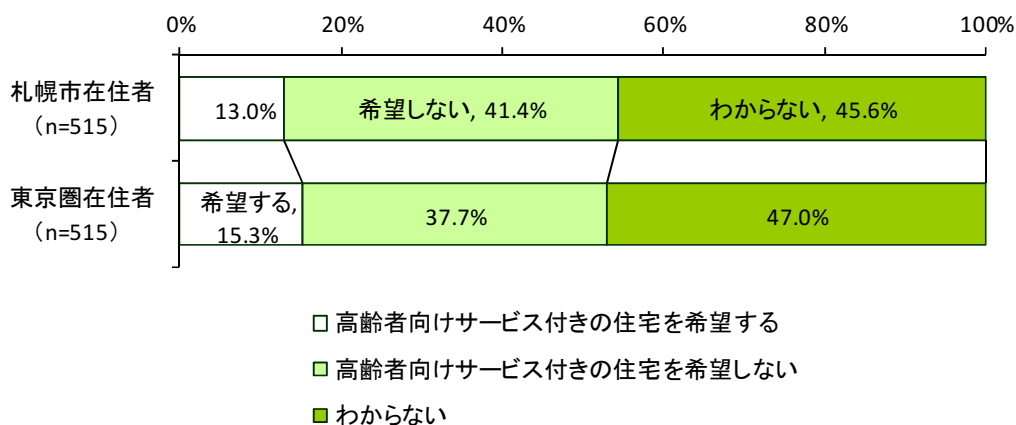
移住後の住宅の形態を聞いたところ、札幌市在住者では「集合住宅」の割合が47.2%となっており、「一戸建て」の25.8%よりも21.4ポイント高くなっていたが、東京圏在住者では、「一戸建て」の割合が42.1%で、「集合住宅」の31.8%よりも10.3ポイント高くなっていた。



(7) 移住後の高齢者向けサービス付き住宅の希望

移住後に高齢者向けのサービス付きの住宅を希望するかを聞いたところ、札幌市在住者では「希望しない」の割合が41.4%、「希望する」の割合が13.0%であった。東京圏在住者では、「希望しない」の割合が37.7%、「希望する」の割合が15.3%であった。

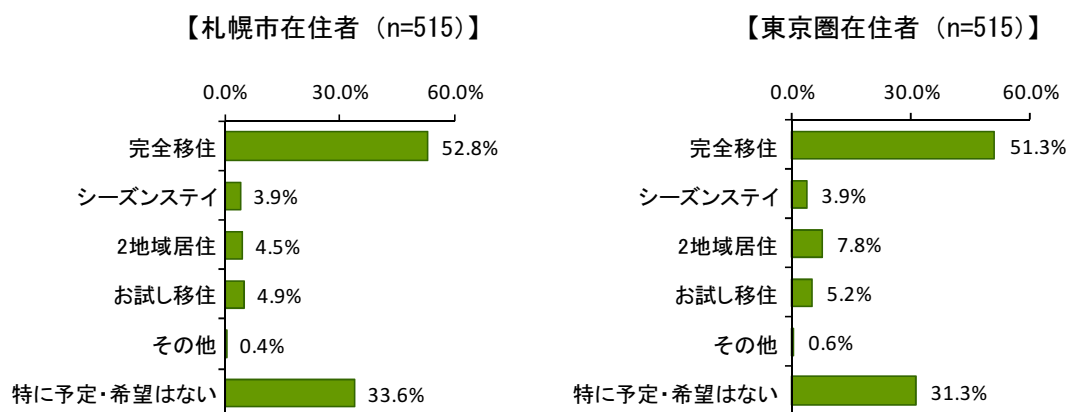
図表Ⅲ-2-12 移住後の高齢者向けサービス付き住宅の希望



(8) 移住の形態

移住の形態はどのようなものを予定または希望しているかについて聞いたところ、札幌市在住者、東京圏在住者ともに「完全移住」の割合が5割を超え、それぞれ52.8%、51.3%であった。

図表Ⅲ-2-13 移住の形態



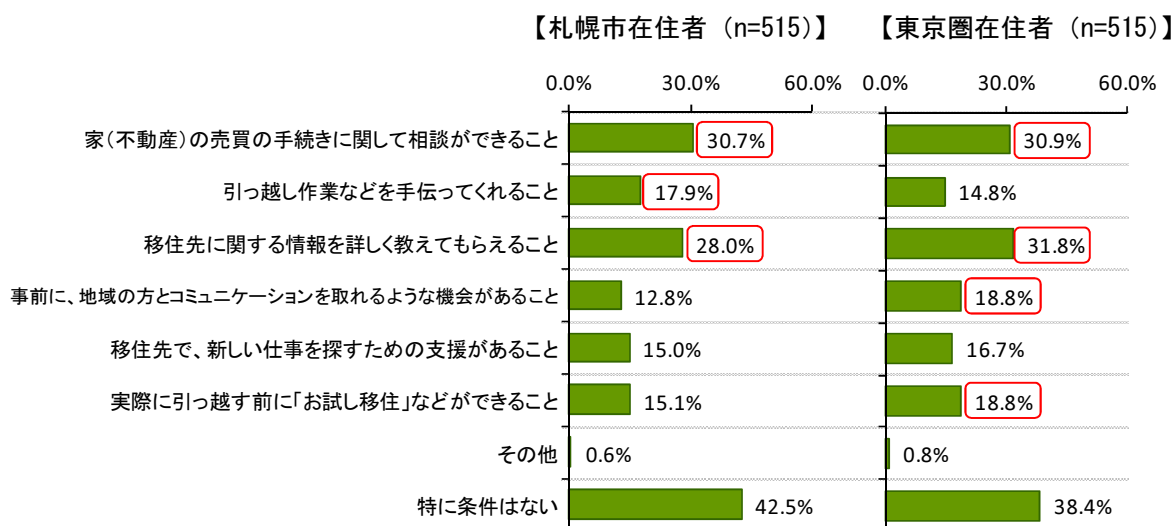
(9) 移住のために必要な支援

移住のために必要な支援を聞いたところ、札幌市在住者、東京圏在住者ともに「特に条件はない」の割合が最も高く、それぞれ42.5%、38.4%であった。

札幌市在住者では「家（不動産）の売買の手続きに関して相談ができること」が30.7%、「移住先に関する情報を詳しく教えてもらえること」が28.0%、「引っ越し作業などを手伝ってくれること」が17.9%であった。

一方、東京圏在住者では、「移住先に関する情報を詳しく教えてもらえること」31.8%、「家（不動産）の売買の手続きに関して相談ができること」が30.9%、「事前に、地域の方とコミュニケーションを取れるような機会があること」「実際に引っ越す前に「お試し移住」などができること」がともに18.8%であった。

図表Ⅲ-2-14 移住のために必要な支援（複数回答）



移住のために必要な支援について今後の移住意向別にみると、札幌市在住者では、「できれば道内の他市町村に移りたい」人は、「移住先で、新しい仕事を探すための支援があること」の割合が他と比べても高く 30.2%であった。また、「実際に引っ越す前に「お試し移住」などができること」も 20.9%となっており、「できれば道外へ移りたい」人の 20.7%とともに 2 割を超えていた。

一方、東京圏在住者では、「できれば県外（都外）へ移りたい」人は、「移住先で、新しい仕事を探すための支援があること」「事前に、地域の方とコミュニケーションを取れるような機会があること」の割合が他と比べてやや高く、それぞれ 22.3%、22.7%であった。

図表Ⅲ-2-15 移住のために必要な支援（移住意向別、複数回答）

		家(不動産)の売買の手続きに関して相談ができること	引っ越し作業などを手伝ってくれること	移住先に関する情報を詳しく教えてもらえること	事前に、地域の方とコミュニケーションを取れるような機会があること	移住先で、新しい仕事を探すための支援があること	実際に引っ越す前に「お試し移住」などができること	その他	特に条件はない	全体	
移住意向	札幌市在住者	札幌市の他の地域に移りたい	91 31.5%	57 19.7%	83 28.7%	26 9.0%	24 8.3%	31 10.7%	0 0.0%	134 46.4%	289
		できれば道内の他市町村に移りたい	27 31.4%	18 20.9%	28 32.6%	19 22.1%	26 30.2%	18 20.9%	1 1.2%	29 33.7%	86
		できれば道外へ移りたい	40 28.6%	17 12.1%	33 23.6%	21 15.0%	27 19.3%	29 20.7%	2 1.4%	56 40.0%	140
		合計	158 30.7%	92 17.9%	144 28.0%	66 12.8%	77 15.0%	78 15.1%	3 0.6%	219 42.5%	515
	東京圏在住者	現在の市区町村の他の地域に移りたい	44 32.6%	25 18.5%	41 30.4%	23 17.0%	18 13.3%	27 20.0%	2 1.5%	53 39.3%	135
		できれば県内(都内)の他市町村に移りたい	47 33.1%	24 16.9%	46 32.4%	21 14.8%	14 9.9%	24 16.9%	0 0.0%	58 40.8%	142
		できれば県外(都外)へ移りたい	68 28.6%	27 11.3%	77 32.4%	53 22.3%	54 22.7%	46 19.3%	2 0.8%	87 36.6%	238
		合計	159 30.9%	76 14.8%	164 31.8%	97 18.8%	86 16.7%	97 18.8%	4 0.8%	198 38.4%	515

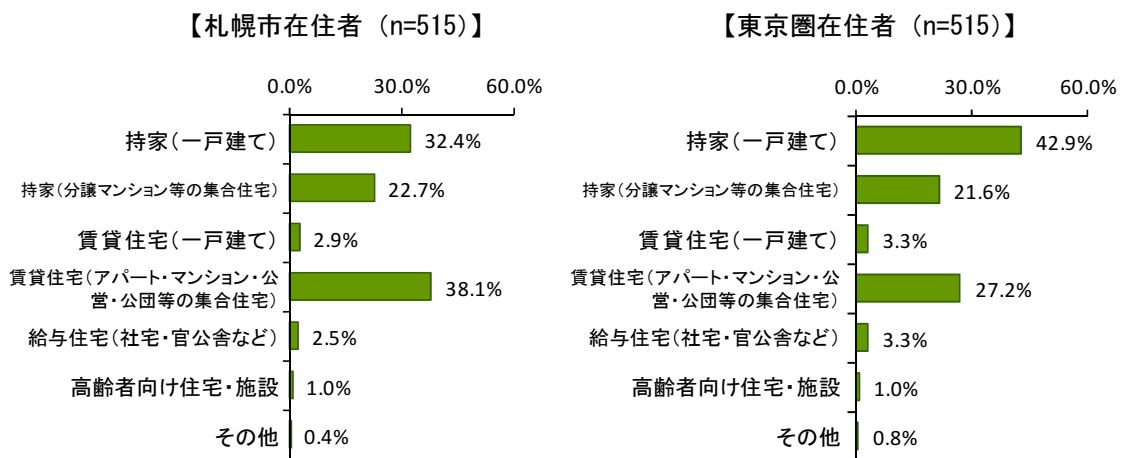
3. 住まいについて

(1) 現在の住宅

現在の住宅については、札幌市在住者では「賃貸住宅（アパート・マンション・公営・公団等の集合住宅）」の割合が38.1%と最も高く、次いで「持家（一戸建て）」が32.4%、「持家（分譲マンション等の集合住宅）」が22.7%であった。

一方、東京圏在住者では、「持家（一戸建て）」の割合が42.9%と最も高く、次いで「賃貸住宅（アパート・マンション・公営・公団等の集合住宅）」が27.2%、「持家（分譲マンション等の集合住宅）」が21.6%であった。

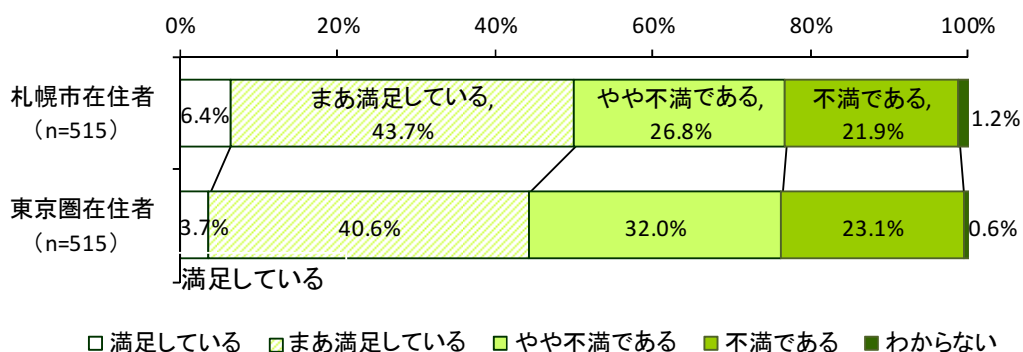
図表Ⅲ-3-1 現在の住宅



(2) 現在の住宅の満足度

現在の住宅の満足度については、札幌市在住者では「満足している」「まあ満足している」の合計が50.1%、「やや不満である」「不満である」の合計が48.7%であった。一方、東京圏在住者では、「やや不満である」「不満である」の合計が55.1%と5割を超えており、札幌市在住者よりも不満であると感じている割合がやや高かった。

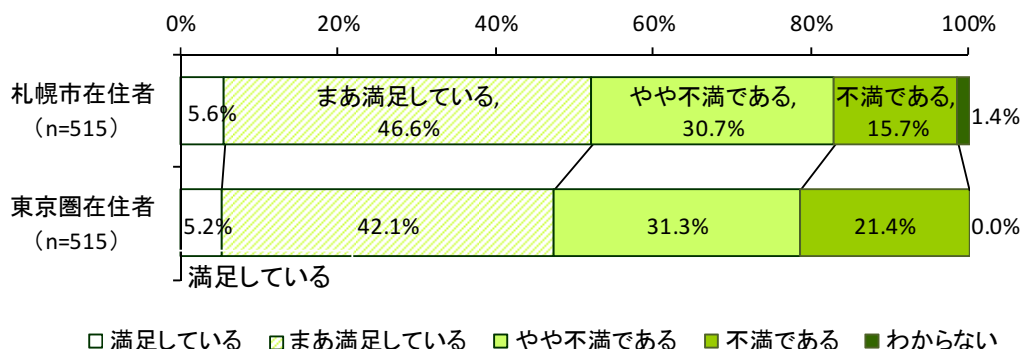
図表Ⅲ-3-2 現在の住宅の満足度



(3) 現在の居住地の満足度

現在の居住地の満足度については、札幌市在住者では「満足している」「まあ満足している」の合計が 52.2%、「やや不満である」「不満である」の合計が 47.3%であった。一方、東京圏在住者では、「やや不満である」「不満である」の合計が 52.7%と 5 割を超えており、札幌市在住者よりも不満であると感じている割合がやや高かった。

図表Ⅲ-3-3 現在の居住地の満足度

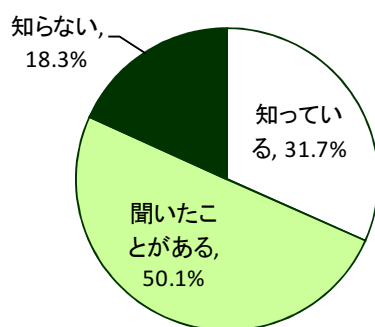


4. 江別市について

(1) 江別市の認知度

東京圏在住者に江別市の認知度を聞いたところ、「知っている」は 31.7%、「聞いたことがある」が 50.1%、「知らない」は 18.3%であった。

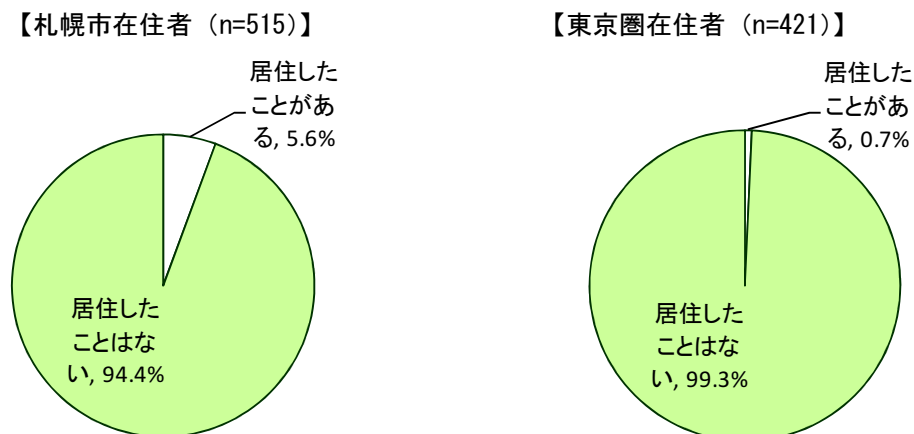
図表Ⅲ-4-1 江別市の認知度【東京圏在住者 (n=515)】



(2) 江別市での居住の有無

江別市での居住の有無について、札幌市在住者および、東京圏在住者のうち江別市を「知っている」「聞いたことがある」と回答した 421 人に聞いたところ、札幌市在住者では「居住したことがある」のは 5.6%、東京圏在住者では 0.7%であった。

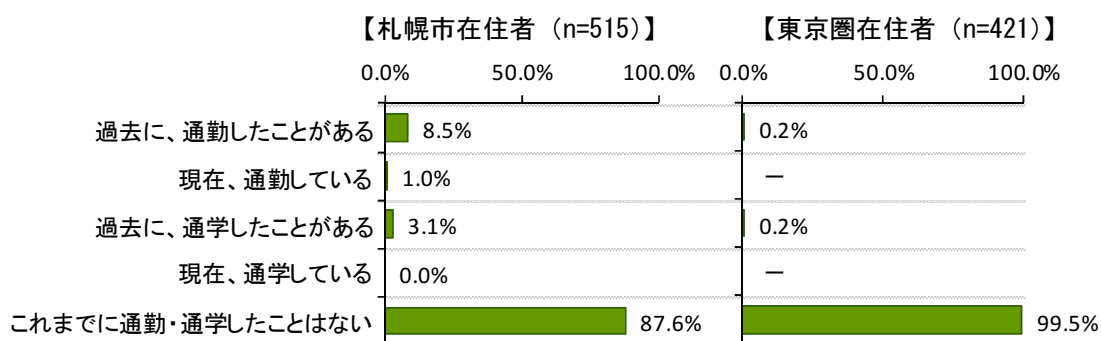
図表Ⅲ-4-2 江別市での居住の有無



(3) 江別市への通勤・通学の有無

江別市への通勤・通学の有無について、札幌市在住者および、東京圏在住者のうち江別市を「知っている」「聞いたことがある」と回答した 421 人に聞いたところ、札幌市在住者では、「過去に、通勤したことがある」が 8.5%、「過去に、通学したことがある」が 3.1%であった。東京圏在住者では、「過去に、通勤したことがある」「過去に、通学したことがある」がともに 0.2%であった。

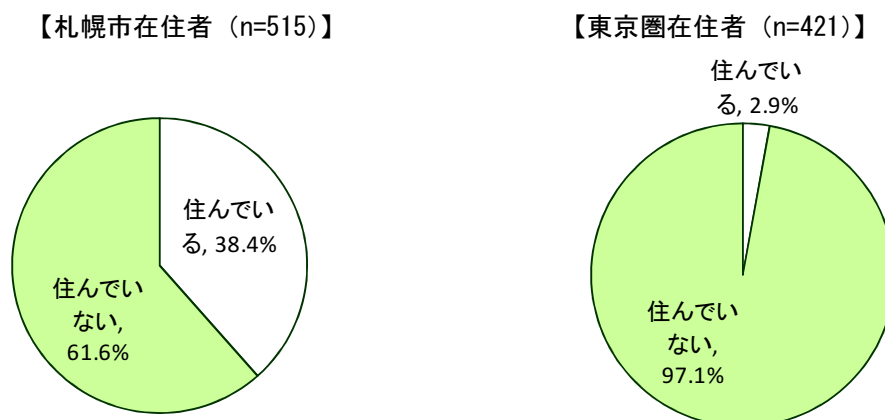
図表Ⅲ-4-3 江別市への通勤・通学の有無（複数回答）



(4) 江別市に居住している知人・友人の有無

江別市に居住している知人・友人の有無について、札幌市在住者および、東京圏在住者のうち江別市を「知っている」「聞いたことがある」と回答した 421 人に聞いたところ、札幌市在住者では、「住んでいる」が 38.4%、東京圏在住者では 2.9%であった。

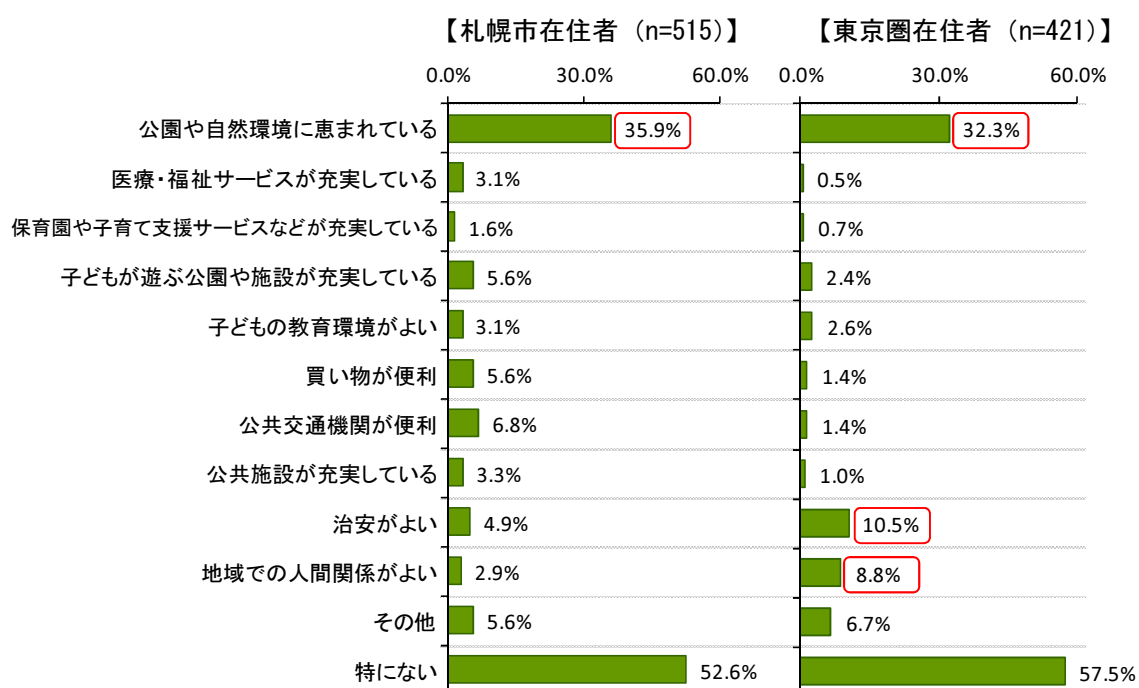
図表Ⅲ-4-4 江別市に居住している知人・友人の有無



(5) 江別市のイメージ

江別市のイメージについて、札幌市在住者および、東京圏在住者のうち江別市を「知っている」「聞いたことがある」と回答した 421 人に聞いたところ、札幌市在住者、東京圏在住者のいずれも「特にない」が 5 割を超えていたが、次いで「公園や自然環境に恵まれている」の割合が高く、それぞれ 35.9%、32.3%であった。また、東京圏在住者では、「治安がよい」の割合が 10.5%、「地域での人間関係がよい」が 8.8%と、札幌市在住者の回答と比べて高くなっていた。

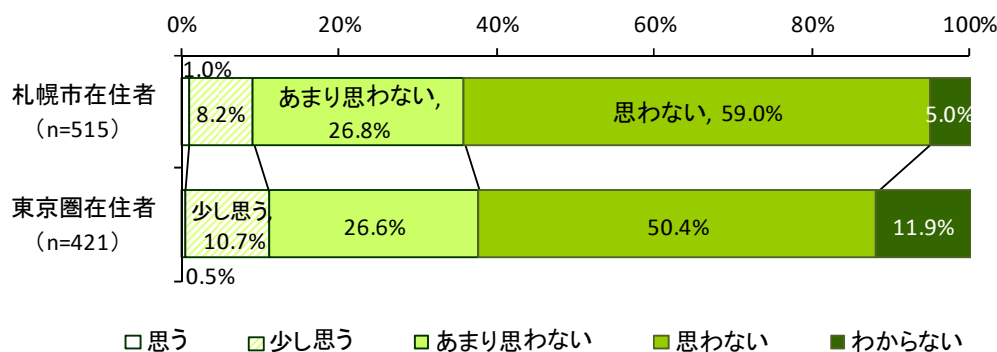
図表Ⅲ-4-5 江別市のイメージ (複数回答)



(6) 江別市への移住意向

江別市に移住してみたいと思うかについて、札幌市在住者および、東京圏在住者のうち江別市を「知っている」「聞いたことがある」と回答した 421 人に聞いたところ、札幌市在住者では、「思う」「少し思う」を合わせると 9.2%、東京圏在住者では「思う」「少し思う」を合わせると 11.2%であった。

図表Ⅲ-4-6 江別市への移住意向



江別市への移住意向で、「思う」「少し思う」と回答した人、「思わない」「あまり思わない」と回答した人の概要については、以下のとおりであった。

①江別市への移住意向別にみた性別

東京圏在住者のうち、江別市への移住意向で「思う」「少し思う」と回答した人の性別をみると、「思わない」「あまり思わない」と回答した 324 人と比べて、男性の割合が高く、78.7%であった。

図表Ⅲ-4-7 江別市への移住意向別にみた性別

	札幌市在住者			東京圏在住者		
	性別		合計	性別		合計
	男性	女性		男性	女性	
思う／少し思う	29 61.7%	18 38.3%	47 100.0%	37 78.7%	10 21.3%	47 100.0%
思う	4 80.0%	1 20.0%	5 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%
少し思う	25 59.5%	17 40.5%	42 100.0%	35 77.8%	10 22.2%	45 100.0%
思わない／あまり思わない	260 58.8%	182 41.2%	442 100.0%	208 64.2%	116 35.8%	324 100.0%
あまり思わない	86 62.3%	52 37.7%	138 100.0%	73 65.2%	39 34.8%	112 100.0%
思わない	174 57.2%	130 42.8%	304 100.0%	135 63.7%	77 36.3%	212 100.0%
わからない	12 46.2%	14 53.8%	26 100.0%	28 56.0%	22 44.0%	50 100.0%
合計	301 58.4%	214 41.6%	515 100.0%	273 64.8%	148 35.2%	421 100.0%

②江別市への移住意向別にみた年齢

札幌市在住者のうち、江別市への移住意向で「思う」「少し思う」と回答した人の年齢をみると、60歳以上の割合は34.0%となっており、「思わない」「あまり思わない」と回答した人の60歳以上の割合の28.3%よりも高くなっていた。一方、東京圏在住者については、「思う」「少し思う」と回答した人の60歳以上の割合は26.5%となっており、「思わない」「あまり思わない」と回答した人の60歳以上の割合の37.3%よりも低くなっていた。

図表Ⅲ-4-8 江別市への移住意向別にみた年齢

	札幌市在住者							東京圏在住者						
	年齢別						合計	年齢別						合計
	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳		50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	
思う／少し思う	17 36.2%	14 29.8%	8 17.0%	5 10.6%	2 4.3%	1 2.1%	47 100.0%	19 40.4%	16 34.0%	4 8.5%	6 12.8%	2 4.3%	0 0.0%	47 100.0%
思う	1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
少し思う	16 38.1%	13 31.0%	7 16.7%	3 7.1%	2 4.8%	1 2.4%	42 100.0%	18 40.0%	16 35.6%	3 6.7%	6 13.3%	2 4.4%	0 0.0%	45 100.0%
思わない／あまり思わない	179 40.5%	138 31.2%	68 15.4%	42 9.5%	15 3.4%	0 0.0%	442 100.0%	122 37.7%	81 25.0%	47 14.5%	48 14.8%	21 6.5%	5 1.5%	324 100.0%
あまり思わない	61 44.2%	38 27.5%	22 15.9%	11 8.0%	6 4.3%	0 0.0%	138 100.0%	41 36.6%	26 23.2%	16 14.3%	19 17.0%	8 7.1%	2 1.8%	112 100.0%
思わない	118 38.8%	100 32.9%	46 15.1%	31 10.2%	9 3.0%	0 0.0%	304 100.0%	81 38.2%	55 25.9%	31 14.6%	29 13.7%	13 6.1%	3 1.4%	212 100.0%
わからない	7 26.9%	6 23.1%	5 19.2%	2 7.7%	4 15.4%	2 7.7%	26 100.0%	21 42.0%	11 22.0%	10 20.0%	7 14.0%	1 2.0%	0 0.0%	50 100.0%
合計	203 39.4%	158 30.7%	81 15.7%	49 9.5%	21 4.1%	3 0.6%	515 100.0%	162 38.5%	108 25.7%	61 14.5%	61 14.5%	24 5.7%	5 1.2%	421 100.0%

③江別市への移住意向別にみた世帯構成

札幌市在住者のうち、江別市への移住意向で「思う」「少し思う」と回答した人の世帯構成をみると、「夫婦と子ども」世帯の割合が36.2%となっており、「思わない」「あまり思わない」と回答した人の「夫婦と子ども」世帯の割合の27.4%よりも高くなっていた。また、東京圏在住者についても、「思う」「少し思う」と回答した人の世帯構成は、「夫婦と子ども」世帯の割合が48.9%となっており、「思わない」「あまり思わない」と回答した人の「夫婦と子ども」世帯の割合の35.5%よりも高くなっていた。

図表Ⅲ-4-9 江別市への移住意向別にみた世帯構成

	札幌市在住者							東京圏在住者						
	世帯構成						合計	世帯構成						合計
	ひとり暮らし	夫婦のみ	夫婦と子ども	三世帯	ひとり親と子ども	その他		ひとり暮らし	夫婦のみ	夫婦と子ども	三世帯	ひとり親と子ども	その他	
思う／少し思う	8 17.0%	14 29.8%	17 36.2%	1 2.1%	5 10.6%	2 4.3%	47 100.0%	6 12.8%	14 29.8%	23 48.9%	2 4.3%	1 2.1%	1 2.1%	47 100.0%
思う	0 0.0%	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%	2 40.0%	1 20.0%	5 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
少し思う	8 19.0%	14 33.3%	15 35.7%	1 2.4%	3 7.1%	1 2.4%	42 100.0%	6 13.3%	13 28.9%	22 48.9%	2 4.4%	1 2.2%	1 2.2%	45 100.0%
思わない／あまり思わない	107 24.2%	153 34.6%	121 27.4%	8 1.8%	37 8.4%	16 3.6%	442 100.0%	68 21.0%	94 29.0%	115 35.5%	13 4.0%	22 6.8%	12 3.7%	324 100.0%
あまり思わない	28 20.3%	56 40.6%	37 26.8%	2 1.4%	11 8.0%	4 2.9%	138 100.0%	25 22.3%	32 28.6%	44 39.3%	4 3.6%	7 6.3%	0 0.0%	112 100.0%
思わない	79 26.0%	97 31.9%	84 27.6%	6 2.0%	26 8.6%	12 3.9%	304 100.0%	43 20.3%	62 29.2%	71 33.5%	9 4.2%	15 7.1%	12 5.7%	212 100.0%
わからない	4 15.4%	7 26.9%	7 26.9%	1 3.8%	2 7.7%	5 19.2%	26 100.0%	7 14.0%	12 24.0%	20 40.0%	2 4.0%	6 12.0%	3 6.0%	50 100.0%
合計	119 23.1%	174 33.8%	145 28.2%	10 1.9%	44 8.5%	23 4.5%	515 100.0%	81 19.2%	120 28.5%	158 37.5%	17 4.0%	29 6.9%	16 3.8%	421 100.0%

④江別市への移住意向別にみた年収

札幌市在住者のうち、江別市への移住意向で「思う」「少し思う」と回答した人の平成 27 年の年収をみると、600 万円以上の割合が 34.1%となっており、「思わない」「あまり思わない」と回答した人の 600 万円以上の割合の 27.1%よりも高くなっていた。また、東京圏在住者についても、「思う」「少し思う」と回答した人の平成 27 年の年収は、600 万円以上の割合が 63.8%となっており、「思わない」「あまり思わない」と回答した人の 600 万円以上の割合の 40.7%よりも高くなっていた。

図表Ⅲ-4-10 江別市への移住意向別にみた年収

	札幌市在住者						東京圏在住者					
	世帯年収(H27)					合計	世帯年収(H27)					合計
	0~200万円台	300~500万円台	600~800万円台	900万円以上	わからない		0~200万円台	300~500万円台	600~800万円台	900万円以上	わからない	
思う/少し思う	10 21.3%	16 34.0%	10 21.3%	6 12.8%	5 10.6%	47 100.0%	2 4.3%	12 25.5%	15 31.9%	15 31.9%	3 6.4%	47 100.0%
思う	0 0.0%	3 6.0%	1 2.0%	1 2.0%	0 0.0%	5 10.0%	0 0.0%	1 5.0%	1 5.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
少し思う	10 23.8%	13 31.0%	9 21.4%	5 11.9%	5 11.9%	42 100.0%	2 4.4%	11 24.4%	14 31.1%	15 33.3%	3 6.7%	45 100.0%
思わない/あまり思わない	121 27.4%	135 30.5%	80 18.1%	40 9.0%	66 14.9%	442 100.0%	56 17.3%	90 27.8%	57 17.6%	75 23.1%	46 14.2%	324 100.0%
あまり思わない	30 21.7%	56 40.6%	27 19.6%	7 5.1%	18 13.0%	138 100.0%	23 20.5%	28 25.0%	22 19.6%	26 23.2%	13 11.6%	112 100.0%
思わない	91 29.9%	79 26.0%	53 17.4%	33 10.9%	48 15.8%	304 100.0%	33 15.6%	62 29.2%	35 16.5%	49 23.1%	33 15.6%	212 100.0%
わからない	6 23.1%	10 38.5%	3 11.5%	1 3.8%	6 23.1%	26 100.0%	8 16.0%	8 16.0%	13 26.0%	9 18.0%	12 24.0%	50 100.0%
合計	137 26.6%	161 31.3%	93 18.1%	47 9.1%	77 15.0%	515 100.0%	66 15.7%	110 26.1%	85 20.2%	99 23.5%	61 14.5%	421 100.0%

⑤江別市への移住意向別にみた健康状態

札幌市在住者のうち、江別市への移住意向で「思う」「少し思う」と回答した人の健康状態をみると、「よい」「まあよい」の割合が5割を超えており、「思わない」「あまり思わない」と回答した人は約4割であった。また、東京圏在住者についても、江別市への移住意向で「思う」「少し思う」と回答した人の健康状態をみると、「よい」「まあよい」の63.8%と6割を超え、「あまりよくない」「よくない」の割合は1割未満であった。

図表Ⅲ-4-11 江別市への移住意向別にみた健康状態

	札幌市在住者						東京圏在住者					
	健康状態					合計	健康状態					合計
	よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない		よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	
思う／少し思う	12 25.5%	13 27.7%	15 31.9%	5 10.6%	2 4.3%	47 100.0%	9 19.1%	21 44.7%	13 27.7%	4 8.5%	0 0.0%	47 100.0%
思う	1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	2 40.0%	5 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
少し思う	11 26.2%	12 28.6%	14 33.3%	5 11.9%	0 0.0%	42 100.0%	9 20.0%	20 44.4%	12 26.7%	4 8.9%	0 0.0%	45 100.0%
思わない／あまり思わない	56 12.7%	116 26.2%	183 41.4%	72 16.3%	15 3.4%	442 100.0%	54 16.7%	87 26.9%	122 37.7%	51 15.7%	10 3.1%	324 100.0%
あまり思わない	14 10.1%	40 29.0%	62 44.9%	18 13.0%	4 2.9%	138 100.0%	20 17.9%	35 31.3%	38 33.9%	17 15.2%	2 1.8%	112 100.0%
思わない	42 13.8%	76 25.0%	121 39.8%	54 17.8%	11 3.6%	304 100.0%	34 16.0%	52 24.5%	84 39.6%	34 16.0%	8 3.8%	212 100.0%
わからない	0 0.0%	7 26.9%	16 61.5%	2 7.7%	1 3.8%	26 100.0%	7 14.0%	12 24.0%	24 48.0%	3 6.0%	4 8.0%	50 100.0%
合計	68 13.2%	136 26.4%	214 41.6%	79 15.3%	18 3.5%	515 100.0%	70 16.6%	120 28.5%	159 37.8%	58 13.8%	14 3.3%	421 100.0%

⑥江別市への移住意向別にみた出身地

札幌市在住者のうち、江別市への移住意向で「思う」「少し思う」と回答した人の出身地をみると、「他の都府県」の割合が23.4%となっており、「思わない」「あまり思わない」と回答した人の「他の都府県」の割合の14.5%よりも高くなっていた。一方、東京圏在住者については、「思う」「少し思う」と回答した人と「あまりよくない」「よくない」と回答した人の出身地の割合では、大きな違いは見られなかった。

図表Ⅲ-4-12 江別市への移住意向別にみた出身地

	札幌市在住者					東京圏在住者				
	出身地				合計	出身地				合計
	札幌市内	北海道内の他の市町村	他の都府県	国外		現在住んでいる市区町村	現在住んでいる県内(都内)	他の都道府県	国外	
思う／少し思う	8 17.0%	28 59.6%	11 23.4%	0 0.0%	47 100.0%	5 10.6%	9 19.1%	33 70.2%	0 0.0%	47 100.0%
思う	3 60.0%	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%	5 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	2 100.0%
少し思う	5 11.9%	28 66.7%	9 21.4%	0 0.0%	42 100.0%	4 8.9%	9 20.0%	32 71.1%	0 0.0%	45 100.0%
思わない／あまり思わない	138 31.2%	239 54.1%	64 14.5%	1 0.2%	442 100.0%	38 11.7%	58 17.9%	228 70.4%	0 0.0%	324 100.0%
あまり思わない	32 23.2%	81 58.7%	25 18.1%	0 0.0%	138 100.0%	16 14.3%	22 19.6%	74 66.1%	0 0.0%	112 100.0%
思わない	106 34.9%	158 52.0%	39 12.8%	1 0.3%	304 100.0%	22 10.4%	36 17.0%	154 72.6%	0 0.0%	212 100.0%
わからない	6 23.1%	11 42.3%	9 34.6%	0 0.0%	26 100.0%	6 12.0%	9 18.0%	35 70.0%	0 0.0%	50 100.0%
合計	152 29.5%	278 54.0%	84 16.3%	1 0.2%	515 100.0%	49 11.6%	76 18.1%	296 70.3%	0 0.0%	421 100.0%

5. 社会活動や趣味活動について

(1) 社会活動や趣味活動

①現在の参加状況

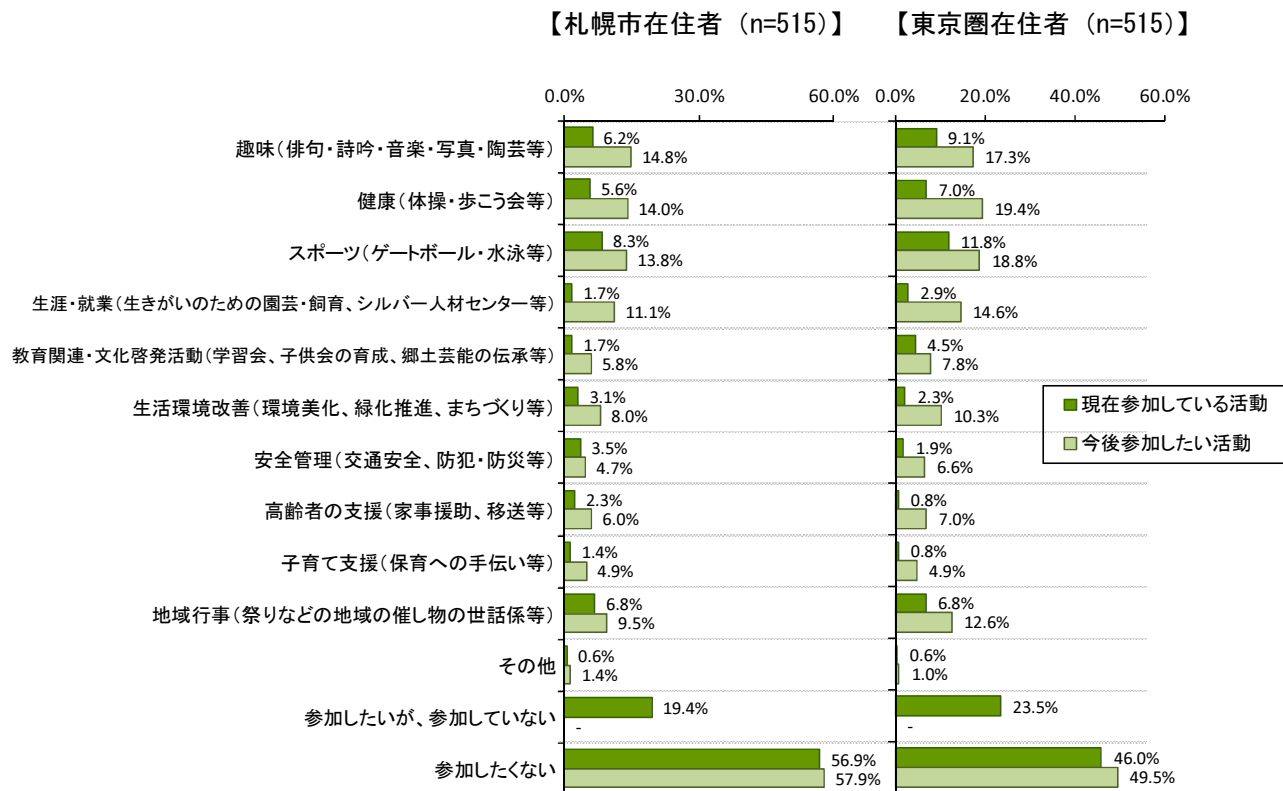
個人または友人、グループや団体で自主的に行われているような活動への「現在の参加状況」について聞いたところ、札幌市在住者、東京圏在住者ともに「参加したくない」の割合が高く、特に札幌市在住者では5割を超え、56.9%であった。また、「参加したいが、参加していない」の割合も高く、札幌市在住者では19.4%、東京圏在住者では23.5%であった。

参加している活動では、札幌市在住者は「スポーツ」が8.3%、「地域行事」が6.8%、「趣味活動」が6.2%であった。東京圏在住者では、「スポーツ」が11.8%、「趣味活動」が9.1%、「健康」が7.0%であった。

②今後の参加意向

個人または友人、グループや団体で自主的に行われているような活動への「今後の参加意向」について聞いたところ、約5割が「参加したくない」と回答していた。札幌市在住者では、「趣味」の割合が14.8%、「健康」が14.0%、「スポーツ」が13.8%であった。一方、東京圏在住者では、「健康」の割合が19.4%、「スポーツ」が18.8%、「趣味」が17.3%であった。

図表Ⅲ-5-1 社会活動や趣味活動（複数回答）



(2) 学習活動

①現在の参加状況

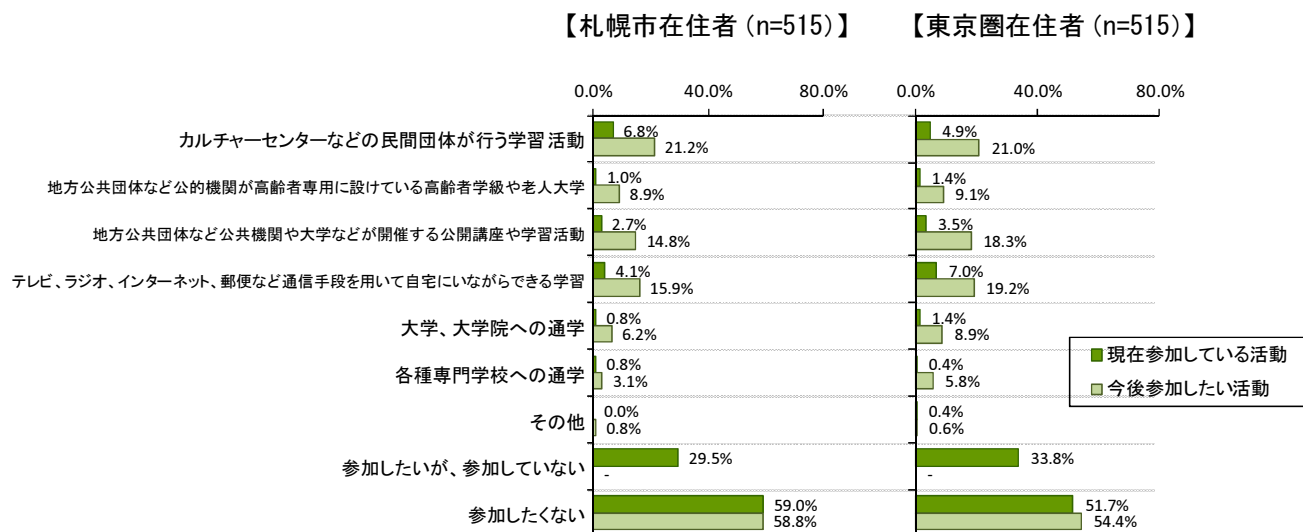
学習活動への参加状況について聞いたところ、札幌市在住者、東京圏在住者ともに「参加したくない」の割合が高く、いずれも5割を超えていた。また、「参加したいが、参加していない」の割合も高く、札幌市在住者では29.5%、東京圏在住者では33.8%であった。

参加している活動では、札幌市在住者は「カルチャーセンターなどの民間団体が行う学習活動」が6.8%、「テレビ、ラジオ、インターネット、郵便など通信手段を用いて自宅にしながらできる学習」が4.1%であった。東京圏在住者では、「テレビ、ラジオ、インターネット、郵便など通信手段を用いて自宅にしながらできる学習」が7.0%、「カルチャーセンターなどの民間団体が行う学習活動」が4.9%であった。

②今後の参加意向

学習活動への今後の参加意向について聞いたところ、「参加したくない」の割合が5割を超えていたが、札幌市在住者では、「カルチャーセンターなどの民間団体が行う学習活動」の割合が21.2%、「テレビ、ラジオ、インターネット、郵便など通信手段を用いて自宅にしながらできる学習」が15.9%であった。また、東京圏在住者では、「カルチャーセンターなどの民間団体が行う学習活動」の割合が21.0%、「テレビ、ラジオ、インターネット、郵便など通信手段を用いて自宅にしながらできる学習」が19.2%、「地方公共団体など公的機関や大学などが開催する公開講座や学習活動」が18.3%であった。

図表Ⅲ-5-2 学習活動（複数回答）



6. 「生涯活躍のまち」構想について

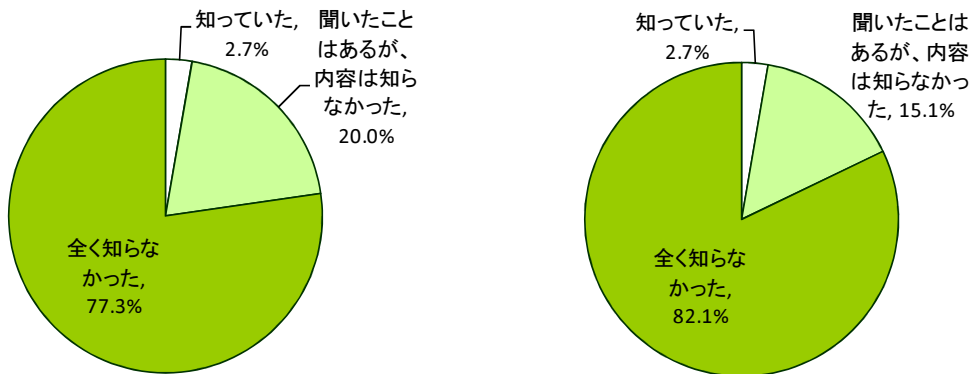
(1) 「生涯活躍のまち」構想の認知度

「生涯活躍のまち」構想について知っているかを聞いたところ、札幌市在住者、東京圏在住者ともに「全く知らなかった」の割合が約8割となっており、「知っていた」の割合はいずれも2.7%であった。

図表Ⅲ-6-1 「生涯活躍のまち」構想の認知度

【札幌市在住者 (n=515)】

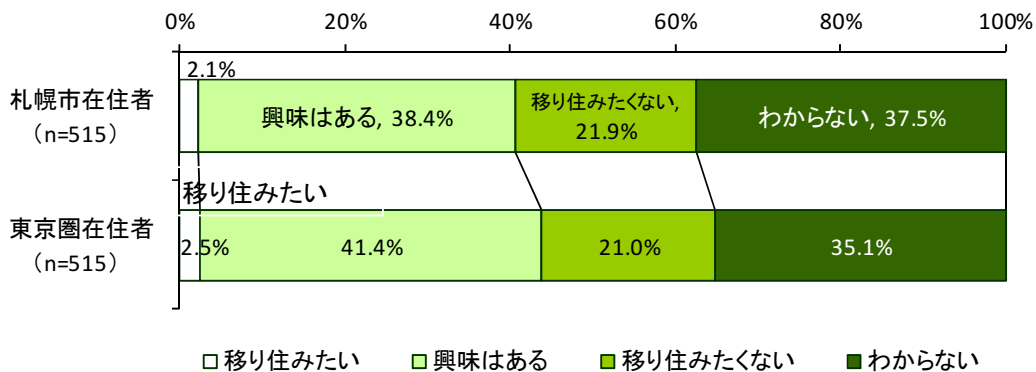
【東京圏在住者 (n=515)】



(2) 「生涯活躍のまち」への移住意向

「生涯活躍のまち」構想を実現した場合に「生涯活躍のまち」に移り住みたいかを聞いたところ、札幌市在住者では、「移り住みたい」が2.1%、「興味はある」が38.4%であった。一方、東京圏在住者では、「移り住みたい」が2.5%、「興味はある」が41.4%であった。

図表Ⅲ-6-2 「生涯活躍のまち」への移住意向

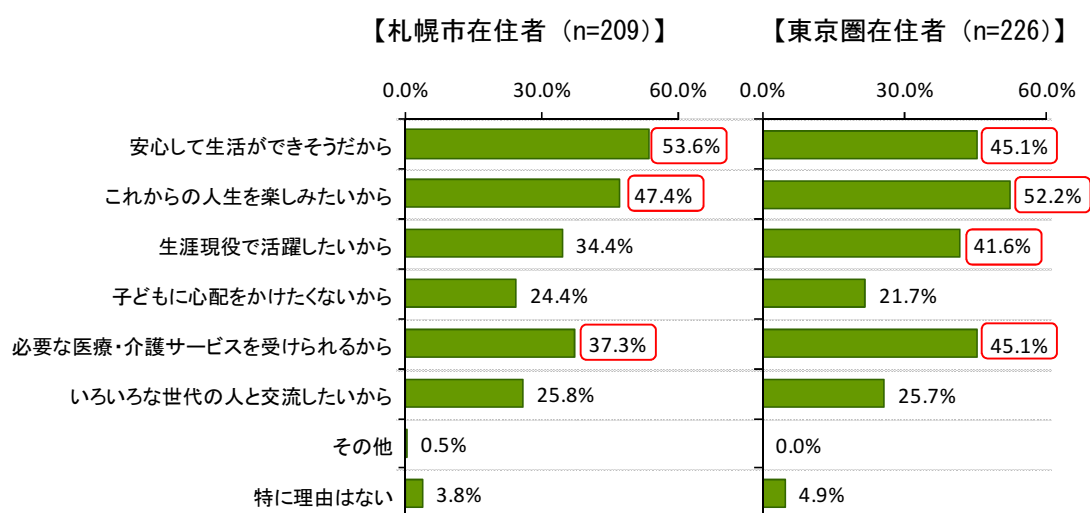


(3) 「生涯活躍のまち」への移住理由

「生涯活躍のまち」への移住意向で、「移り住みたい」「興味はある」と回答した札幌市在住者 209 人、東京圏在住者 226 人にその理由を聞いたところ、札幌市在住者では「安心して生活ができそうだから」の割合が 53.6%と最も高く、次いで「これからの人生を楽しみたいから」が 47.7%、「必要な医療・介護サービスが受けられるから」が 37.3%であった。

一方、東京圏在住者では、「これからの人生を楽しみたいから」が 52.2%と最も高く、次いで「安心して生活ができそうだから」「必要な医療・介護サービスが受けられるから」がともに 45.1%、「生涯現役で活躍したいから」が 41.6%であった。

図表Ⅲ-6-3 「生涯活躍のまち」への移住理由（複数回答）

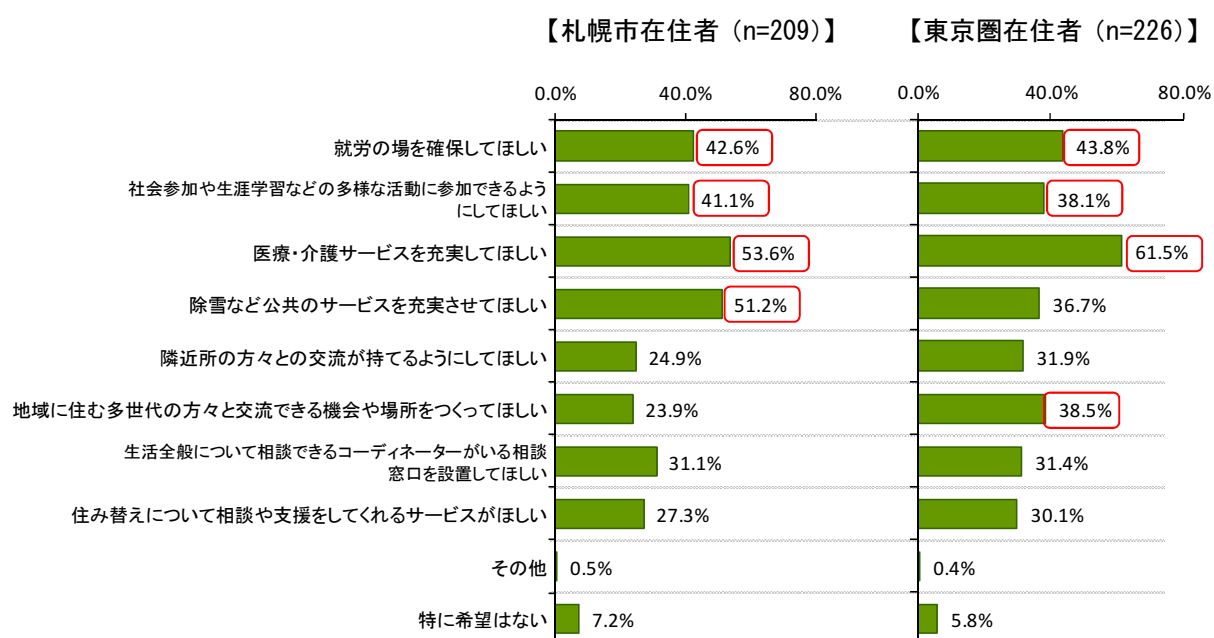


(4) 「生涯活躍のまち」構想に求めるサービス

「生涯活躍のまち」への移住意向で、「移り住みたい」「興味はある」と回答した札幌市在住者 209 人、東京圏在住者 226 人に、「生涯活躍のまち」構想にどのようなサービスを求めるかを聞いたところ、札幌市在住者では、「医療・介護サービスを充実してほしい」の割合が 53.6% と最も高く、次いで「除雪など公共のサービスを充実させてほしい」が 51.2%、「就労の場を確保してほしい」が 42.6%、「社会参加や生涯学習などの多様な活動に参加できるようにしてほしい」が 41.1%であった。

一方、東京圏在住者では、「医療・介護サービスを充実してほしい」の割合が 61.5% と最も高く、次いで「就労の場を確保してほしい」が 43.8%、「地域に住む多世代の方々と交流できる機会や場所をつくってほしい」が 38.5%、「社会参加や生涯学習などの多様な活動に参加できるようにしてほしい」が 38.1%であった。

図表Ⅲ-6-4 「生涯活躍のまち」構想に求めるサービス（複数回答）



(5) 「生涯活躍のまち」構想に求める条件

「生涯活躍のまち」への移住意向で、「移り住みたい」「興味はある」と回答した札幌市在住者 209 人、東京圏在住者 226 人に、「生涯活躍のまち」構想にどのような条件を求めるかを聞いたところ、札幌市在住者では「一人暮らしでも安心して住めるようにしてほしい」の割合が 61.2%と最も高く、次いで「低所得でも移住できるようにしてほしい」が 58.9%、「交通手段を確保してほしい」が 49.8%、「終末期まで住めるようにしてほしい」が 46.9%であった。

一方、東京圏在住者では、「低所得でも移住できるようにしてほしい」が 58.8%と最も高く、次いで「交通手段を確保してほしい」が 56.2%、「一人暮らしでも安心して住めるようにしてほしい」が 55.3%、「終末期まで住めるようにしてほしい」が 50.0%であった。

図表Ⅲ-6-5 「生涯活躍のまち」構想に求める条件（複数回答）

